

熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅻ

(2013年度：1309調査地点)



2018

熊本大学埋蔵文化財調査センター

熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅻ

(2013年度：1309調査地点)

2018

熊本大学埋蔵文化財調査センター



1. 1309調査地点出土遺物



2. 近代土坑墓群検出状況 (北より)

序 文

本報告書は、2013年度の調査成果の一部である。

本報告書が対象とする黒髪南地区1309地点の近代土坑墓群から得られる知見は、熊本監獄・刑務所墓地の運用実態を示す貴重な事例である。とりわけ熊本監獄における合葬の実態を物語るものとして興味深い。近代史研究においても、文献資料をふまえたうえでの考古学的研究手法の有効性が高いことを如実に示すものといえよう。是非とも読者諸賢の吟味をお願いしたい。

熊本監獄については、熊本大学の前身である第五高等学校の赤煉瓦の製造に囚人がかかわっていたことが、2015年度の発掘調査によって考古学的に明らかになっている。また、2016年度は熊本地震によって落下した赤煉瓦の調査を実施しており、その成果は本年度刊行の年報に記している。こちらにも関心をもっていただければ幸いである。

2017年度は、「熊本地震」の復興工事によって発掘調査が過密となったため、運営基盤管理部施設企画・施設管理をはじめとする関係部局の方々に例年にはない特段のご配慮をいただいた。関係部局の方々のご理解とご配慮に、記して深く謝意を表したい。

平成30年3月

国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査センター

センター長 伊藤正彦

例 言

1. 本報告書は、熊本大学再開発計画によって熊本大学敷地内において実施された各種建築工事に伴い、熊本大学埋蔵文化財調査センター（平成23年10月1日に「熊本大学埋蔵文化財調査室」より改組）が2013年度に実施した発掘調査の一部に関するものである。
2. 本書に収録した報告は、2013年度に埋蔵文化財調査センターが実施した発掘調査報告とそれに関連する立会調査などの成果のうち、1件の発掘調査に関する成果である。
3. 上記調査地点について、下記のとおり報告する。
Ⅱ章：黒髪南地区 1309調査地点
4. 以上の調査を実施した2013年度の埋蔵文化財調査センターの組織と調査体制は以下のとおりである。
室 長：木下尚子（文学部教授）
調 査 員：松田光太郎（センター准教授）・大坪志子（センター助教）・山野ケン陽次郎（センター助教）・柴田亮（技術補佐員）・浦辻栄治（技術補佐員）
事務補佐員：大崎喜美子
5. 本文は、2章1節の一部を柴田が執筆した。人骨に関する所見、文章については、松下真実・松下孝幸両氏が執筆した。それ以外は全て山野が執筆した。
6. 本書に使用した遺構実測図は、柴田と山野が作成した。また、過去の調査地点については各報告書の遺構図を再トレースし使用した。
7. 本書に使用した遺物実測図・拓本は、井上裕美、小山正子、後藤恵、園田智子、吉留広が作成した。
8. 本書に使用した図版の製図は Adobe 社の「Illustrator」と「Photoshop」を使用して、山野、柴田、鬼塚美枝、増井弘子がおこなった。
9. 遺構実測及び製図には手描きによる記録とともに、株式会社 CUBIC の遺跡実測支援システム「遺構くん」および製図システム「トレース3Dくん」を使用した。
10. 本書に使用した現場写真は1309調査地点を柴田が、1418調査地点を山野が撮影した。遺物写真は山野、江口路、末吉美紀、小山が撮影した。
11. 本書で使用した遺物観察表は、山野、首藤優子が作成した。
12. 本書に掲載した出土遺物および記録類は、すべて熊本大学埋蔵文化財センターで保管している。出土人骨は2017年3月時点では土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムで保管している。
13. 本書で使用した調査地点配置図および遺構図の座標は世界測地系による。
14. 遺物番号として通し番号を1から付けており、写真図版中の番号はこれに一致する。
15. 出土した遺物への注記は遺跡略号＋調査地点番号＋出土遺構（位置）の順でおこなった。
16. 土層・遺物の色調観察は「小山正正・竹原英雄編著『新版標準土色帖』日本色研事業株式会社」に基づく。
17. 本書の編集は山野・柴田がおこなった。

本文目次

I 構内遺跡と調査の概要	
1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要	1
2. 調査に至る経緯	4
3. これまでの調査と本書収録の遺跡	5
II 黒髪南地区の調査	
1. (黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営その他工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)	
(1) 調査の目的と経過	23
(2) 調査区の基本層序	25
(3) 検出遺構	28
(4) 出土遺物	33
(5) 植物遺体	46
(6) 本調査地点の土地利用に関する考察	47
(7) まとめ	54
熊本市中央区黒髪町遺跡群1309調査地点出土の近代人骨	58

挿図目次

図1 黒髪町遺跡群・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)	2	図12 1309調査地点出土遺物実測図3 (1/4)	
図2 黒髪南地区における調査地点位置図 (1/2000)	24	図13 1309調査地点出土遺物実測図4 (1/4)	
図3 1309調査地点南壁土層断面図 (1/200)	26	図14 1309調査地点出土遺物実測図5 (1/4)	
図4 1309調査地点周辺土層模式図 (1/50)	26	図15 1309調査地点出土遺物実測図6 (1/3)	
図5 1309調査地点遺構配置図 (1/200)	27	図16 1309調査地点出土遺物実測図7 (1/2)	
図6 1309調査地点調査区西側遺構配置図 (1/150)	28	図17 1309調査地点出土遺物実測図8 (1/2)	
図7 1309調査地点調査区東側遺構配置図 (1/100)	30	図18 1309調査地点出土遺物実測図9 (1/2)	
図8 9909・0203・1309・1418調査地点遺構配置合成図 (1/500)	31	図19 1309調査地点出土遺物実測図10 (1/2)	
図9 1309調査地点蔵骨器出土状況図 (1/10・1/20)	32	図20 1309調査地点出土遺物実測図11 (1/2)	
図10 1309調査地点出土遺物実測図1 (1/4)	34	図21 1309調査地点出土植物遺体	47
図11 1309調査地点出土遺物実測図2 (1/4)			

図22 昭和47年頃の熊本大学黒髪南地区における熊本刑務所墓地の位置……………48

図23 熊本縣監獄署附属埋葬地圖……………53

図 版 目 次

図版1 1309調査地点……………71

写真1 近代土坑墓群検出状況（北より）

写真2 近世畑址検出状況（北より）

図版2 1309調査地点……………72

写真3 調査区南壁土層断面1（北より）

写真4 調査区南壁土層断面2（北より）

写真5 調査区南壁土層断面3（北より）

写真6 松下孝幸先生指導風景

写真7 松下孝幸先生人骨取り上げ風景

図版3 1309調査地点……………73

写真8 1号墓蔵骨器出土状況（方位不明）

写真9 2号墓蔵骨器出土状況（方位不明）

写真10 3号墓蔵骨器出土状況（方位不明）

写真11 4号墓蔵骨器出土状況（方位不明）

写真12 5号墓蔵骨器出土状況（方位不明）

写真13 7号墓蔵骨器出土状況（方位不明）

写真14 9号墓蔵骨器出土状況（方位不明）

写真15 10号墓蔵骨器出土状況（方位不明）

図版4 1309調査地点……………74

写真16 11号墓蔵骨器群出土状況（南より）

写真17 12号墓蔵骨器群出土状況（北より）

写真18 13号墓蔵骨器出土状況（方位不明）

写真19 14号墓人骨出土状況（方位不明）

写真20 16号墓人骨出土状況（方位不明）

図版5 1309調査地点……………75

写真21 16号墓銭出土状況（方位不明）

写真22 17号墓人骨出土状況（方位不明）

写真23 18号墓人骨出土状況（方位不明）

写真24 19号墓人骨出土状況（方位不明）

写真25 20号墓人骨出土状況（方位不明）

写真26 21号墓人骨出土状況（方位不明）

写真27 22号墓人骨出土状況（方位不明）

写真28 24号墓人骨出土状況（方位不明）

図版6 1309調査地点……………76

写真29 26号墓人骨出土状況（方位不明）

写真30 29号墓人骨出土状況（方位不明）

写真31 30号墓人骨出土状況（方位不明）

写真32 32号墓人骨出土状況（方位不明）

写真33 33号墓人骨出土状況（方位不明）

写真34 34号墓人骨出土状況（方位不明）

写真35 35号墓人骨出土状況（方位不明）

写真36 36号墓人骨出土状況（方位不明）

図版7 1309調査地点……………77

写真37 37号墓人骨出土状況（方位不明）

写真38 41号墓人骨出土状況（方位不明）

写真39 42号墓人骨出土状況（方位不明）

写真40 45号墓人骨出土状況（方位不明）

写真41 46号墓人骨出土状況（方位不明）

写真42 48号墓人骨出土状況（方位不明）

写真43 51号墓人骨出土状況（方位不明）

写真44 56号墓人骨出土状況（方位不明）

図版8 1309調査地点……………78

写真45 58号墓人骨出土状況（方位不明）

写真46 60号墓人骨出土状況（方位不明）

写真47 61号墓人骨出土状況（方位不明）

写真48 62号墓人骨出土状況（方位不明）

写真49 63号墓人骨出土状況（方位不明）

写真50 64号墓人骨出土状況（方位不明）

写真51 65号墓人骨出土状況（方位不明）

写真52 66号墓人骨出土状況（方位不明）

図版9 1309調査地点……………79

写真53 67号墓人骨出土状況（方位不明）

写真54 68号墓人骨出土状況（方位不明）

写真55 72号墓人骨出土状況（方位不明）

写真56 73号墓人骨出土状況（方位不明）

写真57 74号墓人骨出土状況（方位不明）

写真58 75号墓人骨出土状況（方位不明）

写真59 76号墓人骨出土状況（方位不明）

写真60 80号墓人骨出土状況（方位不明）

図版10 1309調査地点……………80

写真61	81号墓人骨出土状況 (方位不明)	写真75	142号墓人骨出土状況 (方位不明)
写真62	82号墓人骨出土状況 (方位不明)	写真76	143号墓鉄製品出土状況 (方位不明)
写真63	83号墓人骨出土状況 (方位不明)	図版12	1418調査地点……………82
写真64	83号墓繊維検出状況 (方位不明)	写真77	近代土坑墓検出状況 (南より)
写真65	84号墓人骨出土状況 (方位不明)	写真78	調査区南壁土層断面 (北より)
写真66	84号墓繊維検出状況 (方位不明)	図版13	1309調査地点出土遺物1……………83
写真67	85号墓人骨出土状況 (方位不明)	図版14	1309調査地点出土遺物2……………84
写真68	96号墓人骨出土状況 (方位不明)	図版15	1309調査地点出土遺物3……………85
図版11	1309調査地点……………81	図版16	1309調査地点出土遺物4……………86
写真69	109号墓鉄製品出土状況 (方位不明)	図版17	1309調査地点出土遺物5……………87
写真70	111号墓人骨出土状況 (方位不明)	図版18	1309調査地点出土遺物6……………88
写真71	112号墓人骨出土状況 (方位不明)	図版19	1309調査地点出土遺物7……………89
写真72	115号墓青銅製品出土状況 (方位不明)	図版20	1309調査地点出土遺物8……………90
写真73	120号墓人骨出土状況 (方位不明)	図版21	1309調査地点出土遺物9……………91
写真74	136号墓人骨出土状況 (方位不明)		

表 目 次

表1	熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧表……………1	表4	資料数……………59
表2	既往調査地点と本書収録調査地点一覧表……………6	表5	年齢区分……………59
表3	明治13年から昭和15年における熊本監獄・刑務所の死亡人数一覧表……………51	表6	1309調査地点出土人骨・埋葬遺構一覧表……………60
		表7	1309調査地点出土遺物一覧表……………63

I 構内遺跡と調査の概要

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

熊本大学が保有する敷地は、熊本市内の黒髪（北・東・南）地区・宇留毛地区・本荘（北・中・南）地区・大江地区・渡鹿地区・京町地区・城東地区および新南部地区の8地区、市外の益城地区・合津地区の2地区の計10地区に分散しており、それぞれ埋蔵文化財の包蔵地となっている（表1）。本章ではこのうち、本書で報告する黒髪南地区の1309調査地点を含む「黒髪町遺跡群」について詳細を述べる。

熊本大学の法学部・文学部・教育学部・工学部・理学部などが設置されている黒髪地区は、黒髪町遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No8-88）に含まれている。本遺跡は、熊本市市街地の北東にそびえる立田山（標高151.6m）の南西部の緩斜面に位置しており、西を坪井川の造る中位段丘、南を白川右岸の低位段丘によって囲まれる。遺跡の範囲は東西約900m、南北約1000mであり、縄文時代から近代に至る遺構・遺物を包蔵している。

遺跡の発見は昭和10年（1935：以後和暦の後の括弧内に西暦を付す）、大学に隣接する熊本県立中学済々黌（現済々黌高等学校）の校庭から弥生時代の甕棺2基などが見つかり、下林繁夫・小林久雄により調査されたことに始まる（田添夏喜1986）。戦後、昭和40年（1965）には隣接する九州女学院（現ルーテル学院中学・高等学校）敷地内で、弥生時代中期の甕棺や古墳時代の須恵器甕などが発見され、遺跡の重要性が再認識された（笠置1971）。埋蔵文化財調査センター（または埋蔵文化財調査室）による発掘調査でも、黒髪南地区の北西に位置する9704調査地点において弥生時代中期後半の須玖式と黒髪式を用いた甕棺墓群が見つかった（小畑・大坪編2008）。その後、0206調査地点でも汲田式の甕棺墓1基が発見され（大坪編2014）、1121調査地点でも黒髪式の甕棺墓が1基検出された（大坪編2013）。これにより熊本大学構内も含めて弥生時代中期の墓域が広範囲にわたり確認できることが判明した。このように本遺跡は弥生時代中期の中九州に主として分布する「黒髪式土器」の標識遺跡として著名である。加えて、昭和58年（1983）に実施された済々黌高等学校内における調査によ

表1 熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧表

No.	地区名(学部名等)	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備考
1	黒髪北地区(法・文・教等)	熊本市中央区黒髪2丁目40-1				
2	黒髪東地区(教育学部附属特別支援学校)	熊本市中央区黒髪5丁目17-1	黒髪町遺跡群	集落址・墓地	縄文・弥生・奈良・平安・近世・近代	
3	黒髪南地区(工・理)	熊本市中央区黒髪2丁目39-1				
4	宇留毛地区(学生寄宿舎・職員宿舎等)	熊本市中央区黒髪7丁目	宇留毛神社周辺遺跡群	散布地	弥生・奈良・平安	
5	本荘北地区(医学部附属病院・医学部等)	熊本市中央区本荘1丁目1-1				
6	本荘中地区(発生医学研究所、エイズ学研究所等)	熊本市中央区本荘2丁目2-1	本荘遺跡(熊大病院敷地遺跡)	散布地・集落址・墓地	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世・近代	
7	本荘南地区(保健学科等)	熊本市中央区九品寺4丁目24-1				周辺遺跡
8	大江地区(薬学部等)	熊本市中央区大江本町5-1		官衙址		周辺遺跡
9	渡鹿地区(課外活動施設)	熊本市中央区渡鹿4丁目1-1	大江遺跡群	集落址	奈良・平安	
10	渡鹿地区(職員宿舎)	熊本市中央区渡鹿1丁目16				
11	京町地区(教育学部附属小・中学校)	熊本市中央区京町本丁5-12	京町台遺跡群	集落址	弥生・近世	
12	城東地区(教育学部附属幼稚園)	熊本市中央区城東町5-9	熊本城址	城館址・熊本城関連遺構	近世	
13	新南部地区(教育学部新南部農場)	熊本市東区新南部6丁目5-8	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
14	益城地区(地域共同ラボラトリー)	上益城郡益城町田原2081-7	上面ノ平遺跡	散布地	縄文～中世	
15	合津地区(沿岸域環境科学教育研究センター)	上天草市松島町合津6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995年度調査により貝塚でないことが判明

※遺跡の種類、時代は近年の調査成果を反映させた。

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

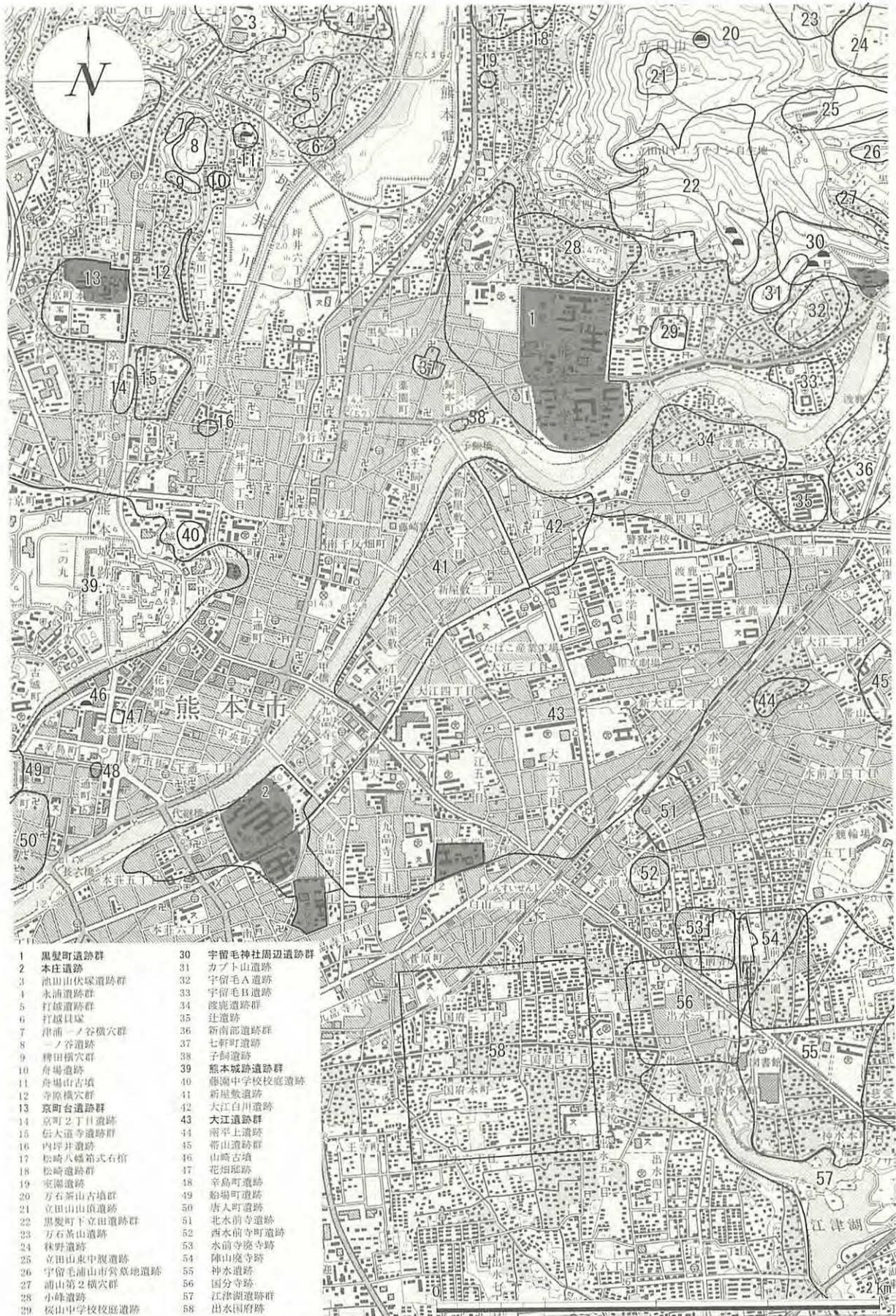


図1 黒髪町遺跡群・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)

て、古代の竪穴住居址や「寺門」銘の墨書土器が出土するなどし（田添 ibid）、古代飽田郡における拠点的性格をもつ遺跡である可能性が示されるようになった（新熊本市史編纂室編1996）。また、同地域は古代の官道や駅伝制の研究上、『延喜式』に記された西海道上の駅である「蚕養駅」、あるいは旧飽田郡家の推定地としても注目を集めてきた（木下1979・木下1995）。鶴嶋俊彦は肥後国北部の古代官道について分析する中で、本センターによる黒髪南地区9603調査地点における発掘成果を受け、南北方向に走る2本の溝が駅路の側溝であるとの見解を示し、周囲の掘建柱建物との関係性も含め、熊本大学構内に蚕養駅の駅家が存在した可能性に言及した。近年の大学構内の調査では、黒髪北地区や南地区から古代の竪穴住居や掘建柱建物が広い範囲に確認されており、飽田郡家や駅家に関連する集落と考えられる。さらに、済々黌高校から本学黒髪地区周辺が飽田郡司建部公の居所であり、飽田郡家として比定されるなどの積極的な意見が展開されている（鶴嶋1997）。このように、本遺跡群は古代律令制下の駅伝制を考える上できわめて重要である。

また本遺跡では、熊本市教育委員会や当センターにおける調査の蓄積により縄文時代の文化層が広い範囲で確認されている。黒髪北地区9802調査地点（小畑編2009）や黒髪南0302調査地点（小畑・大坪編2011）では縄文時代早期の押型文土器や条痕文土器が当時地山と考えられていた土層中から出土した。その後の黒髪地区の各調査地点では、古代の包含層中や地山と想定していた土層から縄文時代後・晩期の土器が少ないながらも発見されている。このほか、2006年に熊本市教育委員会により実施された黒髪町遺跡群第4次調査では、阿高式土器や南福寺式土器が一定量得られており、遺構の検出こそなかったものの、小規模な集落の端部に位置するものと報告されている（美濃口編2008）。このように縄文時代の資料が増加する中、2013・2014年度には大きな調査成果が得られた。黒髪南地区の東側、理学部棟周辺のライフライン再生工事に伴う発掘調査が実施され、白川右岸の平野部から出水式・御手洗A式土器を主体とする文化層と、配石墓に埋葬された縄文人骨などが発見された（山野編2016）。御手洗A式土器は西北九州から中九州にかけて分布する縄文時代後期前葉の土器だが、出土数が少なく全容が不明瞭であった。本調査成果が、後期前葉の土器の詳細と集落や文化様態の解明の一助となると思われる。また、縄文人骨が貝塚や洞穴遺跡などの人骨が残存しやすい立地・条件下ではなく、平野部で発見されたことも重要である。人骨は矮小な調査区から3体検出されており、周囲が墓域であったと考えられる（山野2015）。詳細については次年度以降に報告予定である。

近年では本地区における近代の調査事例でも重要な成果を得ることができている。熊本大学の黒髪北地区は明治23年（1890）に設立した第五高等中学校・高等学校の敷地を引き継いでおり、その南側に対面する黒髪南地区は明治39年（1906）に設立した熊本高等工業学校の敷地を含む。そのため、大学構内には明治から大正にかけての煉瓦建造物が複数現存している。このうち黒髪北地区に所在する五高記念館、化学実験場、正門と、黒髪南地区に所在する工学部研究資料館はいずれも煉瓦造りで国の重要文化財に指定されている。また、黒髪南地区の本部棟（旧熊本高等工業学校本館）は大正期に建てられた初期の鉄筋コンクリート建築であり、登録有形文化財に登録されている。2015年度にはこの建物周囲の発掘調査を実施しており、周辺から煉瓦の基礎が広い範囲で発見された（山野編2016）。これらは明治41年（1908）に竣工した熊本高等工業学校旧本館の建物基礎であることが判明し、周囲からはこの建物が大正12年（1923）に全焼した際の溶けたガラスや木片、生活道具などが出土した。この他、黒髪北地区1528調査地点では第五高等学校の寮である「習学寮」の浴室・炊事場の煉瓦基礎が確認され、レンガに「熊本監獄製造印」が押されていることが確認できた（松田・大坪編2017）。これら煉瓦の積み方や刻印、法量などは近代熊本の建築や煉瓦生産の実態について様々な知見を与えてくれる。

2. 調査に至る経緯

以上、熊本大学黒髪地区について遺跡の概要と近年の調査成果について触れた。黒髪地区を含む黒髪町遺跡群は縄文時代から近代の遺物・遺構を包含する複合遺跡であり、その内容は多岐にわたっている。本報告においては、黒髪南地区1地点の発掘調査記録を収録している。

2. 調査に至る経緯

熊本大学の熊本市内の校地は先に示したように8地区に分散しており、どの校地も狭隘化してきているため、かねてから校地の移転などが議論されてきた。昭和60年（1985）に当時の熊本県知事から校地移転を検討する旨の申し出があり、その件について学内で議論され、本荘地区の医学部・附属病院を除き他の地区は現地再開発が決定された。本荘地区も平成5年（1993）に現地再開発することが決定され、全学が現地で再開発に取り組むこととなった。その後それぞれの地区での再開発構想が検討され、基本的な計画が出来上がった地区から文教施設費を概算要求し、それらが認められたところから再開発事業が始まった。一方、黒髪地区などにおいては、従来から建設工事などにより古代や先史時代の遺物が発見されていたにもかかわらず、埋蔵文化財包蔵地としては周知されていなかった。

平成5年（1993）10月から黒髪南地区において総合情報統括センターの建設工事が始まった際、熊本市文化振興課から工事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨の連絡があり、同課へ出向き確認したところ、平成5年4月1日から熊本市文化財保護審議会において黒髪地区などが埋蔵文化財の包蔵地として追加指定されていることが判明した。そこで大学が計画している建設工事の予定地に係わる試掘調査の届を同課に提出して、調査を依頼した。試掘調査の結果では、ほとんどの建設工事に先立ち発掘調査が必要であるということになった。

今後の発掘調査について同課に相談したところ、以下のような回答があった。

①国の機関（大学等）は考古学研究室などがあって専門のスタッフを擁していることでもあり、熊本大学においてもそのような機関を設け、そこが実施機関として発掘調査を担当願いたい。

②熊本市が平成6年度発掘調査の依頼を受けたとしても、それを実施する場合、既に他の発掘調査予定が半年分はあるので、急いでも9月または10月頃から調査を始めることとなる。

以上のことから、熊本大学の再開発事業には事前の試掘および発掘調査を行うことが必須条件であり、そのためには大学独自の調査組織を早急に設けることが必要となった。まずは発掘調査組織の中心となってもらうべく、文学部考古学研究室に協力を依頼し、このことについて承諾を得た後、急ぎ委員会などの組織作りを行い、責任体制を確立するための作業が始められた。本学の状況および他大学に既に設置されている同種組織の内容を勘案しながら検討した結果、熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「調査委員会」と略する）を設けることとなった。また、この調査委員会の下に熊本大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」と略する）を置き、発掘調査の実務を担当することとした。

平成6年（1994）4月7日をもって熊本大学埋蔵文化財委員会規則が定められ、調査委員会が設置され、委員会内に調査室が置かれ、平成6年5月16日、委員会委員の委嘱、調査室長および調査員・事務補佐員が就任し、正式に調査室業務が始動した。調査室発足後は、文学部考古学研究室の甲元真之教授をはじめとしたスタッフの多大なる協力のもと平成6年度建設予定地の調査を中心に発掘調査が実施された。

平成23年（2011）10月1日には、熊本大学埋蔵文化財調査室から、熊本大学埋蔵文化財調査センターとして発足した。これを契機とし、埋蔵文化財の発掘調査を主体的業務としながらも、『速報展示』や『地下の文化財散歩』の開催など、これまでの調査成果を用いた活用事業にも尽力している。

経緯の詳細については『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報』等を参照されたい（以上、松田・大坪編2017を引用・一部改変）。

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

平成7年（1994）以後、平成28年（2016）3月末日まで、再開発計画に期り行われた事業の事前調査として、表2のような調査が実施されてきた。本書はこの中から平成25年（2013）度実施した黒髪南地区における（黒髪南）国際革新技術研究拠点施設新営その他工事に伴う発掘調査（1309調査地点）について報告する。試掘・立会と小規模な調査などについては年報において既報告であるので、本書からは除外した。ただし平成26年（2014）度実施した1418調査地点は1309調査地点に隣接した調査地点であり、一部遺構の検出を実施しているため、一括して報告する。

引用・参考文献

- 大坪志子編 2013『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』IX 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第9集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 大坪志子編 2014『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』X 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第10集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 小畑弘己編 2009『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』V 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第5集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 小畑弘己・大坪志子編 2008『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』IV 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第4集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 小畑弘己・大坪志子編 2011『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』VIII 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第8集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 笠置英行 1971「九州女学院遺跡」『熊本市北部地区文化財調査報告書』熊本市教育委員会
- 木下良 1979「第六節 肥後国」『古代日本の交通路』IV pp.99-130 大明堂
- 木下良 1995「肥後国府の変遷について」『古代文化』9-27 pp.1-19 古代学協会
- 新熊本市史編纂室編 1996『新熊本市史料編第1巻考古資料』新熊本市史編纂室
- 田添夏喜 1986『黒髪町遺跡多士会館敷地発掘調査報告 黒髪町遺跡』財団法人多士会館
- 鶴嶋俊彦 1997「肥後国北部の古代官道」『古代交通研究』第7号 pp.39-66 古代交通研究会
- 松田光太郎・大坪志子編 2017『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』XII 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第12集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 美濃口雅朗編 2008『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告書集』平成19年度 熊本市教育委員会
- 山野ケン陽次郎 2015「熊本大学構内遺跡の発掘調査－縄文時代後期を対象に－」『第11回日韓新石器時代研究会発表資料集』pp.106-119 九州縄文研究会・韓国新石器学会
- 山野ケン陽次郎編 2016『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報』21 熊本大学埋蔵文化財調査センター

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

表2 既往調査地点と本書収録調査地点一覧表

1994年度							
94-4-15~17	9401	(黒北) 運動場整備(照明塔建設)工事	発掘調査	128㎡	古代	古代土師器・須恵器	年報1
94-4-21	9402	(黒北・南) 基幹整備(教育学部エレベーター室取設)工事	発掘調査	47.5㎡	現代	ガラス・磁器片	年報1
94-4-25	9403	(黒北・南) 地区基幹整備(工学部エレベーター室取設)工事	発掘調査	48㎡		包含層確認・土器片	年報1
94-5-13~14	9404	(黒北) 福利施設建設予定地の樹木移植	立会調査	30㎡	古代		年報1
94-5-17~6-25	9405	(京町) 附属中学校舎着工建設工事	発掘調査	400㎡	弥生・近世	縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・近世陶磁器・砥石・銅銭・瓦・ガラス類	本報告I
94-5-20・23-24	9406	(黒北) 武夫原運動場整備(集水併埋設)工事	発掘調査	100㎡	古代		年報1
94-5-23~7-28	9407	(黒北) 福利施設建設工事	発掘調査	4,290㎡	古代		本報告I
94-8-1~8-10	9408	(渡鹿) クラウンド集水併埋設工事	発掘調査 立会調査	40.4㎡	古代	土師器	本報告I
94-8-11	9409	(黒北) 武夫原器具庫新営工事・外灯基礎工事	立会調査	23.4㎡		包含層に達せず遺構なし。土師器片	年報1
94-8-12	9410	(京町) 附属中学校電気引き込み配線工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし	年報1
94-8-22	9411	(黒北) 基幹整備(附属図書館スロープ取設)工事	立会調査	25.5㎡		包含層に達せず。遺構・遺物なし	年報1
94-9-12~10-31	9412	(黒南) 工学部実験棟新営工事	発掘調査	743.6㎡	古代	古代堅穴住居址、古代土師器・須恵器・瓦・土製印・鉄器・縄文土器	本報告I
94-11-14~12-22	9413	(渡鹿) クラウンド整備工事	発掘調査	200㎡	縄文・古代	古代堅穴住居址、道路址、古代土師器・須恵器・布目瓦・砥石・鉄器・縄文土器・石器	本報告I
95-1-17~21	9414	(黒北) 福利施設設備工事	立会調査	169㎡		遺構・遺物なし	年報1
95-1-9~11, 1-26~2-1	9415	(黒南) 工学部共同溝工事	立会調査	50㎡		遺構・遺物なし	年報1
95-2-27	9416	(城東) 附属幼稚園排水管敷設工事替工事	立会調査	129.7㎡		遺構・遺物なし	年報1
95-3-15~23	9417	(黒南) 福利施設設備工事					
1995年度							
95-4-25~5-2	9501	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期共同溝建設工事	発掘調査	90㎡	古代~近世	古代堅穴住居址・柱穴・溝、縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	本報告I
95-5-9~10	9502	(黒南) 工学部附属工学機器センター新営工事	試掘調査	20㎡	古代	包含層確認・古代土師器・須恵器	年報2
95-5-15~16	9503	(黒南) 工学部RI研究実験棟建設及び基礎掘削	試掘調査	20㎡	古代	集石、古代土師器・須恵器	年報2
95-5-29/30 6-21	9504	(黒南) 工学部研究実験棟新営電気設備(その2)に伴う高圧ケーブル埋設	立会調査	38㎡		遺構・遺物なし	年報2
95-8-21		(黒南) 工学部通信設備埋設	立会調査	14㎡		遺構・遺物なし	年報2
95-8-22	9508	(黒南) 事務局前外灯配線改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95-9-8~10-12	9509	(合津) 理学部附属臨海実験所実験棟改築工事	発掘調査	298㎡	縄文	集石、縄文早期土器・石器	年報2
95-11-2	9510	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期に伴うガス配管	立会調査		古代	古代包含層確認、古代土器片	年報2
95-11-6~8	9511	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設及び外溝切り替え	試掘調査	200㎡	古代	古代包含層確認・堅穴住居址、古代土師器・須恵器	年報2
95-11-13~16	9512	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期に伴う排水併埋設	発掘調査	60㎡	古代	古代堅穴住居址・柱穴・包含層、縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	本報告I
95-11-17	9513	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期に伴う外溝	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95-11-17	9514	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期に伴う外溝	立会調査		古代	古代土師器・須恵器片	年報2
95-11-21~22	9503	(黒南) 工学部RI研究実験棟建設に伴う基礎掘削	立会調査		古代	古代土師器・須恵器	年報2
95-11-22	9515	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期に伴う外溝	立会調査		古代	包含層確認・古代土師器	年報2
95-11-24	9511	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設工事	立会調査			一部包含層確認・遺構・遺物なし	年報2
95-11-28~29	9516	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期に伴う外溝	発掘調査	72㎡	縄文~古代	包含層・柱穴、縄文土器片・古代土師器	本報告I
95-12-1	9511	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設に伴う外溝切り替え	立会調査			包含層確認・遺構・遺物なし	年報2
95-12-4	9517	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設に伴う樹木移植	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95-12-5	9518	(黒南) 工学部RI研究実験棟建設に伴う外溝工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95-12-12~14	9519	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期に伴うガス配管	立会調査		古代	古代柱穴・溝、古代土師器・須恵器	年報2
95-12-18	9520	(黒北) 教養部前道路改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95-12-25~ 96-2-22	9511	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設	発掘調査	976.9㎡	縄文・古代	古代堅穴住居址、掘立柱建物・溝・道路・方形堅穴遺構・土壇、縄文土器・石器・古代土師器・須恵器・鉄器	本報告I
96-3-1	9521	(黒南) 工学部校舎新営	試掘調査		弥生	弥生土器・ビッド、弥生中期土器	年報2
96-3-8	9522	(黒北) 文法学部・第五高等学校記念館庭園植栽工事	立会調査		古代	包含層確認・古代土師器	年報2
96-3-21	9523	(城東) 教育学部附属幼稚園木遊び場兼足洗い場設備寄贈受入	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
96-3-25~26	9524	(京町) 教育学部附属小学校給排水管取替工事	立会調査	27.6㎡		遺構・遺物なし	年報2
1996年度							
96-4-19	9601	(本荘北) 医学部校舎建設	試掘調査	33㎡	古代	古代包含層・溝、古代土師器・須恵器	本報告IV
96-5-10	9602	(黒北) 法文学部記念植樹	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報3

96-5-10-6-24	9603	(黒南) 工学部校舎建設	発掘調査	1,000m	縄文・弥生・古代	縄文後期包含層・古代堅穴住居址・溝・掘立柱建物・土壇・柱穴、縄文後期土器・弥生中期土器・古代土師器・須恵器・鉄器・瓦	本報告Ⅳ	
96-5-13	9604	(黒北) 教育学部 ATM ネットワーク付設工事	立会調査	40m	近代	遺構・遺物なし	年報3	
96-5-14	9605	(京町) 教育学部附属小学校 ATM ネットワーク付設工事	立会調査	14m		近代磁器	年報3	
96-5-15	9606	(大江) 薬学部 ATM ネットワーク付設工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報3	
96-6-17	9607	(黒北) 法文学部外灯設置工事	立会調査	4m	古代	一部包含層確認、古代須恵器	年報3	
96-6-19	9608	(黒南) 工学部 RI 実験棟配線工事	立会調査	21m		遺構・遺物なし	年報3	
96-8-5	9609	(黒北) 入試保管庫建設工事(試掘)	発掘調査	4m		遺構・遺物なし	年報3	
96-8-6-9	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う樹木移植・貯水槽建設工事(1・2・3区)	発掘調査	45.7m	古墳・古代	古墳時代前期堅穴住居址・古代堅穴住居址、古墳時代土師器・古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ	
96-8-22-27	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設(4区)	発掘調査	37.4m	古代	堅穴住居址・柱穴、古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ	
96-8-29-30	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設(5区)	発掘調査	28.2m	古代	竈址、古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ	
96-9-6	9610	(黒北) 教養部夏目款石像建立	試掘調査	9m		遺構・遺物なし	年報3	
96-10-1-9	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事(6区)	発掘調査	104.3m	古代	古代道路・堅穴住居址、古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ	
96-10-11-97-1-17	9601	(本荘北) 医学部校舎本体工事(本調査区)	発掘調査	1,686m	縄文・古墳・古代	縄文包含層・古墳土壇・古代道路・堅穴住居址・掘立柱建物・土壇・近代墓地、縄文後期土器・古墳・古代土師器・須恵器・鉄器・石器	本報告Ⅳ	
96-10-21-29	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事(7・8・9区)	発掘調査	62.5m	古代	古代堅穴住居址・竈、古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ	
96-11-12-13	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事(10区)	発掘調査	21.8m	古代	古代堅穴住居址、古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ	
96-11-12	9611	(黒南) 工学部外灯付設工事	立会調査	0.9m		遺構・遺物なし	年報3	
96-12-18	9612	(黒南) 工学部電線埋設工事	立会調査	74.8m		遺構・遺物なし	年報3	
97-3-3-31	9613	(黒南) 工学部研究実験棟Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	175m		遺構・遺物なし	年報3	
97-3-7	9614	(黒南) 工学部衝撃エネルギー実験所火薬庫取設工事	立会調査	109m		遺構・遺物なし	年報3	
1997年度								
97-4-8	9701	(本荘南) 医学部情報リテラシー教育施設電気設備その他の改修工事	立会調査	21m		一部包含層を確認、遺構なし、古代土器片	年報4	
97-5-7	9702	(黒南) 理学部ヘリウム棟増築・ヘリウム管理設工事	立会調査	126.6m		遺構・遺物なし	年報4	
97-5-28	9703	(本荘北) 医学部外来臨床研究棟血液製剤管理室取設工事	試掘調査	4m		遺構・遺物なし	年報4	
97-7-28-11-4	9704	(黒南) 工学部校舎新営工事	発掘調査	1,783.3m	弥生・古代・近世	弥生時代竈積層・古代堅穴住居址・溝・掘立柱建物・柱穴・近世墓、弥生中期甕棺・土師器・鉄器・古代須恵器・近世陶磁器	年報4	
97-10-29	9705	(京町) 教育学部附属中学校女性立像建立	立会調査	2.6m		遺構・遺物なし	年報4	
97-10-22	9706	(黒北) 法文学部龍南健児像建立	立会調査	1.2m		遺構・遺物なし	年報4	
97-11-11-98-3-31	9707	(本荘北) 医学部基礎研究棟屋外配線工事	立会調査	370m	古代・近代	近代墓地・古代土壇・柱穴、壺・人骨・墓石等、古代土器	年報4	
98-1-30-2-12	9708	(黒北) 法・文・教育学部外灯設備増設工事	立会調査	61.9m	古代	溝	年報4	
98-2-3-2-13	9709	(黒南) 管財係黒髪6号宿舎取り壊し工事	立会調査	116m	古代	一部包含層を確認、遺構なし、磨耗した古代土器	年報4	
1998年度								
98-4-14	9804	(黒南) 工学部校舎建設に伴う排水管撤去工事	立会調査	10m		掘削により遺構なし	年報5	
98-6-26-7-2	9801	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営支障配管替工事	立会調査	2.4m	古代	遺構・遺物認められず	年報5	
98-7-6	9801	(本荘南) 同樹木伐採工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報5	
98-7-13	9809	(黒南) 工学部3号館電気設備工事	立会調査	3m	古代	遺物包含層を確認	年報5	
98-7-28-9-10	9801	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営工事	発掘調査	97.2m	縄文・古代・近世	堅穴住居址・掘立柱建物・溝・土壇	本報告Ⅴ	
98-9-21-22	9803	(黒北) 文化部室取設工事に伴う樹木移植工事	立会調査	9m		遺物・遺構なし	年報5	
98-9-25-11-6	9802	(黒北) 文化部室取替設その他の工事	発掘調査	575m	縄文・弥生・近世	縄文土器・弥生土器・石器等・土壇・溝・縄文・弥生遺物包含層確認	本報告Ⅴ	
98-9-28	9805	(本荘北) 大学病院病棟新営工事	試掘調査	10m	古墳・古代	古墳・古代土器	年報5	
98-9-29	9806	(本荘北) 大学病院中央診療棟新営工事	試掘調査	5m		河成砂礫層を検出、遺構・遺物なし	年報5	
98-9-30	9807	(本荘北) 大学病院薬剤部注射患者毎わが支給室等取設工事	試掘調査	2m	古代	遺物包含層・柱穴検出、古代土器片	年報5	
98-10-6	9808	(黒南) 工学部1-9号館電気設備工事	立会調査	30m		遺構面に達せず、遺物なし	年報5	
98-10-28-11-20	9807	(本荘北) 大学病院薬剤部注射患者毎わが支給室等取設工事	発掘調査	175m	古代	縄文土器・石礫等、古代堅穴住居址・土壇・溝・近代溝	本報告Ⅴ	
98-11-2	9801	医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター関連図書解体工事	発掘調査	139m		削平のため存在せず	本報告Ⅴ	
98-12-14-18	9810	(黒南) 理学部自然科学等総合実験棟新営支障配管替工事	立会調査	35m	古代	遺物包含層・柱穴検出、古代土器片	年報5	
98-12-16	9802	(黒北) 文化部室新営排水管敷設工事	立会調査	35m	古代	遺構面確認、遺構・遺物なし	年報5	
98-12-17-99-1-10	9805	(本荘北) 大学病院病棟新営に伴う支障配管替工事	立会調査	333m	古代	堅穴住居址、古代土器片	年報5	
99-1-12	9811	(黒南) 工学部実験室新設工事	試掘調査	14m		縄文後期土器	年報5	

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

99-1-21~3-25	9810	(黒南) 理学部自然科学等総合実験棟新営工事	発掘調査	1,098㎡	縄文・古代・近代	縄文土器・石鏡等、古代型穴住居址・柱穴・溝・近世溝	本報告V
99-2-2	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う文化部室解体	立会調査	260㎡		遺構・遺物なし	年報5
99-2-10	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う建築工事	立会調査	40㎡		遺構面には達せず。遺物なし。	年報5
99-2-18	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う植樹工事	立会調査	123㎡		地表下2mで弥生時代遺物包含層・遺構面を確認。遺構・遺物なし	年報5
99-2-9~3-9	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う電気配線工事	立会調査	4㎡		地表F90cmで水田土を検出。遺構・遺物なし	年報5
99-3-11~12	9812	(大江) 渡鹿田地東側ブロック塀改修工事	立会調査	70㎡		包含層・遺構面確認。遺構・遺物なし	年報5
99-3-10~31	9801	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営に係る配管切替工事	立会調査	57.5㎡	古 代	一部包含層・遺構面確認(ピット)・遺物なし	年報6
1999年度							
99-4-5~8-31	9901	(本荘北) 病棟(軸)新営工事	発掘調査	2,405㎡	縄文・古墳・古代・近代	縄文時代石器・玉・古墳時代住居址・溝・土師器・古代住居址・柱穴溝・土壇墓・土師器・須恵器・鉄器・胎衣壺・土鏡・近代溝	本報告X
99-6-14~7-14	9902	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営電気工事立会	立会調査	40㎡	古 代	古代柱穴、溝。遺物を少量検出	年報6
99-6-17	9903	(黒南) 工学部研究実験棟II-22新営工事に伴う植樹立会	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報6
99-7-19/26	9904	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営基礎工事立会	立会調査	2㎡	古 代	遺構・遺物なし	年報6
99-7-29~7-30	9905	(黒南) 自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営ガス設営工事	立会調査	50㎡		遺物・遺構なし	年報6
99-7-2~8-7	9906	(黒南) 自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営電気設営工事立会	立会調査	200㎡	古 代	古代溝6条、柱穴2個。古代土器片少量を検出	年報6
99-9-22~10-5	9907	(黒南) 工学部実験用プレハブ新築工事	発掘調査	136.5㎡	縄文前期~晩期	ピット群、縄文土器片出土	本報告VI
99-11-24~25	9908	(黒北) 附属養護学校給食室増改築工事	試掘調査	42㎡	近世以降	トレンチ2本設定して調査したが、遺構なし。近世磁器片	年報6
00-2-14~3-24	9909	(黒南) 工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営工事	試掘調査	1,853㎡	近世・近代	畑址・墓址。近世陶磁器、燗管、銅・鉄鏡	本報告VI
00-1-25	9910	(本荘北) 血液照射管理室増改築試掘	試掘調査	2㎡		掘乱著しく、遺構・遺物ともに確認できず	年報6
00-3-6~14	9911	(黒南) 水生動物飼育舎建築工事	発掘調査	70.9㎡		縄文土器・古代土師器・須恵器	本報告X
00-3-14	9912	(黒南・東) 外灯取設工事立会	立会調査	3㎡		遺物・遺構ともに確認できず	年報6
00-3-2	9913	医学部液化酸素供給設備新設工事立会	立会調査	7.84㎡		遺構・遺物なし	年報6
00-3-16~17	9914	(本荘南) さく井設備工事立会	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報6
2000年度							
00-4-7	0001	(黒南) 水生動物飼育舎新営給水管設営工事	立会調査	6.1㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-4-11	0002	(黒南) 水生動物飼育舎新営電気設営工事	立会調査	4.1㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-4-17	0003	(本荘北) 附属病院格納庫移設工事	試掘調査	5.8㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-10-23	0004	(黒南) 工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営電気設営工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-10-30	0005	(黒南) 工学部植栽工事	立会調査	63㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-11-6~22	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備第3井戸入水槽設営工事(Ⅰ区)	発掘調査	119.4㎡	縄文・古墳・古代	縄文時代石器・古墳時代柱穴・住居址・土師器・須恵器	本報告VI
00-11-22	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備第1井戸入水槽設営工事	試掘調査	4㎡	近・現代墓	近・現代墓石・墓壇・遺骨	年報7
00-11-27~29	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	85.5㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-12-4~13	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備排水配管工事(Ⅱ区)	発掘調査 立会調査	32㎡	縄文・古代	土壇状遺構・縄文時代石器・土師器・ガラス玉・鉄器・須恵器	本報告VI
00-12-8~01-1-10	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備電気設営工事(Ⅳ区)	立会調査	31.5㎡	古 代	遺構なし。土師器数点	年報7
00-12-19~20	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備排水配管工事(Ⅲ区)	発掘調査 立会調査	20.4㎡	古 代	住居址・土師器	本報告VI
00-12-26~28	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	100.7㎡	近・現代墓	近代墓壇・墓石・遺骨	年報7
01-1-29	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備排水配管工事(Ⅴ区)	立会調査	7㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-1-22~30	0007	(京町) 附属中学校体育器具庫新営工事	発掘調査	119.4㎡	弥生・古代	弥生・古代土師器・鉄器・土製鈔鉢車	年報7
01-2-5	0008	(黒北) 生涯学習環境研究センタースロープ取設工事	立会調査	28㎡		掘乱のため遺物・遺構なし	年報7
01-2-6~9	0009	(黒南) 理学部1-2号館身体障害者用設備整備工事	立会調査	70㎡	古 代	包含層を確認。古代土師器・須恵器	年報7
01-2-16~19	0010	(黒北) 体育系部室解体・新営工事	立会調査	372㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-2-22	0011	(大江) 旧食堂解体撤去工事・旧ボイラー室解体撤去工事	立会調査	132㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-3-5~6	0012	(黒北) 外灯取付工事	立会調査	3㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-3-6	0013	(大江) 屋内運動場〔高武館〕取り壊し工事	立会調査	500㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-3-22	0014	(黒北) 旧生活協同組合事務所解体撤去工事	立会調査	66㎡		遺物・遺構なし	年報7
2001年度							
01-4-9~7-3	0101	(本荘北) 附属病院医学部総合研究棟新営工事	発掘調査	1,733.75㎡	古墳・古代・近世・近代	住居址・溝・畑址・墓鉄鏡・土師器・須恵器	本報告VI
01-5-14	0102	(黒南) 基幹・環境整備	試掘調査	4.8㎡			本報告VI
01-5-14	0103	京町団地高圧ケーブル改修工事	立会調査	59.5㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-7-9~26	0102	(黒南) 基幹・環境整備	発掘調査	418.5㎡	縄 文	縄文土器・寛永通宝・鳳凰木椀・防空壕	年報8

01-7-4~10-29	0104	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備(共同溝設置)	発掘調査	1,023.8㎡	縄文・弥生・古墳・古代	住居址・溝・縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・石器・鉄器・青銅器	本報告VI
01-7-13	0105	(京町) 正門取設工事	立会調査	7.12㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-7-30~11-14	0106	(黒北) 大学教育研究センター等改修工事	立会調査	3,907㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-7-31	0107	(大江) 薬学部共同実験棟改修工事	立会調査	97.84㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-8-1-13	0108	(京町) キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-8-2-21	0109	(黒北) キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	58㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-8-27	0110	(大江) 薬学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	20㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-9-4	0111	(本荘南) 医学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	2,778㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-8-22.9-4	0112	(黒北) 食堂南側テラス整備工事	立会調査	662㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-9-14 10-1	0113	(本荘南) 医療技術短期大学キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	405㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-9-17	0114	(本荘北) 附属病院キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	38㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-10-19	0115	(黒南) 理学部2号館南側排水工事	立会調査	8.4㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-10-22~ 02-2-19	0116	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備(A~D地区・ボイラー設備更新等)	立会調査	426.1㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-12-8~02-2-9	0117	(本荘北) 医学部総合研究棟新営機械設備工事	立会調査	133.1㎡	古代	住居址・柱基礎・土師器・須恵器	年報8
01-12-12~02-2-4	0118	(黒南) 基幹・環境整備(特高変電設備等・植栽その他)	立会調査	111.7㎡		遺構・遺物なし	年報8
02-2-25~ 3-20	0119	(本荘北) 医療用ガス供給設備取設工事	発掘調査	205.8㎡	縄文・古墳・古代	住居址・溝・掘立柱建物址・縄文土器・土師器・須恵器・鉄器	本報告VI
02-3-18	0120	(本荘北) 総合研究棟周辺環境整備工事	立会調査	1,492.7㎡		遺構・遺物なし	年報8
02-3-18	0121	(本荘北) 附属病院西病棟(仕上II)新営工事	立会調査	1,076.4㎡		溝?・遺物なし	年報8
02-3-22	0122	(本荘北) 附属病院西病棟電気設備工事(仕上II)	立会調査	5.4㎡		遺構・遺物なし	年報8
2002年度							
02-4-3~4	0201	(黒北) 大学教育研究センターC棟空調機取設工事給排水及び室外機基礎工事	立会調査	29.3㎡		遺構・遺物なし	年報9
02-4-15~16	0202	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	199㎡		遺構・遺物なし	年報9
02-4-17	0203	(黒南) インキューベーション施設新営工事	試掘調査	3㎡			年報9
02-4-17	0204	(黒南) 総合研究棟新営工事	試掘調査	4㎡			年報9
02-4-24	0205	(黒南) 食堂異エコクリーンスマイル工事	立会調査	0.73㎡		遺構・遺物なし	年報9
02-5-20~29	0206	(黒南) 総合研究棟新営に伴う樹木移植工事	発掘調査	28㎡		築削	本報告X
02-5-30~8-2	0203	(黒南) インキューベーション施設新営工事	発掘調査	810㎡	近世	祖屋	年報9
02-6-3	0207	(黒南) 総合研究棟新営一次掘削に伴う電気工事	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報9
02-6-12~8-14	0204	(黒南) 総合研究棟新営工事	発掘調査	2,803㎡	縄文・古墳・古代	住居址・溝・火葬墓・縄文土器・土師器・須恵器	本報告X
02-7-2	0208	(黒北) 図書館南側学生部駐車場拡張工事	立会調査	24㎡		遺構・遺物なし	年報9
02-8-29	0209	(京町) 附属小学校スロープ取設工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし	年報9
02-10-1~ 10-3,11-18	0210	(黒南) 工学部樹木移植工事	発掘調査	61.19㎡		包含層・縄文土器・石鏡	本報告X
02-10-7	0211	(本荘北) 医学部総合研究棟新営工事(渡り廊下部分)	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報9
02-12-3/5/11	0212	(黒南) 通門門控幅工事	立会調査	480㎡		遺構・遺物なし	年報9
	0213	(本荘北) 総合研究棟新営電気設備工事	立会調査	216㎡		遺構・遺物なし	年報9
03-2-7	0214	(本荘北) 基幹環境整備外灯工事	立会調査	216㎡		遺構・遺物なし	年報9
03-2-18	0215	(大江) 薬学部実験動物慰霊碑建立工事	立会調査	3.4㎡		遺構・遺物なし	年報9
03-2-21	0216	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	18.5㎡		遺構・遺物なし	年報9
03-3-7	0217	(本荘南) 体育部室(プレハブ)新設工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報9
03-3-10	0218	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	27㎡	古代	住居址・土師器・須恵器・砥石	年報9
03-3-11	0219	(本荘南) 塀新設工事	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報9
03-3-26	0220	(新南) 教育学部新南)部農場竹藪・掘地境界掘り	立会調査	40㎡	古代	住居址・柱穴・溝・古代土師器・須恵器	年報9
2003年度							
03-4-10	0301	(黒南) 工学部薬品庫新設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-4-10	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	試掘調査	9.6㎡		土師器	年報10
03-5-20	0303	(黒南) 事務局排水管修理工事	立会調査	16.8㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-6-2~7-2	0304	(本荘北) 基幹・環境整備工事	発掘調査	333.5㎡	縄文・弥生・古墳・古代	住居址・溝・縄文土器・土師器・須恵器・近代陶磁器	本報告IX
03-7-18	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	立会調査	296㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-8-19	0305	(京町) 附属小・中学校フェンス取設工事	立会調査	44.3㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-8-6~9-12	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事(1区)	発掘調査	168.2㎡	縄文・古代	溝・ピット・土坑・遺物包含層・縄文土器	本報告VII
03-9-4~9-8	0306	(本荘南) 医療技術短期大学部北側駐車場環境整備工事	立会調査	539.2㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-9-5	0307	(薬) 大江総合研究棟給排水管および電気工事	立会調査	7.54㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-9-29	0308	(宇留毛) 小頃宿舎1棟給排水管漏水修理工事	立会調査	3.64㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-10-2	0309	(本荘南) 動物慰霊碑新設工事	立会調査	4.02㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-10-1~10-10	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	発掘調査	253.5㎡	縄文・古代	溝・ピット・陶磁器・土師器・須恵器・縄文土器・石器	本報告VIII
03-10-27		(黒北) 教室新築工事	試掘調査	13.75㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-11-6		(薬) 記念館建設工事	試掘調査	7.4㎡	古代	土師器	年報10
03-11-17~28	0310	(本荘南) 発生医学研究センター施設整備事業	立会調査	557㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-11-26	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事(ガス管)	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-12-9		(本荘南) 発生医学研究センター整備事業本体工事	試掘調査	26.58㎡			年報10

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

03-12-10	0311	(本荘北) 中央診療棟(軸) 設営工事	立会調査	4m		遺構・遺物なし	年報10
04-1-13	0312	薬草園取設工事	立会調査	11.2m		遺構・遺物なし	年報10
04-1-14	0307	(薬) 大江総合研究棟給排水管及び電気工事	立会調査	45.5m		遺構・遺物なし	年報10
04-1-15~19	0313	(黒北) 教室新築工事	立会調査	398.8m		遺構・遺物なし	年報10
04-1-23~27	0314	(本荘南) 医学部B棟・E棟・R1・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,000m	古 代	溝・ピット・土師器	本報告Ⅷ
04-1-30	0315	(本荘北) 東側駐車場整備工事	立会調査	30.7m		遺構・遺物なし	年報10
04-2-9	0316	(黒南) 理学部4号館周辺プレハブ等設置工事	立会調査	83m			年報10
04-2-16							
04-2-23	0317	(本荘北) 借勢の木移植	立会調査	16m			年報10
04-3-4	0318	(黒北) 附属養護学校門横市道水道修理工事	立会調査	2m		遺構・遺物なし	
04-3-5~9	0314	(本荘南) 医学部B棟・E棟・R1・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,000m	中世・古代	溝・ピット・陶磁器・土師器	本報告Ⅷ
04-3-9	0319	(黒北) 井戸改修工事	立会調査	2.3m		遺構・遺物なし	
04-3-9	0320	(黒北) 福祉施設空調設備取設工事	立会調査	13.19m		遺構・遺物なし	
04-3-10	0321	(黒南) 外灯設備工事	立会調査	3.4m		遺構・遺物なし	
04-3-10	0322	(黒南) 総合研究棟外灯設備工事	立会調査	4m		遺構・遺物なし	
04-3-10	0313	(黒北) 教室新築工事	立会調査	10m		遺構・遺物なし	
04-3-10	0323	(黒北) 教室新築工事(空調機取設)	立会調査	44m		遺構・遺物なし	
04-3-11	0324	(本荘南) 外灯設備工事	立会調査	4m		遺構・遺物なし	
04-3-11	0325	(本荘南) 外灯設備工事	立会調査	11.2m		遺構・遺物なし	
04-3-15	0326	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	3.54m		縄文土器片	
04-3-16	0327	(薬) 外灯設備工事	立会調査	11.8m		遺構・遺物なし	
04-3-17	0323	(黒北) 教室新築工事(植栽)	立会調査	8.92m	古 代	土師器・須恵器片	
04-3-22	0328	(京町) 教育学部附属小中学校街路灯設備工事	立会調査	7m		遺構・遺物なし	
04-3-19	0329	(黒北) 消火栓応急処置	立会調査	1.08m		遺構・遺物なし	
2004年度							
04-4-7	0401	黒髪団地北地区教室新築工事(渡廊下設置)	立会調査	33.8m		遺構・遺物なし	年報11
04-4-9		本荘団地北地区中央診療棟(軸) 設営工事	試掘調査	10.44m	古 代	溝?・土師器	年報11
04-4-13~5・31	0402	本荘団地南地区発生医学研究センター建設工事	発掘調査	1241.8m	古 代	土師器・須恵器・縄文土器	年報11
04-5-26		黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	試掘調査	7.76m	古 代	ピット・土師器	年報11
04-5-14	0403	本荘団地北地区中央診療棟(軸) 設営工事	立会調査	150m	古 代	土師器	年報11
04-10-14							
04-5-21	0404	薬学部地区植物園支柱ほか設置工事	立会調査	3.3m		遺構・遺物なし	年報11
04-6-25,28	0405	薬学部地区宮本記念館新営機械設備及びその他工事 本荘団地北地区(医病) 基幹・環境整備工事	立会調査 試掘調査	68.48m 10m	古代・縄文	遺構・遺物なし 土師器・縄文土器・土塊	年報11 年報11
04-5-24,26 6-4 10-26~28 11-12,29	0406	薬学部地区宮本記念館(仮称) 建設工事(旧建物撤去・樹木撤去・電気配線・給水管配管・ガス配管・樹木移植)	立会調査	1,332.4m		遺構・遺物なし	年報11
04-7-26	0408	宇留毛団地小宿宿舎揚水管漏水配管改修工事	立会調査	26.2m		遺構・遺物なし	年報11
04-7-29	0409	黒髪団地北地区記念碑設置工事	立会調査	72m		遺構・遺物なし	年報11
04-8-6 04-8-20							
04-8-23		黒髪団地南地区理学部駐輪場取設工事	試掘調査	11m	古 代	柱穴・須恵器・土師器	年報11
04-8-9	0410	黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	立会調査	370m		遺構・遺物なし	年報11
04-8-17~19,23 9-3 9-14~22 05-1-27~	0411	本荘団地北地区(医病) 基幹・環境整備(ポンプ室・R1実験棟取壊・ガス切替・水道プラグ止・周辺設備関連) 工事	立会調査 発掘調査	420m		土師器・須恵器・縄文土器・竪穴住居址・溝・ピット	本報告Ⅷ
04-9-16	0412	本荘団地北地区附属病院都市ガス漏配管修理工事	立会調査	5.7m		遺構・遺物なし	年報11
04-9-16	0413	京町地区附属中学校台風被害による倒木起し	立会調査	8m		遺構・遺物なし	年報11
04-9-16	0414	黒髪団地南地区工学部台風被害による倒木起し	立会調査	4m		遺構・遺物なし	年報11
04-9-21	0415	薬学部地区宮本記念館新営機械設備及びその他工事	立会調査	10m		遺構・遺物なし	年報11
04-9-21	0416-1	本荘団地北地区附属病院台風被害による倒木起し	立会調査	8m		遺構・遺物なし	年報11
04-9-21	0416-2	本荘団地南地区医学部台風被害による倒木起し	立会調査	1.5m		遺構・遺物なし	年報11
04-10-12	0417	黒髪団地北地区重要文化財案内板設置工事	立会調査	0.5m		遺構・遺物なし	年報11
04-10-19	0418	黒髪団地北地区夏目漱石記念碑柱設置工事	立会調査	0.3m		遺構・遺物なし	年報11
04-10-22	0419	本荘団地北地区附属病院福利厚生施設引込配線工事	立会調査	2.23m		遺構・遺物なし	年報11
04-11-1~28	0411	本荘団地北地区(医病) 基幹・環境整備	発掘調査	551m	縄文・古墳・古代	竪穴住居址・掘立柱建物址・溝・畑・土師器・須恵器・縄文土器・鉄線・勾玉・石器	本報告Ⅷ
04-11-26	0420	薬学部地区テニスコート整備工事	立会調査	695m		遺構・遺物なし	年報11
04-11-29	0421	黒髪団地南地区さく井設備工事	立会調査	43m		遺構・遺物なし	年報11
04-12-6	0422	本荘団地北地区中央診療棟(軸) 工事	立会調査	66.39m		遺構・遺物なし	年報11
04-12-15		黒髪団地北地区情報ネットワーク館関連工事	試掘調査	18m	古 代	住居址・柱穴・須恵器・土師器	年報11
04-12-24	0423	黒髪団地北地区記念館(木造) 取壊工事	立会調査	754m		遺構・遺物なし	年報11
05-1-11	0424	本荘団地北地区ポンプ車取設工事	立会調査	14.5m		遺構・遺物なし	年報11
05-2-1~2, 7~9	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館前工事(配管工事)	立会調査	160.08m	古 代	土師器・須恵器	本報告Ⅲ
05-2-21~3-30 5-9~6-10	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館建設工事	発掘調査	1,170.4m	古 代	土師器・須恵器	本報告Ⅲ
05-2-4,8~9	0426	本荘団地北地区防火水槽取設工事	試掘・発掘調査	84m	近 世	溝・土師器・須恵器・馬骨・銅銭	本報告Ⅷ
05-2-4	0427	黒髪団地北地区資料館前水道管漏水修理工事	立会調査	1.5m		遺構・遺物なし	年報11

05-2-21~22	0428	黒髪団地南地区樹木移植工事	立会調査	19m		遺構・遺物なし	年報11
05-2-21	0429	薬学部地区雨水設備工事	立会調査	4.25m		遺構・遺物なし	年報11
05-2-28.3-14.4-1	0430	本荘団地南地区駐車場環境整備工事	立会調査	1.846m			
05-3-1	0431	黒髪南地区事務局倉庫新築工事	立会調査	1.2m		遺構・遺物なし	
05-3-1	0432	教育学部附属中学校卒業記念植栽等工事	立会調査	0.945m		遺構・遺物なし	
05-3-1	0433	教育学部附属幼稚園掲示板設置工事	立会調査	0.81m		遺構・遺物なし	
05-3-2	0434	黒髪南地区工学部危険薬品庫改修工事(仮称)	立会調査	192.5m		遺構・遺物なし	
05-3-9	0435	黒髪南地区さく井設備工事(追加)	立会調査	5.6m		遺構なし・土師器	
05-3-10.15.16.18	0436	黒髪南地区事務局倉庫改修工事	立会調査	62.1m		遺構なし	
05-3-14-16	0437	大江地区薬学部外灯設備工事	立会調査	8.1m		遺構・遺物なし	
05-3-22	0438	教育学部附属幼稚園遊具取設工事	立会調査	4.14m		遺構・遺物なし	
05-3-23	0439	黒髪南地区樹木植栽工事	立会調査	6m		遺構・遺物なし	
05-3-24	0440	教育学部附属中学校洗滌機置き場新設工事	立会調査			遺構・遺物なし	
05-3-24	0441	教育学部附属小学校遊具取設工事	立会調査	2m		遺構・遺物なし	
05-3-24	0442	(本荘北) 附属病院福利厚生ガス管工事	立会調査	9.18m		遺構・遺物なし	
05-3-24	0443	(本荘北) 中央診療棟連絡棟II管工事	立会調査	0.8m		遺構・遺物なし	
05-3-25	0444	黒髪東地区教育学部附属養護学校給水管漏水改修工事	立会調査	1.74m		遺構・遺物なし	
05-3-28	0445	黒髪南地区事務局前樹木移植工事	立会調査	3.355m		遺構・遺物なし	
2005年度							
05-4-19~20	0501	本荘団地南地区駐車場環境整備工事(追加)	立会調査	28m	古代	土師器・須恵器	年報12
05-4-27	0502	医学部附属病院排水貯留槽ポンプアップ排水管補修	立会調査	4m		遺構・遺物なし	年報12
05-2-4~6-10	0425	(黒髪) 情報ネットワーク館本体工事	発掘調査	1065.2m	縄文・古代	堅穴住居址・掘立柱建物・縄文土器・土師器・須恵器・黒色土器	本報告書
05-5-30. 6-4.5.14	0503	(本荘) 発生医学研究センター施設整備事業(外構)	立会調査	2,337.2m		遺構・遺物なし	年報12
05-6-7.10	0504	小碓宿舎理設ガス配管漏れ補修・新設工事	立会調査	7m		遺構・遺物なし	年報12
05-6-9.10.12	0505	(医病) 基幹・環境整備(曳き家前)	立会調査	55.96m		遺構・遺物なし	年報12
05-6-20	0506	(大江) 薬学部テニスコートフェンス取設	立会調査	2.28m		遺構・遺物なし	年報12
05-6-21	0507	(本荘中) 敷地境界ブロック改修工事	立会調査	10.5m		遺構・遺物なし	年報12
05-7-8	0508	(黒髪) 情報ネットワーク館仮設進入路工事	立会調査	40.9m	古代	土師器・須恵器	年報12
05-7-13.14 7-19~9-30	0509	(医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)	発掘調査	1147m	縄文・弥生 古墳・古代	住居址・溝・土師器・須恵器	本報告書
05-7-19	0511	本荘団地北地区雨水配管補修	立会調査	7.6m	古代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05-8-1	0512	教育学部附属幼稚園物置設置	立会調査	0.96m		遺構・遺物なし	年報12
05-8-2~3	0513工①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	9.7m	古代	土師器・須恵器	年報12
05-8-2~25	0513理②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	198.75m	古代	土師器・須恵器	年報12
05-8-5	0514	医学部南地区テニスコート内給水設備工事	立会調査	19.94m		遺構・遺物なし	年報12
05-8-5~10	0513工⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	17.8m		遺構・遺物なし	年報12
05-8-8~18	0513工③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	80.88m	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
05-8-18	0515	本荘団地(南地区) 駐車場環境整備工事(その2)追加変更	立会調査	235.98m	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
05-8-18~23	0515工⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	14.7m		遺構・遺物なし	年報12
05-8-19~29	0513工④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-4	立会調査	259.m		遺構・遺物なし	年報12
05-8-24	0516	本荘団地中地区外灯設備工事	立会調査	11.3m		遺構・遺物なし	年報12
05-8-23~29	0513工②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	17.2m		遺構・遺物なし	年報12
05-8-25	0513工⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	14.7m		遺構・遺物なし	年報12
05-8-25	0513工⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	86.1m		遺構・遺物なし	年報12
05-8-25	0513理③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	65.m		遺構・遺物なし	年報12
05-8-25	0513理④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	120.25m		遺構・遺物なし	年報12
05-8-29~30	0513工⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	24.6m		遺構・遺物なし	年報12
05-8-30~9-1	0513工⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	20.4m		遺構・遺物なし	年報12
05-9-1~13	0513理①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	発掘調査	67.6m	縄文・古代	堅穴住居址・縄文土器・土師器・須恵器	年報12
05-9-1.20	0517	(医病) 基幹・環境整備(曳き家・現在地)	立会調査	1337m		遺構・遺物なし	年報12
05-9-4.5	0513理⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	48.75m		遺構・遺物なし	年報12
05-9-12~27	0513工⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	43.9m		遺構・遺物なし	年報12
05-9-13	0518	附属病院都市ガス設備改修工事	立会調査	29m		遺構・遺物なし	年報12
05-9-14	0519	(黒髪北) 学務部倉庫取設工事	立会調査	157.76m		遺構・遺物なし	年報12
05-9-15	0513工⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-5	立会調査	0.79m		包含層・ピット	年報12
05-9-15	0513工⑪	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	40.5m		遺構・遺物なし	年報12
05-9-15	0520	本荘団地北地区入院棟前スロープ取設工事	立会調査	17.18m		遺構・遺物なし	年報12
05-9-15	0521	本荘団地(北地区) 右風側水引直し	立会調査	2,355m		遺構・遺物なし	年報12
05-9-16~10-2	0513工②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	97.342m	古代	土師器・須恵器	年報12
05-9-16	0522	医学部附属病院管理棟屋外給水バルブ取替工事	立会調査	2.25m		遺構・遺物なし	年報12
05-9-27	0523	(医病) 中央診療棟(仕上)	立会調査	57.6m		遺構・遺物なし	年報12
05-10-11~11-7	0513工③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2.3	立会調査	150m	古代	住居址・溝・土師器・須恵器	年報12
05-10-11	0524	本荘団地(北地区) 駐車ゲート整備工事	立会調査	261.33m		遺構・遺物なし	年報12
05-10-13.14 17.18	0525	(黒髪) 情報ネットワーク設備工事	立会調査	73.6m	古代	住居・土師器・須恵器	年報12
05-10-14	0526	埋文調査室内改修機械設備工事	立会調査	20m		遺構・遺物なし	年報12
05-10-19.20	0527	(黒髪北) 文学部本館スロープ整備工事	立会調査	44m		遺構・遺物なし	年報12

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

05-10-21	0528	工学部ものづくり実習室新営工事	立会調査	810㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-10-25	0529	(医病) 外来臨床研究棟玄関前環境整備工事	立会調査	381.12㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-10-26	0530	薬学部温床室(苗床温室)補修工事	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-4	0531	旧情報処理センター屋外階段取設工事	立会調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-7	0532	教育学部附属養護学校給水引き込み漏水補修	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-7	0533	(黒北) ボイラー室給水管補修工事	立会調査	1.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-16.21	0534	黒髪南地区圍障改修工事	立会調査	121.3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-29 12-15	0513工⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	48㎡	古 代	住居址・柱穴	年報12
05-11-29~ 12-5	0513理⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	24㎡	古 代	住居址・溝・ピット・土師器・須恵器	年報12
05-12-4	0513工⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	117.4㎡	古 代	土師器	年報12
05-12-7	0513工⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	87㎡	古 代	ピット・土師器・須恵器	年報12
05-12-9	0513工⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	25㎡	古 代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05-12-12	0513工⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2, 5	立会調査	㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-12	0535	教育学部新南農園農場竹藪抜根	立会調査	455.7㎡		柱穴	年報12
05-12-13	0513工⑪	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-13	0513工⑫	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-13	0513工⑬	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	87.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-13	0513工⑭	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-14	0513理⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	86.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-14	0536	医学部弓道場設備工事	立会調査	82.73㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-15	0513理⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1, 2	立会調査	286.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-16	0537	理学部プレハブ倉庫新営工事	立会調査	167㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-19.21.26 06-1-6-11 2-27-3-2	0538	(黒髪) 情報ネットワーク館設備工事(追加)	立会調査	70.235㎡	古 代	土師器・須恵器	年報12
05-12-22	0539	本荘団地(中地区)ゴミ置場取設	立会調査	48.51㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-26	0513理⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-4-19	0513理⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	89㎡	古 代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06-1-5	0513理⑪	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	70㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-10.25	0540	本荘団地(南地区)埋設ガス管改修工事	立会調査	61.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-17	0513工⑮	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-20	0513工⑯	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	708㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-26 2-2.10.27	0541	(黒髪南) 理学部駐輪場整備工事(追加・再追加含む)	立会調査	1110.6㎡	古 代	土師器・須恵器	年報12
06-1-23	0513工⑰	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	45.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-24	0513工⑱	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-26	0513工⑲	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-27	0542	(医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動経路)	立会調査	146.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-30	0513工⑳	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-3	立会調査	656.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-13	0543	附属病院職員厚生施設園庭整備	立会調査	338.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-16.3-13	0544	(医病) 基幹・環境整備(設備・曳き家後)	立会調査	39㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-17	0545	教育学部附属幼稚園ブランコ用ゴムマット布設	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-24.3-7 3-8.13.16.17	0546	(黒髪) 情報ネットワーク館新営工事に伴う外構工事	立会調査	1837㎡	古 代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06-3-10	0547	(黒髪) 北地区学生会館西側バイク置場設置工事	立会調査	48㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-3-13	0548	本荘団地(中地区)渡り廊下設置	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-3-24	0549	(医病) 外来化学療法センター屋外污水配管工事	立会調査	1.92㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-3-30	0550	苔木補修工事	立会調査	0.91㎡		遺構・遺物なし	年報12

2006年度

06-4-11	0601	教育学部附属中学校テニスコート移設	立会調査	5.94㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-11	0602	(黒髪北) 接地工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-11	0603	(黒髪北) 資料館改修工事	発掘調査	32.1㎡	古 代	溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本報告IX
06-4-11~ 4-12	0604	(黒髪北) 資料館改修工事(屋外排水)	発掘調査	25.12㎡	古 代	住居址?・溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本報告IX
06-4-12	0606	工学部研究実験用車庫取設工事	立会調査	49.05㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-13	0605	放送大学案内板取設工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-18.19	0607	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-9	立会調査	5.2㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-21	0608	(黒髪北) 前面歩道配管補修工事	立会調査	1.3㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-24	0609	理学部駐輪場ガス洩れ補修	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-5-2	0610	教育学部附属小学校遊具新設	立会調査	0.98㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-5-11	0611①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-5-23.25	0611②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	129㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-5-22	0612①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	1.1㎡	古 代	柱穴・土師器	年報13
06-5-22-24	0612②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	発掘調査	24㎡	古 代	柱穴・土師器・須恵器	年報13
06-6-12	0614	(黒髪) 環境安全センター給水配管補修	立会調査	0.57㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-6-19	0613	附属病院中央診療棟新営電気設備工事	立会調査	72.4㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-6-22.28 7-3	0615	附属病院中央診療棟新営機械設備(衛生)工事	立会調査	153㎡	古 代	土師器・須恵器	年報13
06-6-27.7-7	0612③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	21.98㎡	古 代	土師器・須恵器	年報13

06・8・7	0616	教育学部附属中学校給水管補修工事	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・11	0617	(黒髪) プール附属家等環境配慮改修(アスベスト処理)工事	立会調査	0.59㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・11	0618	医学部附属病院駐車場側溝修理	立会調査	8.75㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・21	0619	教育学部附属養護学校屋外人工芝張替その他工事	立会調査	420.51㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・24・25	0611③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-3	立会調査	20.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・31～9・1	0611④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	64.1㎡	古代	溝・土師器	年報13
06・9・7	0620	教育学部附属小学校プール系統給水漏水補修工事	立会調査	2.8㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・9・11	0611⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	49.64㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・9・12	0611⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	1.40㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・9・14.15	0611⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	32.96㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・9・20.21	0611⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	55.1㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・2	0611⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・2	0621	(黒髪) プール附属家等環境配慮改修(アスベスト処理)工事その2	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・2.16 27.30 11・13	0622	(医病) 環境整備(西側駐車場等)工事	発掘調査	8,077.5㎡ (50.68㎡)	古代	土師器・須恵器・縄文土器	本報告Ⅶ
06・10・10.12	0623	黒髪団地外灯取設その他工事	立会調査	26.79㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・13	0624	附属病院設備管理棟アキウムレータードレン管漏れ修理	立会調査	2.16㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・16	0625	(医病) 基幹・環境整備(外灯)工事	立会調査	296.4㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・19	0626	(医病) 基幹整備(ボイラー設備他更新)工事	立会調査	106.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・25	0627	(大江地区) 雨水設備工事	立会調査	0.24㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・11・2	0628	医学部附属病院管理棟北側外灯撤去工事	立会調査	2.8㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・11・17.27 12・4	0629	(本荘) 医学部保健学科校舎改修電気設備工事	立会調査	239.4㎡	古代	土師器	年報13
06・11・20	0630	黒髪南地区工学部通用門周辺植栽	立会調査	15㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・11・30	0631	渡鹿団地防火用水撤去工事	立会調査	56.93㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・12・1	0632	事務局正門樹木植替え	立会調査	3.36㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・12・15.18～ 25.27.28	0612④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	発掘調査	162.7㎡	古代	土師器・須恵器・動物骨	年報13
07・1・4～9							
06・12・19	0633	本荘北地区南側駐車場歩道環境整備工事	立会調査	2943.79㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・12・25 07・4・2	0634	(本荘) 医学部保健学科校舎改修機械設備工事	立会調査	113.36㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・1・10.11.19	0635	附属養護学校ガス漏れ緊急立会	立会調査	13.45㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・1・18.22.23	0636	理学部4号館昇降路取設工事	発掘調査	30.35㎡	古代	土師器・須恵器・礫	年報13
07・1・30	0637	(本荘) 医学部保健学科校舎改修工事	立会調査	341.2㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・1	0638	(宇留毛) ゴミ置き場取設工事	立会調査	35㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・20	0639	(本荘) 医学部保健学科校舎CT用接地工事	立会調査	4.35㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・26	0640	黒髪団地北地区知命堂ガス漏れ調査	立会調査	1.52㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・1	0641	(本荘中) 医学部門衛所取り壊し工事	立会調査	52.42㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・6	0642	宇留毛団地災害復旧工事	立会調査	134.82㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・8	0643	(黒髪南) 理学部温室取り壊し工事	立会調査	101.7㎡	古代	土師器	年報13
07・3・8	0644	(南地区) 西側開障改修工事	立会調査	55.28㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・12	0645	本荘南地区テニスコート埋設給水管漏水工事	立会調査	763㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・20	0646	(医病) 環境整備(救急棟改修) 機械設備工事	立会調査	5.77㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・22	0647	(教) 附属幼稚園園障改修工事	立会調査	25.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・26	0648	(医病) 環境整備(山崎記念館外部改修)工事	立会調査	1.15㎡		遺構・遺物なし	年報13
2007年度							
07・4・10	0701	(教) 附属養護学校東門等改修工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・4・12		(本荘) 医学部図書講義棟新営工事	試掘調査		古代	溝・柱穴・土器	年報14
07・4・13	0702	教育学部附属幼稚園飼育小屋取設工事	立会調査	18.21㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・4・16.20	0703①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	立会調査	61㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・5・7.8	0704	(黒髪南) 新営工事に伴う樹木移植工事	立会調査	446㎡	古代	土師器・須恵器	年報14
07・6・7		(医病) 東病棟新営工事	試掘調査				年報14
07・6・13	0705	(医病) 東病棟新営に伴う支障線撤替工事(電気設備)	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・19.21.27	0703②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	469.2㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・20	0706	本荘南地区保健学科通用門整備	立会調査	17.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・20		黒髪北地区総合研究棟新営工事	試掘調査			柱穴・土器	年報14
07・6・25	0703③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	31.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・26.29 7・10.18.19	0707	(本荘) 医学部図書講義棟新営工事	立会調査	1,590㎡		障害物撤去・一次掘削	年報14
07・6・28	0708	(黒髪北) 大教センター南側雨水管つまり修理	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・29	0709	(本荘北) 仮設渡り廊下取設工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・3	0703④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.14	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・4	0710	(京町) 教育学部附属小中学校仮設校舎取設工事(変更)	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・9.10	0703⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	立会調査	58.75㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・17	0711	(医病) 基幹・環境整備(旧中央診療棟取り壊しに伴う電気設備)工事	立会調査	8.34㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・17	0703⑥-1	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	1,576.6㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・19	0703⑥-2	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	300.08㎡		遺構・遺物なし	年報14

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

07・7・30～9・3	0707	(本荘) 医学部図書講義棟新営工事	発掘調査	1,590㎡	縄文・古代	竪穴住居址・水田遺構・ピット 縄文時代石器・縄文土器・土師器・須恵器・鉄器	本報告Ⅷ
07・8・7	0712	(医病) 東病棟新営工事	立会調査	24㎡		一次掘削	本報告Ⅴ
07・8・10	0713	薬学部屋外給水管漏水修理工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・22	0714	(黒髪南) 理学部12号館掲示板取設工事	立会調査	15.7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・23	0715	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-19	立会調査	2.09㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・27～ 10・25	0712	(医病) 東病棟新営工事	発掘調査	589.29㎡	縄文・古墳 ・古代・近 世	縄文土器・土師器・須恵器・石 器・古代鉄器・銅製袴帯・馬骨・ 宋銭	本報告Ⅴ
07・9・3	0716	本荘南地区駐車場出入口整備	立会調査	294.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・9・14 10・3	0717	(医病) 基幹・環境整備(旧中央診療棟取り壊しに伴う機械 設備) 工事	立会調査	49.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・9・25～27 10・2	0703⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.16	発掘調査	275.5㎡	古 代	住居土・ピット・土師器・須恵器	年報14
07・9・27 10・12	0718	(大江) 薬学部本館耐震改修工事	発掘調査	264.32㎡	古 代	溝・土師器	年報14
07・10・4.15 16.22.25	0719	(京町) 教育学部附属小中学校校舎等改修工事	立会調査	308.68㎡	弥生・古代	ピット・弥生土器 土師器	本報告Ⅴ
08・1・30.31 2・13							
07・10・19	0720	事務局南側等屋外給水管補修工事	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・10・26～ 11・28	0719	(京町) 教育学部附属小中学校校舎等改修工事	発掘調査	230.3㎡	弥生・古代	竪穴住居・ピット・溝・弥生土 器・土師器・須恵器・打製石鏃	本報告Ⅴ 本報告Ⅷ
07・12・3～ 12・4.6.7	0721	(京町附属小中) 校舎等機械設備改修	立会調査	1,309.05㎡	弥生・古代 ・近世・近 代	竪穴住居・ピット・弥生土器・土 師器・須恵器・近世・近代陶磁器	本報告Ⅴ
08・1・18							
07・12・5	0722	(黒髪) 工学部8号館内部改修その他工事	立会調査	97㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・5.11	0723	(黒髪) 工学部8号館内部改修電気設備工事	立会調査	14.1㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・7.10.12	0724	(本荘中) 医学部基礎研究棟(C棟取り壊し) 工事	立会調査	1,000㎡	古 代	土坑・ピット・土師器	年報14
07・12・7	0725	(京町) 教育学部附属小・中学校校舎等改修電気設備工事	立会調査	90㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・10.17.18 08・1・16.17	0703⑧-1	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.18	立会調査	148.75㎡	古 代?	ピット	年報14
07・12・14～ 12・27	0721	(京町附属小中) 校舎等機械設備改修	発掘調査	112.65㎡	弥生・古代 ・近世・近 代	竪穴住居・ピット・近代土坑・弥 生土器・土師器・須恵器・近世 近代陶磁器	本報告 Ⅴ
07・12・19	0726	医学部基礎研究棟北側喫煙所	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・16.17	0703⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-20	立会調査	94.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・22	0727	(黒髪) 工学部8号館耐震改修機械設備工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・22	0728	(黒髪) 工学部8号館内部改修機械設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・23	0703⑩-2	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.18	立会調査	89㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・25	0703⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	2.04㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・29.30	0703⑩-3	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.18	立会調査	96.7㎡	古 代	土師器	年報14
08・2・14	0703⑩-4	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.18	立会調査	53.02㎡	古 代	土師器	年報14
08・2・14	0729	(黒髪南) ボイラー等撤去工事	立会調査	38.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・25	0730	(黒髪東) 教育学部附属特別支援学校防火用水槽撤去工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・27	0731	(黒髪南) 旧情報処理センター改修	立会調査	11.25㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・29	0732	(本荘) 特別高圧受電棟増築工事	立会調査	12㎡		土師器	年報14
08・3・11.26	0733	(医病) 旧中央診療棟取り壊し工事	立会調査	84㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・17	0734	(黒髪北) 排水路開口部フェンス設置工事	立会調査	50.3㎡			年報14
08・3・21	0735	医学部保健学科ボイラー用地下重油タンク撤去工事	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・21	0736	(大江北) 薬学部消防用水槽撤去工事	立会調査	73.3㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・25	0737	(黒髪南) ボイラー煙突撤去工事	立会調査	208㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・27	0738	(本荘南) 医学部保健学科記念碑取設工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・31	0739	(黒髪北) 出庫注意灯取設工事	立会調査	10.135㎡		遺構・遺物なし	年報14
2008年度							
08・4・2	0801	(医病) 旧中央診療棟とりこわし工事(追加)	立会調査	20㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・7	0802	附属中学校散水復旧工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・20	0803	薬学部薬草園管理舎ガス管改修工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・26	0804	(本荘北) 駐輪場取壊し工事	立会調査	11.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・5	0805	(黒髪南) ボイラー室南側給水管漏水修理	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・6.19.23.26 7・4.10.18.28 8・25 12・1.8	0806	(黒髪) 南地区福利施設支障配管替工事	立会調査	306.46㎡	古 代	土師器	年報15
08・6・20.25 ～7・1 7・28～30 12・4.18.19	0806	(黒髪) 南地区福利施設支障配管替工事	発掘調査	125.2㎡	古 代	溝・ピット・土師器・須恵器・近 代陶磁器・石器	本報告Ⅷ
08・6・9.10	0807	(本荘) 医学部図書講義棟新営機械設備工事	立会調査	29.7㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・18	0808	(黒髪北) 有機系廃液処理施設東側給水管漏水修理	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・23 7・1.3.4 7・15 7・16	0809	(黒髪南) 福利施設樹木移植工事(追加)	立会調査/ 発掘調査	23.5㎡	古 代	溝・住居址・土師器・石器	本報告Ⅷ
08・7・10	0810	宇留毛用地給水管補修工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15

I 構内遺跡と調査の概要

08・7・11	0811	(黒髮南) 共用棟Ⅱ4階改修電気設備工事	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・7・14	0812	(黒髮南) 掲示板移設工事	立会調査	41.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・7・15	0813	(本荘中) 医学部基礎構内都市ガス配管漏れ修理	立会調査	2.42㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・18	0814	(医病) 東病棟新営工事	立会調査	8㎡	弥生	薄発見	年報15
08・8・20～ 8・22	0814	(医病) 東病棟新営工事	発掘調査	212㎡	弥生・近世	弥生時代溝・近世溝 弥生土器・石器・近世陶磁器	本報告Ⅷ
08・8・21	0815	(本荘南) こぼと保育園支障基礎等撤去工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・21	0816	(本荘中) 医学部基礎構内市水道配管漏れ修理	立会調査	1.77㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・29	0817	宇留毛団地油タンク警報機補修工事	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・1	0818	(黒髮北) ポンプ室西側給水管漏水修理	立会調査	2.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・9.10	0820	(黒髮北) 文法学部本館改修南側支障物撤去工事	立会調査	80.2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・9	0821	本荘団地(北地区) 看護師宿舍埋設ガス管修理	立会調査	7.4㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・6	0822	本荘南地区保健学科東側陣障整備	立会調査	30㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・9.10～ 11・28	0819	(渡鹿) 体育館耐震改修その他工事	一次掘削/ 発掘調査	694.95㎡	縄文・古墳 ・古代	縄文土器・石器・古墳時代玉・土 師器・石器・人骨	本報告Ⅷ
08・10・10	0823	教育学部附属特別支援学校漏水調査補修工事	立会調査	4.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・15	0824	(本荘南) 医学部保健学科喫煙所取設工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・28	0825	(医病) 電力工事負担金	立会調査	120.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・29	0826	(黒髮南) 共用棟黒髮3樹木伐採・移植工事	立会調査	44.55㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・4	0827	五高開校120周年記念植樹	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・6	0828	(本荘) こぼと保育園改修電気設備工事	立会調査	10.7㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・10	0829	(黒髮北) 学務部プレハブ倉庫改修機械設備工事	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・18.19 21.25	0830	(本荘) こぼと保育園新営機械設備工事(変更2)	一次掘削/ 発掘調査/ 立会調査	20㎡	近 代	溝・住居址 古代土師器・須恵器・石器	本報告Ⅷ
08・11・18.20 12・24	0831	(渡鹿) 体育館耐震改修機械設備工事	発掘調査	113.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・1	0832	文法学部講義室北側給水管漏水調査	立会調査	1.04㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・3	0833	(黒髮北) 教育学部本館東側汚水排修工事	立会調査	1.4㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・10	0834	(本荘中) 共用棟新営工事(変更)	立会調査	14.13㎡		黒曜石	年報15
08・12・11.15 ～19	0835	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事(変更)	一次掘削/ 発掘調査	580㎡		ピット・住居址・土師器・須恵 器・弥生土器・縄文土器・石器・ 鉄器	本報告Ⅷ
09・1・13～2・19							
08・12・22 12・24.25	0836	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事 (変更その1,その2)	一次掘削/ 発掘調査	456.54㎡	古 代	溝・住居址・ピット・土師器・須 恵器・石器	本報告Ⅷ
09・1・5～2・27 3・10							
08・12・24	0837	五高開校120周年記念植樹(追加)	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・26	0838	(黒髮北) 教育学部本館改修南側耐震補強工事	立会調査	60㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・1・20	0839	(黒髮南) 備蓄倉庫取設工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・1・22	0840	(黒髮南) 南地区ボイラー室改修工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・2	0841	(黒髮南) ものづくり実習室Ⅱ新営に伴う支障樹木伐採・移 植工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・4	0842	(本荘) 医学部図書講義棟増築機械設備工事	立会調査	7.2㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・5	0843	(黒髮北) ボイラー煙突撤去工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・12	0844	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館改修電気設備工事 (変更)	立会調査	9.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・12	0845	(黒髮南) 福祉施設新築工事	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・13	0846	(城東町) 附属幼稚園北門改修工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・13 2・19	0847-1 ～2	(黒髮北) 教育学部本館改修(変更)	立会調査	130.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・23～24 2・27 3・4～ 3・5 3・13	0848-1 ～5	(黒髮北) 文法学部本館改修(変更,変更その2)	立会調査	138.17㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・16	0849	黒髮団地(北地区) 外灯増設その他工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・16	0850	(渡鹿) 体育館耐震改修機械設備工事(追加)	発掘調査 [立会調査]	13.32㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・17	0851	(医病) 水路蓋改修工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・18	0852	(黒髮南) 排水ポンプ電源工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・18	0853	(黒髮南) ものづくり実習室Ⅱ新営電気設備工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・23	0847-3	(黒髮北) 教育学部本館改修(変更その2)	立会調査	244.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・24	0854	(黒髮北) 北地区ボイラー室改修工事	立会調査	12㎡		土師器・須恵器	年報15
09・2・26～ 3・12	0854	(黒髮北) 北地区ボイラー室改修工事	発掘調査	106㎡	古 代	ピット・竈穴住居址・道状遺構・ 土壇墓・土師器・須恵器・石製紡 錘車	本報告Ⅷ
09・2・26	0855	(黒髮南) 田情報処理センター改修電気設備工事	立会調査	20.85㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・27	0856	(黒髮南) ものづくり実習室Ⅱ新営工事	立会調査	60.90㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・3	0857	(黒髮南) 田情報処理センタースロープ取設工事	立会調査	33.114㎡ (内9.12㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・4～6.11	0858	(黒髮北) 教育学部本館改修東側植栽工事	立会調査	117㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・6	0859	(黒髮南) 共用棟黒髮3耐震改修機械設備工事	立会調査	3.6㎡ (0.32㎡)		遺構・遺物なし	年報15

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

09・3・6.13	0860	(黒髪南) ものづくり実習室Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	115.54㎡ (17.74㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・9～11.17	0861	(黒髪北) 文法学部本館改修東側植栽工事	立会調査	336㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・9	0862	(黒髪南) 共用棟黒髪3耐震改修電気設備工事	立会調査	21㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・10～11	0863	(黒髪南) ボイラー室他改修機械設備工事	立会調査	98.5㎡ (4.86㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・16.23	0864	(黒髪北) 環境整備(排水等)工事	立会調査	119.99㎡		住居址・ビット・土師器	年報15
09・3・17	0865	(黒髪南) 南地区ボイラー室周辺外構工事	立会調査	393.78㎡ (1.12㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・23	0866	(黒髪北) 学生会館北側排水等工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・27	0867	(黒髪北) 北地区ボイラー室周辺外構工事	立会調査	37.24㎡ (16.1㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・31	0868	(医病) カーブミラー取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
2009年度							
09・4・15.17	0901	(黒髪南) 西門改修植栽移植工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・4・20.22. 24.27.30 5・1.25.27.28	0902	(黒髪南) 西門改修工事	立会調査	422㎡		内扉・扉新設に際し黒褐色の住居 址らしき遺構検出 それ以外遺構・遺物なし	年報16
09・4・23	0903	(本荘中) 中地区構内カーブミラー取設工事	立会調査	1.19㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・8	0904	(宇留毛) 学生寄宿舎駐輪場新営工事	立会調査	16㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・8	0905	(黒髪南) 屋外雨水管改修工事	立会調査	5.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・27	0906	(大江) 薬学部育葉フロンティアセンター新営その他工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・28	0907	(医病) 基幹整備(電話交換設備更新)工事その1(変更)	立会調査	11.48㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・5	0908	(医病) 基幹整備(電話交換設備更新)工事その2	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・4	0909	(大江) 薬学部樹木伐採・移植工事	立会調査	10.48㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・11	0910	(黒髪北) ガス配管修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・3 7・22	0911	(大江) 薬学部育葉フロンティアセンター新営その他電気設備工事	立会調査	3.24㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・6	0912	熊本大学黒髪団地(東地区) インフラ整備	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・8	0913	(黒髪北) 非常勤講師宿泊施設屋外給水管漏水修理	立会調査	0.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・8	0913	(黒髪北) 特別支援学校屋外給水管漏水修理	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・13	0914	(黒髪北) 文法学部本館耐震ブレース基礎まわり工事	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・28	0915	(宇留毛) 留学生宿舎新営電気設備工事(追加その5)	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・8・7	0916	(本荘中) 動物資源開発研究施設棟南側屋外配管漏水修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・8・10	0917	(本荘中) 構内通路屋根取設工事	立会調査	0.44㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4	0918	(黒髪北) 教育学部本館文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	50.37㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4	0919	(黒髪北) 文法学部本館Ⅱ期改修外構工事(変更)	立会調査	464.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4 10・2・24	0920	(黒髪北) 文法学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	3.56㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・29	0921	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修電気設備工事	立会調査	8.26㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・6	0922	(黒髪南) 工学部研究実験棟準備室A 種接地工事	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・13 10・27～ 10・30 11・12 11・13	0923	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事(変更)	立会調査/ 発掘調査	工区①0㎡ ②15.9㎡ (0925含) ③16一部50㎡ ④5.3㎡	古 代	ビット・住居 土師器坏・須恵器蓋	本報告Ⅹ
09・10・19 10・23 10・27～30	0924	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事 追加その2	立会調査/ 発掘調査	工区③39㎡ ④54㎡ ⑤25.5㎡ ⑥15.9㎡ (0923・ 0925含)	古 代	ビット	本報告Ⅹ
09・10・27～30 11・12.13.19 24～26 12・1～3	0925	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事 追加その1	立会調査/ 発掘調査	工区⑨15.9 ㎡(0923 含)⑥7.2㎡ ⑦7.2㎡ ⑧23.7㎡	古 代	ビット・住居址・溝 土師器・高坏 土師器・須恵器	本報告Ⅹ
09・10・13.28	0926	(医病) 基幹整備(自家発電設備更新)工事	立会調査	64㎡		土師器	年報16
09・10・20	0927	(黒髪南) ゴミ集積場取設工事	立会調査	9.19㎡		土師器	年報16
09・10・21	0928	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・29	0929	(医病) 第6病棟スロープ取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・11・4	0930	(本荘北) 基礎研究棟北側プレハブ小屋改修工事	立会調査	0.9㎡		磁器	年報16
09・11・10 11・18	0931	(医病) 東病棟北側排水管等取設工事	立会調査	14㎡		A・C遺構・遺物なし B住居址・縄文後期土師器・古代土 師器・須恵器	年報16
09・11・10 11・30～ 12・3 12・14	0932	(黒髪南) 旧図書館工学部分室改修工事	立会調査/ 発掘調査	地中梁試掘 ビット試掘 0.98㎡ 外溝工事 230.7㎡	古 代	溝 古代土師器・須恵器	本報告Ⅺ
09・12・9	0933	(京町) 附属小学校プール他改修機械設備工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・12・9	0934	(黒髪南) 旧図書館工学部分室他改修電気設備工事	立会調査	14.64㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・7.12.19.28 2・2	0935	(黒髪北) 体育館改修電気設備工事	立会調査/ 発掘調査	423.21㎡	古 代・近代	ビット 土師器・須恵器・磁器	本報告Ⅻ

10・1・12	0936	(医病) 旧こびと保育園駐車場整備	立会調査	12㎡		埋塞	年報16
10・1・13.2・23	0937	(黒髮南) 旧図書館工学部分室他改修機械設備工事	立会調査	56㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・14 2・17~19	0938	(黒髮南) エコロジーシステム実験室接地工事	立会調査/ 発掘調査	10㎡	縄文	溝・包含層 縄文土器・弥生土器	本報告欄
10・1・15	0939	(黒髮北) 教育学部本館Ⅱ期改修西側外構工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・26	0940	(黒髮南) 生物生息環境音響解析室新営工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・29	0941	(黒髮北) 体育館屋外階段改修工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・29	0942	(黒髮北) 体育館屋外配水管改修	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・2	0943	(黒髮南) 旧図書館工学部分室外構工事	立会調査	7㎡		V字型遺構(溝?)	年報16
10・2・8	0944	(黒髮北) 教育学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・8	0945	(黒髮北) 教育学部本館・文学部本館改修機械設備工事(Ⅱ期)	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・8	0946	(黒髮北) 教育学部本館・文学部本館改修機械設備工事(Ⅱ期)追加	立会調査	7.2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・12	0947	(大江) 薬学部講義棟前外灯工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0948	(黒髮北) 教育学部東教室既設駐輪場撤去・新設他工事	立会調査	45㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0949	(黒髮北) 教育学部東教室外構工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0950	(黒髮北) 教育学部東教室耐震改修機械設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0951	(黒髮北) 教育学部東教室耐震改修電気設備工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・22	0952	(黒髮南) 生物生息環境音響解析室新営機械設備工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・22	0953	(黒髮南) 生物生息環境音響解析室新営電気設備工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・1	0954	(黒髮南) 環境整備(駐輪場等)工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・1	0955	(黒髮南) 環境整備駐輪場外灯設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・2	0956	(本荘中) ボイラー室変電設備改修その他工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・3	0957	(大江北) 薬学部屋外通路屋根取設工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・4	0958	(黒髮東) 教育学部附属特別支援学校小学部遊具設置工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・4	0959	(黒髮北) 教育学部本館B棟配水管・連結送水管工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・5	0960	(本荘北) 医学部駐輪場取設工事	立会調査	17㎡		遺構覆土検出、計画変更により保存・遺物なし	年報16
10・3・8	0961	(黒髮南) 備蓄倉庫2取設工事	立会調査	0.83㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・8	0962	(黒髮南) 大学院自然科学研究科実験棟地圏探査工学実験室改修電気設備工事	立会調査	0.7㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・10	0963	(京町) 附属中学校校舎南側雨水管改修工事	立会調査	0.63㎡	弥生	ピット・浅い窪み 弥生時代瓦棺口縁部	年報16
10・3・11	0964	(黒髮北) 体育館改修電気設備工事(電柱撤去)	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・11	0965	(黒髮北) 文学部本館駐輪場撤去工事	立会調査	0.48㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・12	0966	(黒髮北) 保健センター前屋外消火栓取替工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・15	0967	(黒髮南) 事務局来客用駐車場取設工事	立会調査	2.34㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・16	0968	(黒髮北) 共用棟黒髮6号水設備撤去他給水設備改修工事	立会調査	3.76㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・19	0969	(黒髮東) ソフトテニスコート給水工事	立会調査	0.24㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・23	0970	(京町) 附属中学校教育学部同窓会甲魂碑案内標柱設置工事	立会調査	0.12㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・23	0971	(黒髮北) 文学部古紙倉庫設置工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・26	0972	(本荘南) 保健学科B棟給水配管工事	立会調査	8.7㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・26	0973	(大江北) 薬学部薬造館屋外給水配管工事	立会調査	0.31㎡		遺構・遺物なし	年報16
2010年度							
10・4・6	1001	(本荘中) ガスメータ付近ガス埋設管漏洩調査	立会調査	3.9㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・6・25 9・1	1002	(黒髮北) 文学部本館耐震プレース設置他工事	立会調査	22㎡ 0.18㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・6・30	1003	(黒髮南) 生物生息環境音響解析室看板設置工事	立会調査	0.18㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・8・4	1004	(黒髮北) 守衛室シャワー室改修工事	立会調査	11.04㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・8・9	1005	(京町) 附属小学校給排水設備工事	立会調査	17㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・8・10 9・3.6~10 11・3・4	1006	(黒髮北) 文学部本館Ⅲ期改修外構工事	立会調査/ 発掘調査	1,211.68㎡	古代	ピット・住居址・竈粘土 土師器・須恵器	本報告XII
10・8・10.9.3	1007	(黒髮北) 教育学部本館・文学部本館Ⅲ期改修機械設備工事	立会調査	48.2㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・8・11	1008	(黒髮北) 高圧配電線等改修工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・9・1 9・3	1009	(黒髮北) 教育学部本館・文学部本館Ⅲ期改修電気設備工事	立会調査/ 発掘調査	1.6㎡	古代	ピット・遺物なし	年報17
10・9・15	1010	(城東) 附属幼稚園運動場ガス漏れ修理	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・9・24	1011	(黒髮南) 理学部1・2号館中庭植栽	立会調査	2.3㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・10・4.5.7	1012	(黒髮北) 教育学部本館・文学部本館Ⅲ期改修機械設備工事(追加)	立会調査	67.7㎡		遺構なし 土師器片	年報17
10・10・4.5.7	1013	(黒髮北) 教育学部本館周辺移植等工事	立会調査	82㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・11・10.11	1014	(黒髮北) 教育学部本館耐震壁設置等工事	立会調査	91.63㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・10・26 11・2・1.10. 15.22.25 3・2.3	1015	(黒髮北) 教育学部本館Ⅲ期改修外構工事	立会調査	2,101.01㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・10・7	1016	(黒髮北) 教育学部浄化槽等撤去工事	立会調査	98.46㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・12・6	1017	(本荘南) テニスコート整備工事	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・12・20	1018	(黒髮北) 五高記念館樹木移植工事	立会調査	4㎡		遺構なし 須恵器・土師器片	年報17
10・12・20	1019	(黒髮北) 五高記念館便所新営工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報17

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

10・12・27	1020	(本荘南) テニスコート整備工事(追加)	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1021	(黒髪北) 五高記念館便所新管電気設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1022	(黒髪北) 五高記念館便所新管機械設備工事	立会調査	20.2㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1023	(黒髪南) 囲障改修工事	立会調査	6.95㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・2・4	1024	(本荘北) カーブミラー取設工事	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・2・24,25	1025	(本荘中) 医学部基礎研究棟とりこわし支障配管替工事	立会調査	175.5㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・2	1026	(黒髪北) 教育学部本館北側排水設備修理工事	立会調査	10.3㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・9	1027	(黒髪北) 北地区門衛所太陽光発電設備設置工事	立会調査	9.6㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・10	1028	(黒髪北) 教育学部本館正面入口前消火管修理	立会調査	2.7㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・16	1029	(本荘北) 学生部室とりこわし工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・22				0.75㎡			
11・3・17	1030	(黒髪南) 環境整備(駐輪場等)工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・23	1031	(黒髪北) 教育学部本館西側・文法学部本館北側排水設備改修工事	立会調査	205.7㎡		遺構・遺物なし	年報17
2011年度							
11・4・18,19	1101	(黒髪南) 車庫給水引込管改修工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・5・30	1102	(本荘中) 医学部基礎研究棟A棟とりこわし支障配管替工事	立会調査	62㎡ (8.2㎡)		遺構・遺物なし	年報18
11・6・17	1103	(黒髪南) 鋼木仮設緊急工事	立会調査	6.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・4・6 6・21~ 9・22	1104	(本荘北) 臨床医学教育研究センター(仮称)整備事業	立会調査/ 発掘調査	試掘31.2㎡ 発掘503.9㎡	古代・近代	住居址・墓坑・ピット 土師器・須恵器・人骨・銭貨・泥 面子・甕棺	本報告IX
11・6・22	1105	(黒髪南) 埋蔵文化財調査室排水管取設工事	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・6・24 10・17~19 11・14,10 21,24~25 11・28 12・9,12~14	1106	(本荘中) 医学部基礎研究棟(A棟)とりこわし工事	立会調査/ 発掘調査	1,556.04㎡	古墳・古 代・近世	溝・ピット 土師器片・須恵器	本報告IX
11・7・5	1107	(医病) 中庭掘削工事	立会調査	8.9㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・7・11	1108	(黒髪北) 障害者雇用施設改修工事	立会調査	71.3㎡ (3㎡)		遺構・遺物なし	年報18
11・7・11 8・15	1109	(黒髪北) 障害者雇用施設改修機械設備工事	立会調査	50.7㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・7・26	1110	(黒髪北) 五高記念館前樹木シロアリ被害支柱緊急取替工事	立会調査	3.53㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・8・18	1111	(黒髪南) 自然科学研究科研究棟・理学部研究棟前通路陥没等補修工事	立会調査	0.46㎡ 15.2㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・9・21,22 26~29 10・4,11 26~28 31	1112	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟等支障配線・配管替え)機械設備工事	立会調査/ 発掘調査	500㎡	古墳・古 代・近世	竪穴住居址・溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本報告IX
11・9・21	1113	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟等支障配線・配管替え)工事	立会調査/ 発掘調査	264.83㎡		1112調査地点と同様	本報告IX
11・10・11~13 17,18,11・1,11	1114	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟等支障配線・配管替え)機械設備工事その2	立会調査/ 発掘調査	184.81㎡	古代・近世	住居址?・溝・ピット 遺物なし	本報告IX
11・9・20	1115	(黒髪北) ラグビー場横給水管補修工事	立会調査	2.3㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・10・24~ 10・27	1116	(黒髪北) 文法学部講義棟便所増築等改修工事	立会調査/ 発掘調査	20㎡	古代	竪穴住居址?・ピット 古代土師器・須恵器	本報告IX
11・10・24,25 12・12 12・1・27	1117	(本荘中) 医学部基礎研究棟とりこわしに伴う中庭整備	立会調査	491.7㎡		遺構なし 土師器片	年報18
11・11・15	1118	(大江) 電柱支線撤去及び支柱新設	立会調査	0.42㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・11・22 12・14 12・1・17,18	1119	(医病) 基幹・環境整備(旧中央診療棟等とりこわしに伴う支障樹木移植等)工事	立会調査	407㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・11・24,25	1120	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟北側平屋部とりこわし)工事	立会調査	728㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・11・28~ 12・6・4	1121	(黒髪南) 基幹・環境整備(屋外排水設備等)工事	立会調査/ 発掘調査	7748.6㎡	縄文・弥生 中期・古 代・中世 前期・近現代	住居址?・土坑・溝・溝状遺構・ ピット・土坑状遺構・畑址(畝) 甕棺・縄文土師器片・土師器片・須 恵器片・円環・黒曜石チップ・黒 曜石片・燧石器(敲石?)	本報告IX
11・12・5	1122	(医病) 基幹・環境整備(血液照射管理室とりこわし)工事	立会調査	165.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・12・5 12・2・3	1123	(医病) 基幹・環境整備(中庭支障樹木撤去)工事	立会調査	21.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・12・9	1124	(黒髪北) 北地区食堂屋外給水配管工事	立会調査	1.54㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・12・19,20	1125	(大江北) 北門周辺環境整備(植栽・外灯)工事	立会調査/ 発掘調査	8.37㎡	古代	溝 土師器片・敲石・瓦片	本報告IX
11・12・19	1126	(大江北) 北門周辺環境整備(道路等)工事	立会調査	4.77㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・1・12	1127	(医病) 設備管理棟ボイラー室ドレン配管他改修工事	立会調査	8.1㎡		遺構なし・土師器片	年報18
12・1・16	1128	(黒髪北) 北地区食堂・保健センター西側ガス配管修理	立会調査	5.22㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・1・17,18,20 2・3,6~7 16,17,20,21,27	1129	(医病) 基幹・環境整備(旧中央診療棟とりこわし)工事	立会調査/ 発掘調査	7160㎡	古墳・古代	溝・土坑・ピット 古代土師器・須恵器・石製品	本報告IX

I 構内遺跡と調査の概要

11・12・9,13,14 12・1・24,26~27 2・8,15	1130	(本荘中) 医学部基礎研究棟 (B・D棟) とりこわし工事	立会調査 / 発掘調査	1,169.6㎡	中世以降	溝・土坑・ピット 土師器片・動物骨	本報告IX
12・1・25	1131	(京町団地) 環境整備 (法面保護) 工事	立会調査	4.3㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・1・31 2・1,6	1132	(医病) 基幹・環境整備 (渡り廊下Cとりこわし) 工事	立会調査	14.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・8	1133	(本荘中) 医学部旧ボイラー室改修機械設備工事	立会調査	46.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・16,17 21	1134	(黒髮南) 理学部劇場整備その他工事 (その1)	立会調査	747㎡		住居址もしくは溝と思われる遺構 ブラス・遺物なし	年報18
12・2・16	1135	(黒髮南) 理学部劇場整備その他工事 (その2)	立会調査	1㎡ (1238㎡)		遺構・遺物なし	年報18
12・2・16,20,21	1136	(黒髮南) 理学部劇場整備その他工事 (その3)	立会調査	60.8㎡		住居址か溝? 土師器片・須恵器片	年報18
12・2・20	1137	(黒髮南) 理学部3号館スロープ取設工事	立会調査	115.60㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・27	1138	(宇留毛) 建物名表示看板設置	立会調査	0.49㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・27	1139	(黒髮北他) 施設名称サイン設置工事	立会調査	0.63㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・28	1140	(京町) 環境整備 (法面整備等) 工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・28	1141	(京町) 環境整備 (南側開障) 工事	立会調査	2.0㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・7	1142	(大江) 薬草用植物園屋外掲示板設置工事	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・12	1143	(本荘中) ガス供給施設取替	立会調査	24.8㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・14	1144	(本荘中) エイズ学研究センター・生命資源研究・支援センター・動物資源開発研究施設新館・実験排水槽配管盛り替え工事	立会調査	7.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・26~3・27 4・24 8・21~23	1145	(医病) 基幹・環境整備 (第6号棟とりこわし) 工事	立会調査 / 発掘調査	427.30㎡	古代・中世以降	溝・土坑・ピット 土師器片・磁器の取手・須恵器片	本報告IX
2012年度							
12・4・10	1201	(黒髮南) 事務局南側密着樹木植栽工事	立会調査	0.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・13	1202	(京町) 附属小学校給食センター耐震二次診断調査業務	立会調査	7.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・14,15 6・18 7・9,10 10・15,16	1203	(本荘北) 本荘北地区駐車場配管工事 (新設)	立会調査	159.7㎡		磁器	年報19
12・6・20,29 7・3,26 7・31 8・6,17	1204	(本荘北) 樹木移植等工事	立会調査	136.0㎡		磁器	年報19
12・6・19~7・19	1205	(本荘中) 医学部基礎研究棟 (B棟東側) とりこわし工事	立会調査 / 発掘調査	756㎡	古代・近世	溝・ピット・土師器・須恵器・陶磁器・獣骨	本報告X
12・6・25	1206	(黒髮北) 五高記念館南側屋外給水管補修工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・29 7・3~5	1207	(本荘北) 水銀指定基準超過区域土壌掘削除去に伴う立会調査・発掘調査	立会調査 / 発掘調査	100㎡	古代・近代	竪穴住居址・墓・溝 (保存)・ピット2・土師器・須恵器	年報19
12・7・9,10	1208	(本荘北) 立体駐車場支障配線替工事	立会調査	73.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・6,9,13	1209	(本荘中) 医学部基礎研究棟B棟漏水処置に伴う立会調査	立会調査	9.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・17	1210	(京町) 附属小学校給水本管補修工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・23,24	1211	(京町) 教育学部附属中学校西側フェンス改修工事	立会調査	3.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・31	1212	(医病) 西病棟西側道路陥没復旧工事	立会調査	6.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・17,20	1213	(本荘北) 本荘北地区駐車場既設配管工事	立会調査	468㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・16,17,20 9・5	1214	(本荘北) 立体駐車場新営その他工事	立会調査	224.3㎡		磁器・土師器	年報19
12・8・21	1215	(城東) 教育学部附属幼稚園屋外埋設ガス配管改修工事	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・28	1216	(京町) 附属小学校体育館系統排水管改修工事	立会調査	39.5㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・30	1217	(医病) 駐車場整備員控室改修機械設備工事	立会調査	4.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・3,4	1218	(黒髮北) 防災管理システム取設工事	立会調査	100.3㎡		ピット・土器・陶磁器	年報19
12・9・12,13	1219	(大江) 屋外給水管修理	立会調査	39.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・14	1220	(黒髮北) フール機械室冠水対策工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・19	1221	(京町) ブロック塀改修工事	立会調査	171㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・20,21	1222	(医病) 外来診療棟新営機械設備工事	立会調査	40㎡		遺構?	年報19
12・9・26~28 10・1~	1223	(本荘中) 国際先端医学研究拠点施設新営工事	立会調査 / 発掘調査	1059㎡	古代・近世	溝・竪穴住居址・掘立建物址・土坑・ピット・石製品・土師器・須恵器・陶磁器・土製品・鉄製品・獣骨	本報告X
12・10・15,23,24	1224	(黒髮南) 理学部温室Aとりこわし工事	立会調査	14.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・9	1225	(医病) 西病棟西側地盤改良工事	立会調査	31.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・13	1226	(本荘北) 外来診療棟新営電気設備工事	立会調査 / 発掘調査	2.2㎡		遺構?	年報19
12・11・19,20,21	1227	(本荘北) 立体駐車場新営その他工事 (追加)	立会調査	27.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・26,27 12・20	1228	(黒髮南) 理学部劇場倉庫新営工事	立会調査	27.6㎡	古代	溝又は住居址?	年報19
12・12・10	1229	(黒髮北) 教育学部本館植栽植替工事	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・12・18,19	1230	(黒髮北) 教育学部北側擁壁改修工事	立会調査	5.2㎡	古代	ピット・土師器・須恵器	年報19
13・1・28,29	1231	(大江) 薬学部A棟南側池系統屋外給水管改修工事	立会調査	36.3㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・1・30	1232	(大江) 大江地区R1施設屋外給水取替工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・7,8 12,13	1233	(本荘中) 医学部旧ボイラー室煙突撤去工事	立会調査 / 発掘調査	9.3㎡	古代	ピット・土師器	本報告XI

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

13・2・21.22	1234	(本荘北) 医学部駐輪場取設工事	立会調査/ 発掘調査	24.1㎡	古代・近世 以降	土坑・土師器・須恵器・磁器	年報19
13・2・21	1235	(医病) 構内ガス管緊急補修工事	立会調査	1.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・27	1236	(黒髪北) 教育学部喫煙所設置工事	立会調査	0.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・27	1237	(黒髪南) 理学部3号館南側実験廃棄物置場工事	立会調査	9.0㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・28	1238	(黒髪南) 電気自動車車庫新営工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・5	1239	(医病) 構内ガス管緊急補修工事	立会調査	8.0㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・6	1240	(黒髪南) 工学部駐輪場工事	立会調査	2.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・7	1241	(京町) 教育学部附属小学校校舎 AB 棟空調設備取設工事	立会調査	27.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・11.14	1242	(本荘中) 動物資源研究開発研究施設本館重油地下タンク撤去に伴う立会調査	立会調査	29.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・21.25	1243	(本荘南) 保健学科 E 棟東側地中埋設物撤去工事	立会調査	29㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・26	1244	(本荘北) 看護師宿舎1階院内保育園改修機械設備工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
2013年度							
13・5・21~7・27	1301	(黒髪北) 附属図書館中央館樹木伐採工事	立会調査	298.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・5・21~7・10	1302	(黒髪北) 附属図書館中央館改修機械設備工事	立会調査/ 発掘調査	395.00㎡	古代	住居・柱穴・土師器・須恵器	年報20
13・5・21~6・12	1303	(黒髪北) 附属図書館中央館改修電気設備工事	立会調査	97.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・5・25.31	1304	(黒髪北) 五高記念館前漏水補修工事	立会調査	0.45㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・6・17.21.25	1305	(黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営に伴う支障樹木移植等工事	立会調査	127.60㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・6・18~7・12	1306	(黒髪北) 附属図書館中央館外構工事	立会調査/ 発掘調査	1368.00㎡	古代	溝	年報20
13・7・19	1307	(黒髪南) 事務局本館西側溝補修工事	立会調査	4.10㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・7・19	1308	(大江北) 薬学部倉庫1とりこわし工事	立会調査	47.03㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・8・8~10・4	1309	(黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営その他工事	立会調査/ 発掘調査	632.00㎡	近現代	畑址・土坑墓・葎骨器・陶磁器・ガラス製品・面子・鉄製品	本書
13・8・6~ 15・3・20	1310	(黒髪南) ライフライン再生(給水設備等)工事	立会調査/ 発掘調査	5275.60㎡	近世・古 代・縄文	住居・柱穴・溝・陶磁器・土師器・須恵器・鉄器・縄文土器・石器	年報20
13・9・24~10・4	1311	(黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営に伴う支障配管替工事	立会調査	101.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・10・11	1312	(黒髪北) 知命堂給水管漏水補修工事	立会調査	0.815㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・9・13	1313	(黒髪北) テニスコート改修工事	立会調査	6.48㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・9・2	1314	(黒髪北) 知命堂改修工事	立会調査	41.45㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・9・12~ 14・3・14	1315	(黒髪北・黒髪南) 都市計画事業 中部及び東部処理区雨水吐貯留管(C-3, E-4)築造工事	立会調査	5.60㎡	近世・近代	陶磁器	年報20
13・10・28	1316	(医病) 中央診療棟東側汚水樹蓋取設工事	立会調査	0.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・1~ 12・18	1317	(本荘中) 基幹整備(自家発電設備)工事(地下タンク)	立会調査/ 発掘調査	100.10㎡	古代	住居・溝・柱穴・土師器・須恵器	年報20
13・11・1~ 12・18	1318	(本荘中) 基幹整備(自家発電設備)工事(発電機設備)	立会調査/ 発掘調査	236.40㎡	古代	住居・溝・柱穴・土師器・須恵器	年報20
13・11・1~ 12・18	1319	(本荘中) 基幹整備(自家発電設備)工事(埋設配管)	立会調査/ 発掘調査	155.90㎡	古代	住居・溝・柱穴・土師器・須恵器	年報20
13・11・20	1320	(医病) 環境整備(東側駐車場等)工事(舗装・構造物関係)	立会調査	3,309.80㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・15~ 14・12・9	1321	(医病) 環境整備(東側駐車場等)工事(人孔・雨水関係)	立会調査/ 発掘調査	989.50㎡	古代	住居・溝・柱穴・土坑	年報20
13・11・15~ 14・12・2	1322	(医病) 環境整備(東側駐車場等)工事(樹木関係)	立会調査	73.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・23	1323	(医病) 作業室改修機械設備工事	立会調査	3.75㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・19	1324	(医病) 設備管理棟ボイラー設備等工事(配管工事)	立会調査	17.70㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・20~ 11・13	1325	(医病) 基幹整備(電気設備)工事	立会調査/ 発掘調査	468.10㎡	古代	柱穴・土師器	年報20
13・11・21.22	1326	(医病) 旧電話交換室改修機械設備工事	立会調査	13.78㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・21.22	1327	(医病) 旧電話交換室改修工事	立会調査	36.40㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・25.26	1328	(医病) 看護師宿舎屋外ガス配管改修工事	立会調査	30.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・29	1329	(本荘北) 駐車場ゲートインターホン移設工事	立会調査	22.60㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・28~ 14・2・7	1330	(城東町) 教育学部附属幼稚園管理棟等改修その他工事	立会調査	208.49㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・12・9~ 14・1・14	1331	(本荘中) 国際先端医学研究拠点新営電気設備工事	立会調査	83.51㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・12・9 14・2・25	1332	(本荘中) 国際先端医学研究拠点新営電気設備工事	立会調査	75.26㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・1・17~ 2・12	1333	(医病) 設備管理棟ボイラー設置等工事(重油地下タンク更新・汚染土壌除去)	立会調査/ 発掘調査	101.56㎡	古代	柱穴・土師器・須恵器	年報20
14・1・21	1334	(黒髪北・黒髪南) 交通安全施設更新工事	立会調査	1.28㎡	近現代	陶磁器	年報20
14・1・31	1335	(大江北) P H S 更改工事	立会調査	0.64㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・5	1336	(城東) 教育学部附属幼稚園管理棟等改修その他工事(機械設備工事)	立会調査	529.10㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・10	1337	(医病) 外来診療棟新営機械設備工事	立会調査	10.62㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・17	1338	(黒髪北) 全学教育棟(C棟)スロープ取設工事	立会調査	57.68㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・17~26	1339	(黒髪北・南) 屋外サイン設置工事	立会調査	196.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・28	1340	(黒髪北) 黒髪北倉庫A(旧外国人宿舎)改修工事	立会調査	39.30㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・21	1341	(京町) 教育学部附属中学校門扉改修工事	立会調査	20.00㎡		遺構・遺物なし	年報20

14・2・25 3・13~17	1342	(京町) 教育学部附属小学校体育館改修その他工事	立会調査	48.70㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・12~25	1343	(京町) 教育学部附属小学校体育館改修その他工事(機械設備工事)	立会調査	588.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・24~3・13	1344	(京町) 教育学部附属小学校体育館改修その他工事	立会調査	702.90㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・23~3・12	1345	(本荘中他) 基盤整備(給水設備等)工事(本荘中地区分)	立会調査	909.00㎡	近世	陶磁器・古銭	年報20
14・3・6~3・17	1346	(黒髮南) 総合研究棟(工学系)改修工事	立会調査	29.45㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・6	1347	(黒髮南) 総合研究棟(工学系)改修工事	立会調査	132.90㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・27	1348	(黒髮南) 総合研究棟(工学系)改修電気設備工事	立会調査	48.76㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・27~3・17	1349	(黒髮南) 総合研究棟(工学系)改修機械設備工事	立会調査	365.00㎡	近世・近代	陶磁器・瓦・泥面子	年報20
14・2・28	1350	(京町) 支障樹木撤去	立会調査	57.40㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・10	1351	(京町) 備蓄倉庫新設	立会調査	141.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・28	1352	(城東町) 教育学部附属幼稚園アロック塙改修工事	立会調査	272.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・6	1354	(黒髮北) 黒髮北倉庫A改修機械設備工事	立会調査	0.60㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・6	1355	(黒髮北) 備蓄倉庫新設	立会調査	52.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・7	1356	(大江北) 薬学部北門入口銅像設置工事	立会調査	4.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・7	1357	(大江北) 備蓄倉庫新設	立会調査	24.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・7	1358	(大江北) 支障樹木撤去	立会調査	18.80㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・22	1359	(黒髮北) 仮設駐車場取設工事	立会調査	427.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・19	1360	(黒髮北) 重要文化財五高記念館耐震診断業務	立会調査	20.40㎡	近代	陶磁器・瓦	年報20
14・3・19.20	1361	(黒髮南) 重要文化財工学部研究資料館耐震診断業務	立会調査	4.00㎡	近代	陶磁器	年報20
14・3・27	1362	(京町) 教育学部附属中学校卒業記念時計台設置工事	立会調査	4.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・28	1363	(黒髮南他) 都市ガスメーター取替工事	立会調査	22.00㎡		遺構・遺物なし	年報20

2014年度

14・4・3	1401	(黒髮北) 附属図書館中央館雨水排水ポンプ増設工事	立会調査	4.41㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・4・11	1402	(大江北) 体育館改修その他工事	立会調査	60.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・4・14~16	1403	(大江北) 体育館改修その他工事(機械設備工事)	立会調査	414.00㎡	古代	土師器	年報21
14・4・14	1404	(大江北) 体育館改修電気設備工事	立会調査	44.29㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・4・17	1405	(京町) 教育学部附属中学校卒業記念樹再植樹	立会調査	4.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・4・18.5・19	1406	(本荘中) 国際先端医学研究拠点新営その他工事(外構工事)	立会調査	1672.70㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・5・30	1407	(京町) 教育学部附属小学校給食センターとりこわしに伴う支障配管撤去工事	立会調査	3.50㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・6・9	1408	(黒髮南) 本部(旧事務局本館)基礎調査	立会調査	21.00㎡	近代	赤煉瓦基礎	年報21
14・6・24	1409	附属幼稚園プール遮光ネット取付	立会調査	1.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・6・20	1410	(黒髮北) 附属図書館中央館看板補修工事	立会調査	0.50㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・6・19.26	1411	(京町) 教育学部附属小学校給食センターとりこわし工事(機械設備)	立会調査	16.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・6・19.26	1412	(京町) 教育学部附属小学校給食センターとりこわし工事	立会調査	396.70㎡		土師器	年報21
14・7・8.14	1413	(医病) 中央診療棟東側環境整備工事	立会調査	225.40㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・7・8.14	1414	(医病) 中央診療棟東側環境整備(機械設備)工事	立会調査	21.60㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・7・25	1415	(黒髮北) 体育館改修電気設備工事(仮設電源)	立会調査	2.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・9・4~ 15・4・15	1416	(黒髮北) 武道場等改修機械設備工事	立会調査	1,087.30㎡	古代・近世	ピット・須恵器・土師器・陶磁器・鉄器	年報21
14・9・11~ 15・6・10	1417	(京町) 教育学部附属小学校校舎新営その他工事(建築工事)	立会調査・発掘調査	747.90㎡	弥生・古代・近世・近代	住居・溝・ピット・建物基礎、弥生土器・土師器・陶磁器	本報告Ⅱ
14・9・16~11・20	1418	(黒髮南) 国際革新技術研究拠点施設新営機械設備工事	立会調査	532.00㎡	近現代	土坑墓・墓石・骨壺、陶磁器	年報21
14・10・10.14	1419	(黒髮南) 国際革新技術研究拠点施設新営電気設備工事	立会調査	49.388㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・10・14	1420	(本荘南) 体育館改修機械設備工事	立会調査	26.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・10・14.15	1421	(本荘南) 体育館改修工事	立会調査	320.02㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・10・14	1422	(本荘南) 体育館改修電気設備工事	立会調査	6.48㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・10・16~ 15・9・2	1423	66kV 銀座橋熊大医学部線鉛被OFケーブル改修工事	立会調査・発掘調査	148.26㎡	古代	溝・土師器・須恵器	年報21
14・10・29~11・26	1424	(医病) 枯木徐根伐採業務	立会調査	21.16㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・11・21~ 15・7・29	1425	(本荘北) 臨床研究棟新営その他工事(地下躯体撤去・擁壁設置)	立会調査	1,655.00㎡	古代・近世・近代	住居・溝・ピット・建物基礎、土師器・須恵器	本報告Ⅱ
14・11・17.12・24~ 15・11・2	1426	(本荘北) 臨床研究棟新営その他工事(本体工事)	立会調査・発掘調査	2,141.00㎡	古代・近世・近代	住居・溝・ピット・建物基礎、土師器・須恵器	本報告Ⅱ
14・11・18	1427	(黒髮北) 体育館改修工事	立会調査	81.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・11・19	1428	(京町他) 教育学部附属教育実践総合センター等外部改修工事	立会調査	7.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・12・12~ 15・7・24	1429	(黒髮南) 本部樹木等撤去その他工事	立会調査・発掘調査	282.40㎡	古代・近世・近代	住居又は溝・ピット・赤煉瓦基礎、土師器・須恵器・陶磁器	年報21
14・12・12~ 15・7・24	1430	(黒髮南) 本部屋外スロープ取設工事	立会調査・発掘調査	195.77㎡	古代・近世・近代	赤煉瓦基礎、土師器・須恵器・陶磁器	年報21
14・12・15・16	1431	(京町) 教育学部附属小学校校舎新営その他電気設備工事	立会調査	12.50㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・12・18~ 15・6・24	1432	(医病) 管理棟改修その他工事(撤去)	立会調査	279.70㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・12・19	1433	(医病) 案内板設置業務	立会調査	2.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・12・22	1434	(黒髮南) 黒髮南S1等太陽光発電システム基礎設置その他工事	立会調査	77.90㎡	近代	土器片、建物基礎	年報21
14・12・22 15・1・16	1435	(黒髮南) 黒髮南S1等太陽光発電システム基礎設置その他工事(電気設備)	立会調査	46.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・1・7~6・2	1436	(黒髮南) 本部エレベーター棟増築工事	立会調査・発掘調査	60.30㎡	古代・近世・近代	赤煉瓦基礎、土師器・須恵器・陶磁器	年報21

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

15・1・14～97	1437	(黒髪南) 本部改修その他機械設備工事	立会調査／ 発掘調査	1020㎡	古代・近 世・近代	赤煉瓦基礎、土師器・須恵器・陶 磁器	年報21
15・2・9	1438	(黒髪北) 総合研究棟(教育学系)改修その他工事	立会調査	159.10㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・2・9～27	1439	(黒髪北) 総合研究棟(教育学系)改修機械設備工事	立会調査	73.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・2・10,3・4	1440	(黒髪北) 体育館改修電気設備工事	立会調査	85.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・2・12	1441	(本荘北) 臨床研究棟新営機械設備工事	立会調査	40.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・2・25～7・3	1442	(医病) 管理棟改修その他工事	立会調査	563.40㎡		遺構・遺物なし	本報告Ⅻ
15・2・26～4・16	1443	(京町) 教育学部附属小学校新営その他機械設備工事(その 2)	立会調査	241.80㎡	弥生	溝・ピット、弥生土器	本報告Ⅻ
15・2・27	1444	(黒髪北) 法学部サークル棟新営その他工事	立会調査	64.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・3・2～3・6	1445	(黒髪北) 環境整備(駐車場等)に伴う樹木等移植業務	立会調査	86.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・3・18～23	1446	(黒髪北) 環境整備(駐輪場等)工事	立会調査	194.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・3・3	1447	(黒髪他) 屋外サイン設置工事(大江)	立会調査	32.60㎡		土師器	年報21
15・3・4	1448	(黒髪他) 屋外サイン設置工事(黒髪)	立会調査	57.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・12・24	1449	(黒髪北) 全学教育棟屋外ガス漏洩補修工事	立会調査	3.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・3・16	1450	(渡鹿2) 渡鹿宿舎駐車場増設工事	立会調査	213.60㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・5・2	1451	(本荘南) ホンブ室設置及び給水設備取替工事	立会調査	180.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
2015年度							
15・5・11	1501	(黒髪北) 五高記念館前庭植栽除根業務	立会調査	30.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・5・18,19 16・11・4	1502	(本荘北) 臨床研究棟新営電気設備工事	立会調査	77.87㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・5・20,21	1503	(本荘北) 臨床研究棟新営機械設備工事(その2)	立会調査	19.00㎡	古代	土師器・瓦	年報22
15・5・18～ 7・28	1504	(本荘北) 臨床研究棟新営機械設備工事(その3)	立会調査	485.00㎡	古代・近代	住居・溝・土坑・ピット・建物基 礎、土師器・須恵器	本報告Ⅻ
15・6・12～ 7・29	1505	(医病) 管理棟改修機械設備工事	立会調査	349.00㎡	古代・近世	土師器・陶磁器	年報22
15・6・29	1506	(黒髪南) 黒髪南C7 6階実験室電源その他工事	立会調査	40.80㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・7・30	1507	(黒髪北) 北地区学生会館A棟前舗装補修工事	立会調査	150.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・8・7,12・18	1508	(黒髪北) 校舎(旧北地区食堂)改修工事	立会調査	36.70㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・8・20	1509	(大江北) A棟北側屋外給水管修理工事	立会調査	28.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・9・11	1510	(黒髪南他) 台風15号に伴う樹木復旧作業(黒髪)	立会調査	42.30㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・9・14	1511	人文社会科学喫煙所設置工事	立会調査	12.06㎡	古代	土師器・須恵器	年報22
15・9・15	1512	(黒髪南他) 台風15号に伴う樹木復旧作業(大江)	立会調査	14.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・9・28	1513	(本荘北) 臨床研究棟新営仮設電柱建柱工事	立会調査	9.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・10・26～ 29・3・1	1514	(黒髪北) 校舎(旧北地区食堂)改修機械設備工事	立会調査	78.90㎡	古代	住居・溝・ピット、土師器・須恵 器	本報告Ⅻ
15・11・26	1515	(黒髪北) 北地区学生会館中庭インターロッキングブロック 復旧工事	立会調査	19.60㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・11・26	1516	(黒髪北) 黒髪北E1(全学教育棟)西側インターロッキン グブロック復旧工事	立会調査	27.30㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・11・30	1517	(宇留毛) 寄宿舎共通棟男子浴室等改修機械設備工事	立会調査	9.2㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・12・8	1518	(本荘北) 屋外サイン設置工事	立会調査	32.5㎡	古代	土師器・須恵器	年報22
15・12・7,9,16	1519	(本荘中他) 屋外サイン設置工事	立会調査	54.4㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・1・4,6,12	1520	(黒髪北他) 電力デマンド等計測システム(電気・ガス・氷 道)取設工事(黒髪)	立会調査	172.50㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・1・14	1521	(黒髪北) 武夫原廻り(五高記念館側)フェンス復旧工事	立会調査	5.88㎡	近代	遺構・遺物なし	年報22
16・1・18,19	1522	(黒髪北他) 電力デマンド等計測システム(電気水・ガス) 取設工事(大江)	立会調査	40.3㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・3・11	1523	(黒髪南) 黒髪南W7排水設備改修工事	立会調査	10.60㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・1・5～2・29	1524	(黒髪北) 校舎(旧北地区食堂)改修工事(外構工事)	立会調査	412.30㎡	古代	住居・溝・ピット、土師器・須恵 器	本報告Ⅻ
16・1・25,2・1,2	1525	(黒髪北他) 電力デマンド等計測システム(電気・水・ガス) 取設工事(本荘中他)	立会調査	93.50㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・1・28	1526	(京町) 教育学部附属教育実践総合センター東側プレハブ倉 庫復旧工事	立会調査	11.91㎡	弥生	弥生土器	年報22
16・2・4	1527	(黒髪北他) 電力デマンド等計測システム(電気・水・ガス) 取設工事(本荘北)	立会調査	12.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・2・12～22	1528	(黒髪北) 総合研究棟(黒髪北N9)改修工事	立会調査	311.00㎡	近代	赤煉瓦基礎	本報告Ⅻ
16・2・12	1529	(黒髪北) 総合研究棟(黒髪北N9)改修電気設備工事	立会調査	35.20㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・2・12,19	1530	(黒髪北) 総合研究棟(黒髪北N9)改修機械設備工事	立会調査	22.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・2・3	1531	(大江北) 審議館東側埋設ガス管漏洩補修工事	立会調査	2.00㎡		不明遺構・	年報22
16・3・7,8	1532	(本荘南) 駐車場拡張工事	立会調査	80.00㎡		遺構・遺物なし	年報22

Ⅱ 黒髪南地区の調査

1. (黒髪南) 国際革新技术研究拠点施設新営その他工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査の目的とこれまでの調査成果

本調査は熊本大学(黒髪南)国際革新技术研究拠点施設新営その他工事に伴う発掘調査である。調査地点のある黒髪地区は、熊本市街地の北東に位置する立田山と阿蘇に水源を持つ白川にはさまれ、この白川により運ばれた土砂が扇状地形に堆積した砂礫層を基盤としており、河川の両岸に堆積した「自然堤防」上に立地する。本調査地点は黒髪南地区の南西端で自然堤防が白川に最も張り出した部分にあたり、白川右岸端から北へ約50mの場所に位置しており、周囲を衝撃実験棟や先進マグネシウム国際研究センター、インキュベーションラボラトリーなど、工学部の施設が取り囲んでいる(図2)。調査以前は緑地として整備されていた。

黒髪地区は黒髪町遺跡群(熊本市埋蔵文化財包蔵地図No8-88)に含まれ、縄文時代早期～晩期の土器・石器出土地、弥生時代中期の甕棺墓や奈良・平安時代の集落址が存在している。また、本敷地は明治39年(1906)に第五高等学校の工学部が独立して新設された熊本高等工業学校の敷地を含んでおり、近年では本部周辺の改修工事に係る発掘調査(1429他調査地点)において、明治期の赤煉瓦基礎が確認されるなど、近代の遺跡についても注目を浴びてきている(山野編2016)。

従前の調査では、本調査地点の東側に隣接する9909調査地点において近世墓群や畑址のほかに近代の土坑墓群が検出された(大坪編2010)。本調査地点周辺が熊本監獄・刑務所の墓地にあたることが判明したが、墓については近代の遺構であることを理由に発掘調査を実施しなかった。続いて本調査地点北側に位置する0203調査地点では、遺構面上部から文化・文政など江戸時代の年号をもつ墓石が数点検出されたため、当初は検出された土坑墓群を近世墓と想定し、調査を開始した。しかし、40基ほどの土坑墓を掘削した段階で、近世墓にみられるような遺物が伴わず、眼鏡やガラス瓶といった近代と思わしき遺物が墓から発見された。再度、調査地点の過去の状況を確認したところ、本調査範囲が昭和47年に所管換えされた熊本刑務所墓地の敷地と重複することが判明した。熊本刑務所との協議で遺骨について大学が対処することとなり、近代墓は調査対象から除外し、遺骨の収集については専門業者に依頼し、大学で茶毘にふしたのち熊本市へ引き渡された(大坪編2003)。

1309調査地点の調査範囲は、緑地として造成されていた。従前の発掘調査の成果によって調査地点西側には近世以降の畑址が、東側には土坑墓が広がることが想定されていた。2013年4月3日、熊本市教育委員会文化振興課によって、墓の分布範囲と推定基数を求めることを主な目的とした事前の確認調査が実施された。この調査で、現地表下2.5m、調査地点東側に土坑墓群が広がると想定されたため、熊本市から工事前の発掘調査の指導を受けた。

b. 調査の経過

調査進行にあたり、調査区周辺に廃土置場を確保することができなかつたため、調査区東側にあたる土坑墓群の分布範囲から先行して調査を実施した。その後、廃土を移動し、西側に分布する畑址の調査を実施する運びとなった。

表土掘削後、東側のほぼ全域に土坑墓が分布していることが確認でき、当初の想定以上に遺構が多いことが明らかになった。8月8日から発掘作業員を投入し、人力による掘削を開始した。土坑墓の上場から人骨の検出までは、1mの埋土掘削を必要とする場合が多く、直径1m程の土坑墓が隣接す

1. (黒髮南) 国際革新技術研究拠点施設新営その他工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

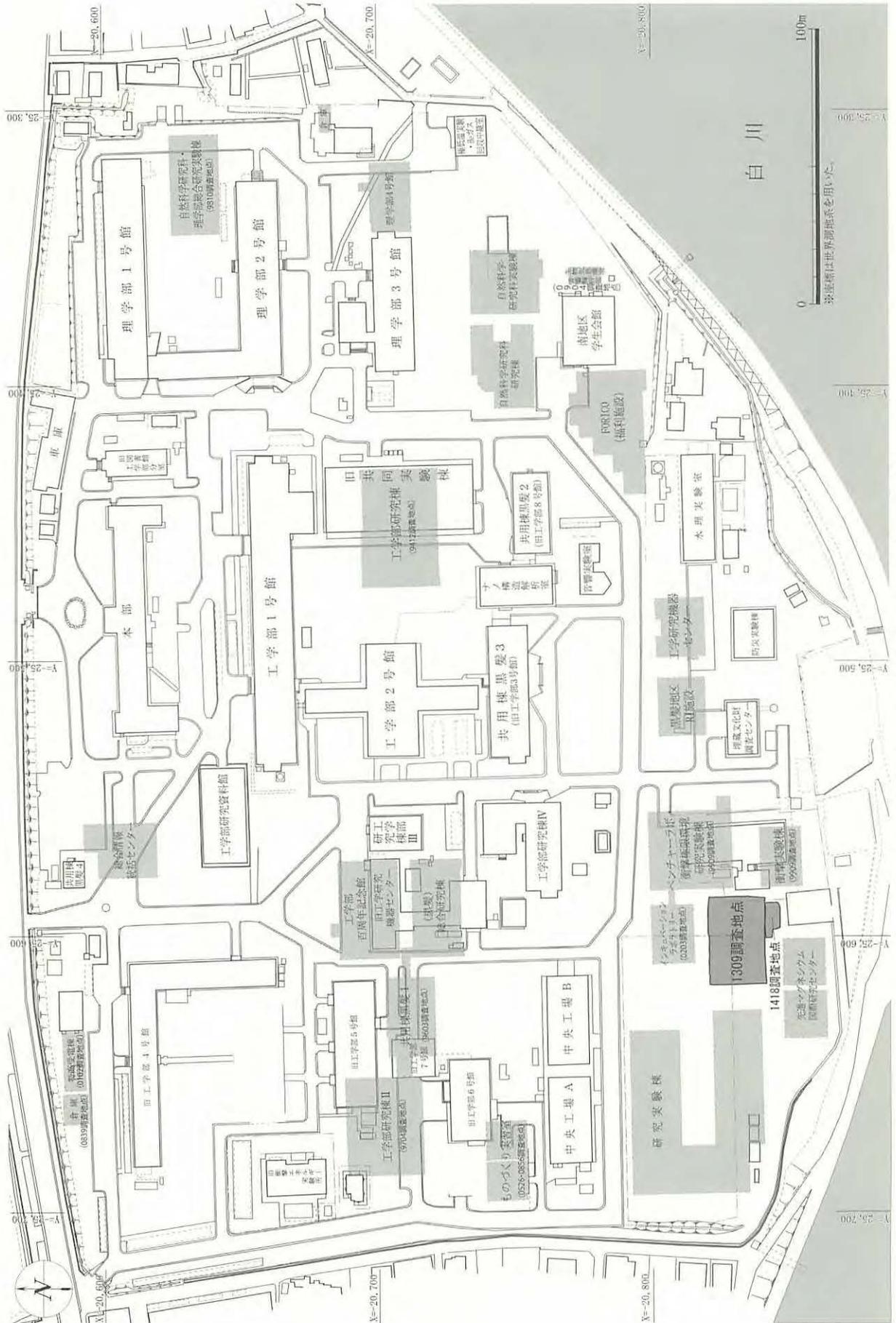


図2 黒髮南地区における調査地点位置図 (1/2000)

ることもあって、作業スペースの理由から人骨の検出と土坑墓埋土の掘り下げには時間と手間を要した。人骨の調査を土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの松下孝幸氏とNPO法人・人類学研究機構の松下真実氏に依頼し、複数回に分けて人骨を取り上げた。調査期間は梅雨時期にあたり、調査は降雨のため幾度も中断せざるを得なかった。調査地点は2度にわたり完全に冠水し、その復旧にも時間を要した。また、日中の最高気温が30度を超える日が続いたこともあり、作業員の安全を配慮し、土坑墓の上場ラインを測量した後、重機で人骨検出レベルの直上まで掘削することで作業短縮の対処をおこなった。これにより一部について墓坑上場と埋土上部の記録が消失していることを明記しておく。

9月下旬頃より、調査区西側の畑地の調査に着手した。工程上、墓坑の調査も一部継続した。畑地は、上位の土層にバックされており、比較的遺構の検出が容易であった。畑地の畝土について植物遺体の調査を目的とし土壌サンプルを採取した。

調査は10月4日で終了した。なお遺構番号は調査中現場において掘削順の通し番号が付されたが、平面図上で若干の混乱が見られたため再整理し、報告書中で通し番号を新たに付した。ただし、遺物への注記は現場で付した通し番号であるため、対応関係を表5に記している。

- 2013年7月25日 重機による表土掘削の立会開始。
- 2013年8月8日 発掘作業員による掘削開始。土坑墓の検出作業開始。
- 2013年8月19日 熊本県警察による人骨に関する立会。事件性のないことを確認。
- 2013年8月27日 雨により調査区が冠水。復旧作業。
- 2013年9月3日 雨により調査区が冠水。復旧作業。
- 2013年9月4日 土坑墓上場を人骨検出面直上まで重機によって掘削。
- 2013年9月5～6日 松下氏による人骨取り上げ作業。
- 2013年9月17～18日 松下氏による人骨取り上げ作業。
- 2013年9月26～27日 松下氏による人骨取り上げ作業。
- 2013年9月30日 一部土坑墓を残し、調査区西側表土の掘削と畑地の検出開始。
- 2013年10月1～2日 松下氏による人骨取り上げ作業。人骨取り上げ作業終了。畑地の掘削開始。
- 2013年10月4日 調査終了。

c. 調査の組織

調査員：柴田亮・大坪志子

事務担当：大崎喜美子

発掘作業員：稲本佳子・押方富江・岡田有矢・川上紀男・栗崎剛・栗崎信行・健寄豊美・重松和子・白石美智子・関根登・高瀬正志・野田昇・藤本龍三・松永一代・三島多恵子・水本美恵子・村上親敏・森川護・山下巧・米光司朗

整理作業員：井上裕美・江口路・鬼塚美枝・小山正子・後藤恵・首藤優子・末吉美紀・園田智子・増井弘子・吉留広

(2) 調査区の基本層序

本調査区は、南北約20m、東西約32mの長方形を呈し、面積は約640㎡である。調査地周辺は当センターによる過去の調査地点である9909調査地点の西側、0203調査地点の南側に相当する。本調査区周辺は緑地として利用されており、過去に大形の構造物が建設されておらず、遺構の残りは非常に良

1. (黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営その他工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

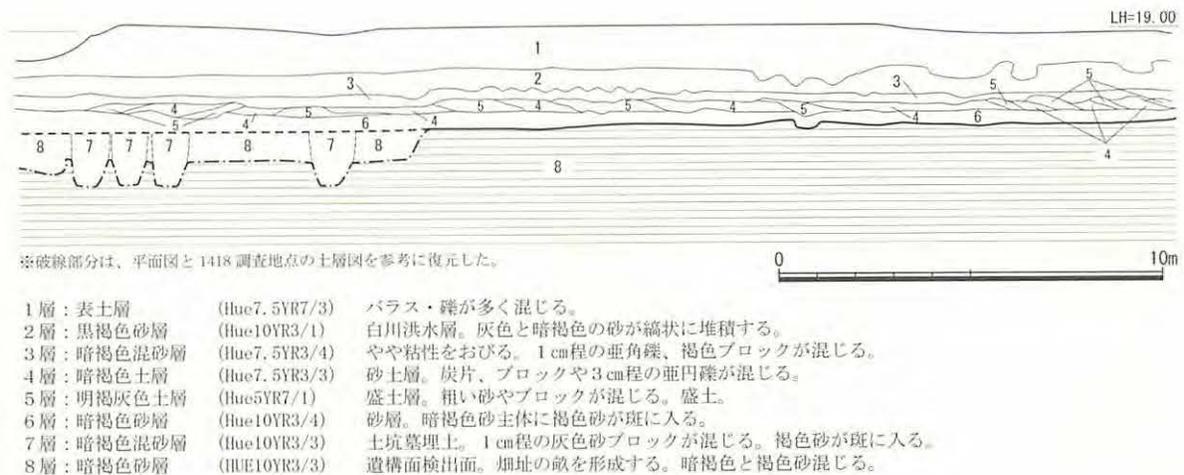


図3 1309調査地点南壁土層断面図 (1/200)

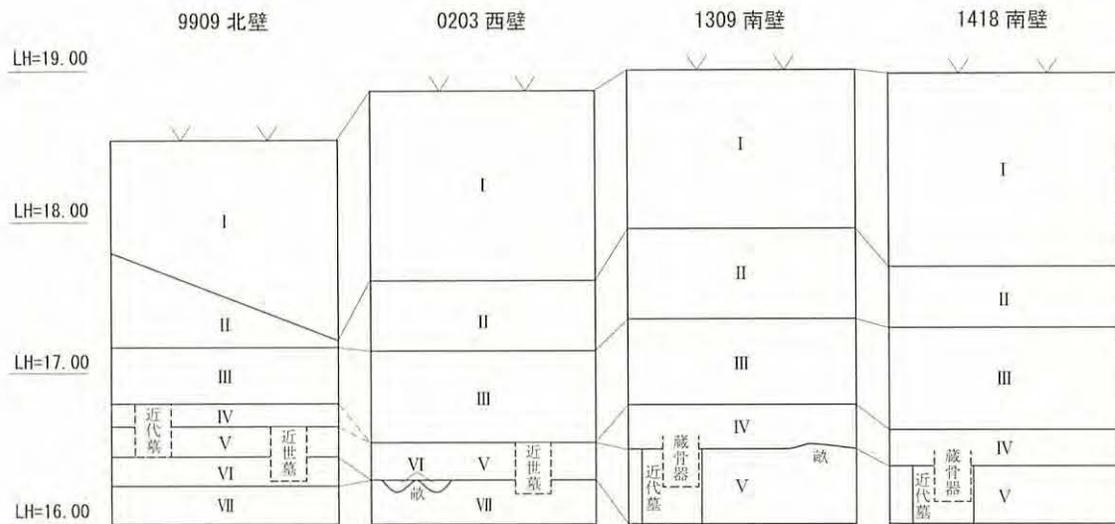


図4 1309調査地点周辺土層模式図 (1/50)

好であった。2014年度には本調査地点の南側において1418調査地点を調査した(山野編2016)。1309調査地点での調査において土層の理解が不十分であった点についてはこの調査地点の調査成果で補完した。これまでの調査および各種文献、さらには大学敷地に隣接する熊本刑務所之廟の石碑を精査することで、以下のとおり土層の年代を明らかにすることができた。

I層：現代埋土およびバラス

II層：昭和28年6月26日の白川大洪水の堆積砂層(稀にガラス・陶磁器片出土)

III層：近代(昭和28年以前)の整地土層(ガラス・陶磁器片出土)

IV層：近代(大正9年以降)の洪水の堆積層と後の整地土層(稀にガラス・鉄・陶磁器片)

V層：近世後期耕作土層(陶磁器片・破片面子)

1309調査地点の土層断面の1層がI層、2層がII層、3～5層がIII層、6層がIV層、8層がV層にそれぞれ対応する。また、近代の土坑墓群はV層上面から掘りこまれており、その埋土が7層に対応する。土層は大きく5つの層に分けられ、江戸時代の畑址が確認できる最下層のV層上面は地表面か

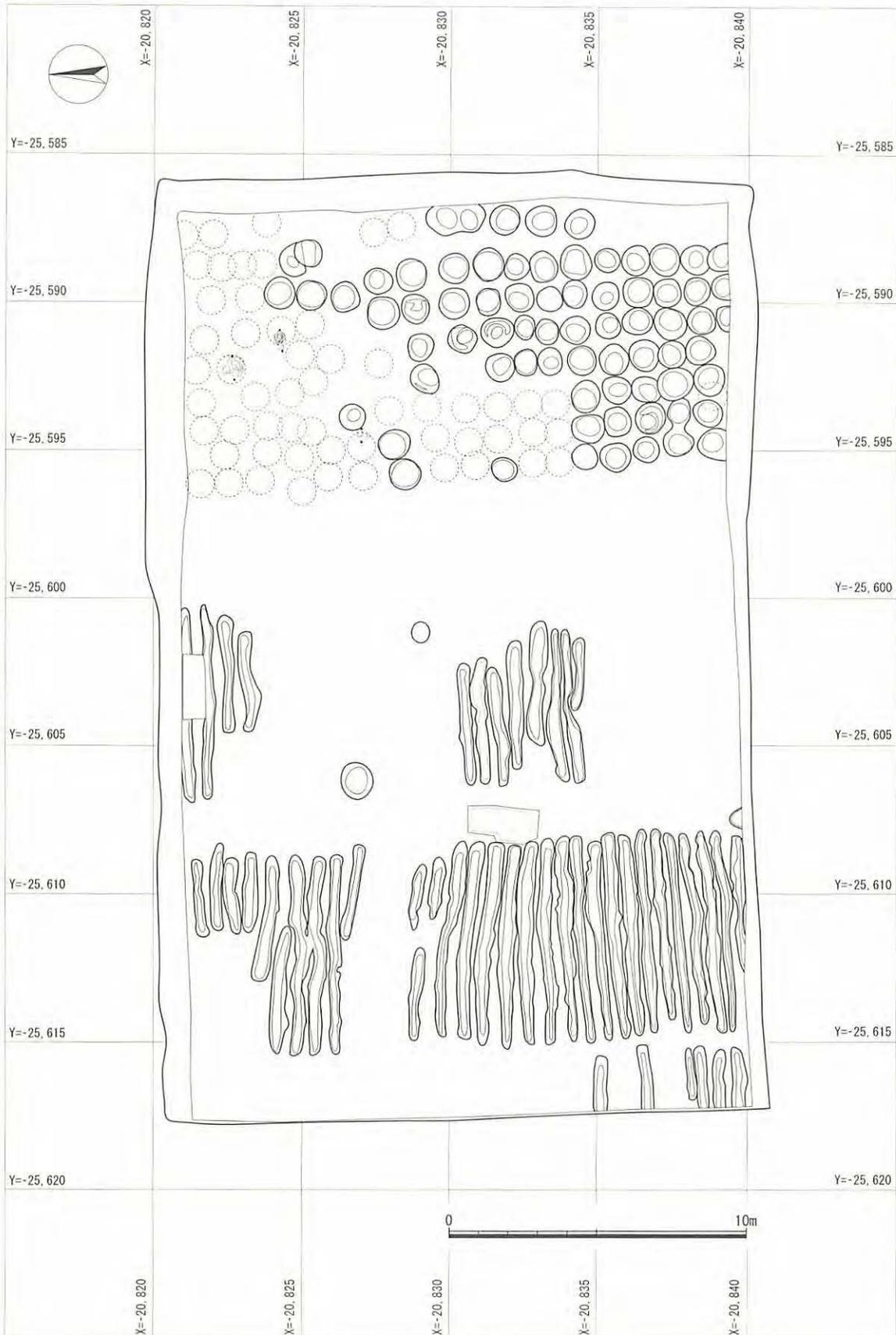


図5 1309調査地点遺構配置図 (1/200)

1. (黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営その他工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

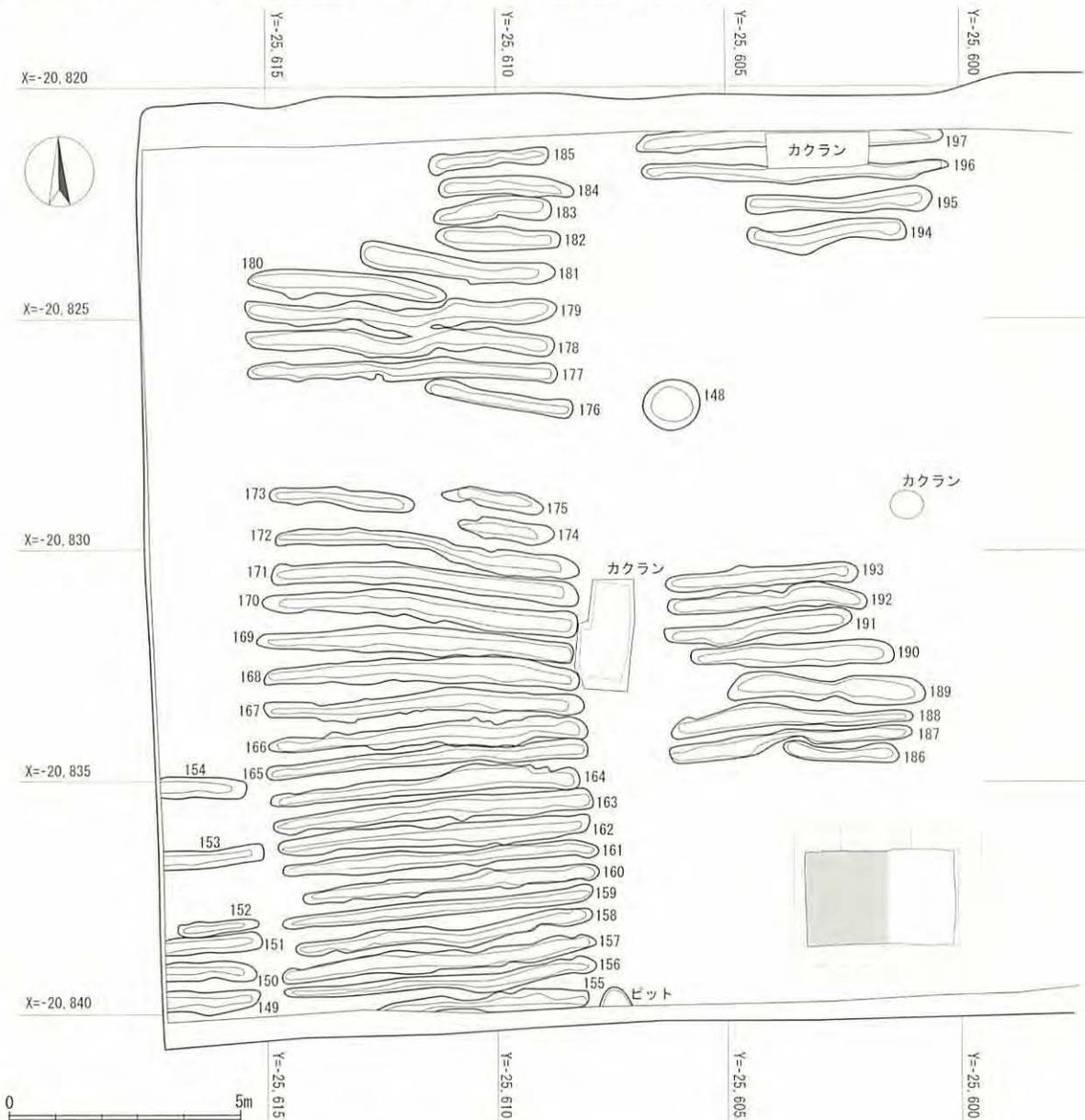


図6 1309調査地点調査区西側遺構配置図 (1/150)

ら約2.5mの深さである。また、本調査地点では認識できなかったが、本調査区北に位置する0203調査地点や東側の9909調査地点では畑址の直上に洪水砂層が堆積しているとの記録がある^{注1}。この際検出された畝は出土遺物から近世中期とされているが、本調査地点の様相とやや異なっており、出土した遺物からもV層を近世後期の耕作土として認識した。各調査地点と比較した土層模式図を図4に示す。調査地は白川右岸端から50m程しか離れておらず、近世・近代に起きた洪水などの河川作用による阿蘇由来の堆積土が厚く堆積している状況が分かる。昭和28年6月28日に起きた白川大水害では、やや下流に位置する子飼橋に流木がたまり、川の流れがせき止められ、熊本大学の川沿いに面した広い範囲が冠水した。II層は黒髪南地区の白川沿いに広い範囲で確認されており、今後の近代の調査において鍵層として注目される。

(3) 検出遺構

調査区が広範である上に、遺構検出面が地表面から2.5m程と深かったことから、重機によりIV層

までを掘削し、近世と近代の遺構をV層上面で検出した。結果、調査区西半で江戸時代後期の畑址を検出し、調査区東半で円形プランを持つ土坑墓群と蔵骨器を検出した。本書に調査区全体の遺構配置図(図5)と、近世畑址を主とする調査区西側の遺構配置図(図6)、土坑墓群を主とする調査区東側の遺構配置図(図7)、本調査区周辺の遺構配置合成図(図8)を掲載している。

近世の遺構

畑址(図6)

近世畑址は、ほぼ東西に軸をもつ49条の畝が、南北方向3列に検出された。畝は長さ1.7~7m程度で、3~3.5mと7m程の長さの畝址が多く、若干の通路幅をとって並んでいる。畝は149~154、155~175、176~185、186~193、194~197の5つの畝列に区画されている。本調査区北側に隣接する0203調査地点南西部と、調査区東側に隣接する9909調査地点北半でも同じ方向に軸を持つ畝址が多数検出されており、前者は本調査地点の北端の畝と4m程の空間をもって隣接する。土坑墓群は近世の畑とやや軸を違えて形成されており、9909調査地点では畑畝を切る形で近代の土坑墓群が検出されていることから両者の新旧関係が明白となっている。本畑址からは近世の陶磁器片や土師質、須恵質の土器片、破片面子、少量の鉄釘などが出土しているが、陶磁器は破片資料が多く年代を決定づける資料は少ない。過去の調査地点では畑址の年代を陶磁器や煙管、銅銭などの出土遺物から18世紀後半の洪水によって埋没した可能性があるとし、江戸時代中期の畑址としている。本調査地点では近代の遺物が認められないことや、後述する紅皿の年代観から近世後期頃に位置づけておきたい。

近代の遺構

土坑墓(図7)

土坑墓は全部で130基検出しており、このうち128基からは人骨が検出された。土坑墓は、ほぼ全てが直径1m程の円形プランを呈しており、掘方はやや下方がすぼまる円柱状で深さは検出面から1m~1.8m程である。調査では、土坑墓同士が接するほど密集しており、埋土の掘削には大変な時間を要した。調査期間が短く時間短縮の必要性から、調査区北側の一部の土坑墓について上部を重機により掘削した。そのため図上では掘方下場と人骨の出土位置により想定した平面プランを破線で示したものがある。

調査区北側に隣接する0203調査地点では、円形プランだけでなく方形プランの土坑墓も検出されており、南北における土坑墓平面プランの相違が認められる。本調査地点において、土坑墓は東西方向に8列、南北方向に17列と碁盤の目状に整然と並んでいた。0203調査地点東側と9909調査地点西端、1418調査地点の調査成果も含めると、墓群は南北長75m、東西幅8~15mの範囲に広がっており、北側で西に7度ほど傾く南北に軸を持つ土坑墓群として認識することができた(図8)。この土坑墓群の南側延長線上には熊本大学の敷地に隣接する形で熊本監獄・刑務所の囚人の合葬墓が祀られた熊本刑務所之廟が現存する。

土坑内の人骨の多くは、きつい坐葬の状態を検出されており、遺骸の腐敗や土圧によって頭部が原位置から落下したものが見受けられる。人骨の残りは比較的良好であったが、まれに人骨が土坑中にほとんど残存せず、骨片や歯のみが検出された例もあった。後述するが、これらは熊本監獄・刑務所において、遺体を土葬した後、何年か後に遺骨を取り上げ、合葬をおこなったために土坑内に骨が残らなかったと考えられる。また、人骨の周囲からは木や布の繊維が検出される例があるため、遺体は早桶に入れられたか、あるいは布に包まれた状態で土坑内に埋納されたものとみられる。ただし、土

1. (黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営その他工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

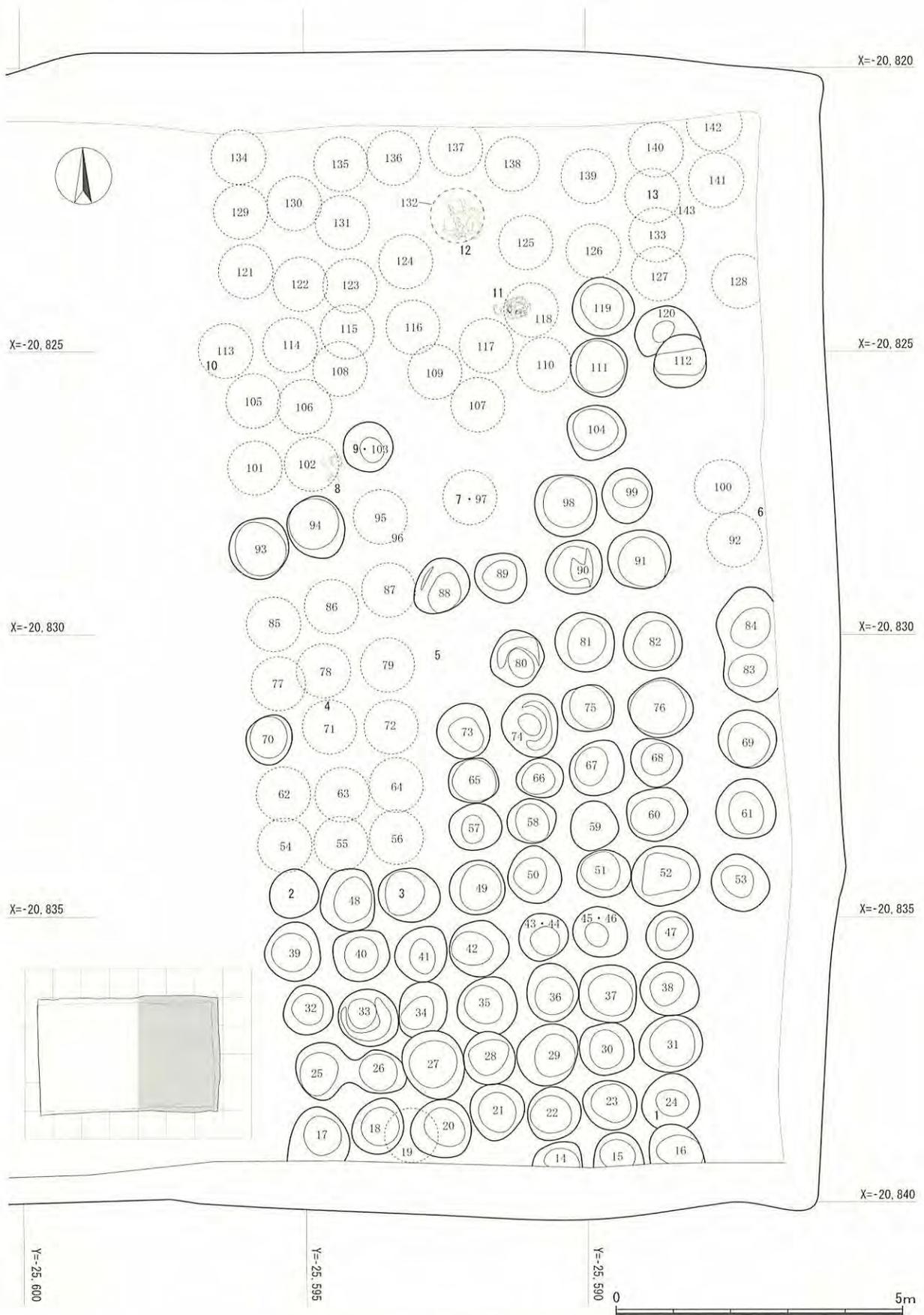


図7 1309調査地点調査区東側遺構配置図 (1/100)

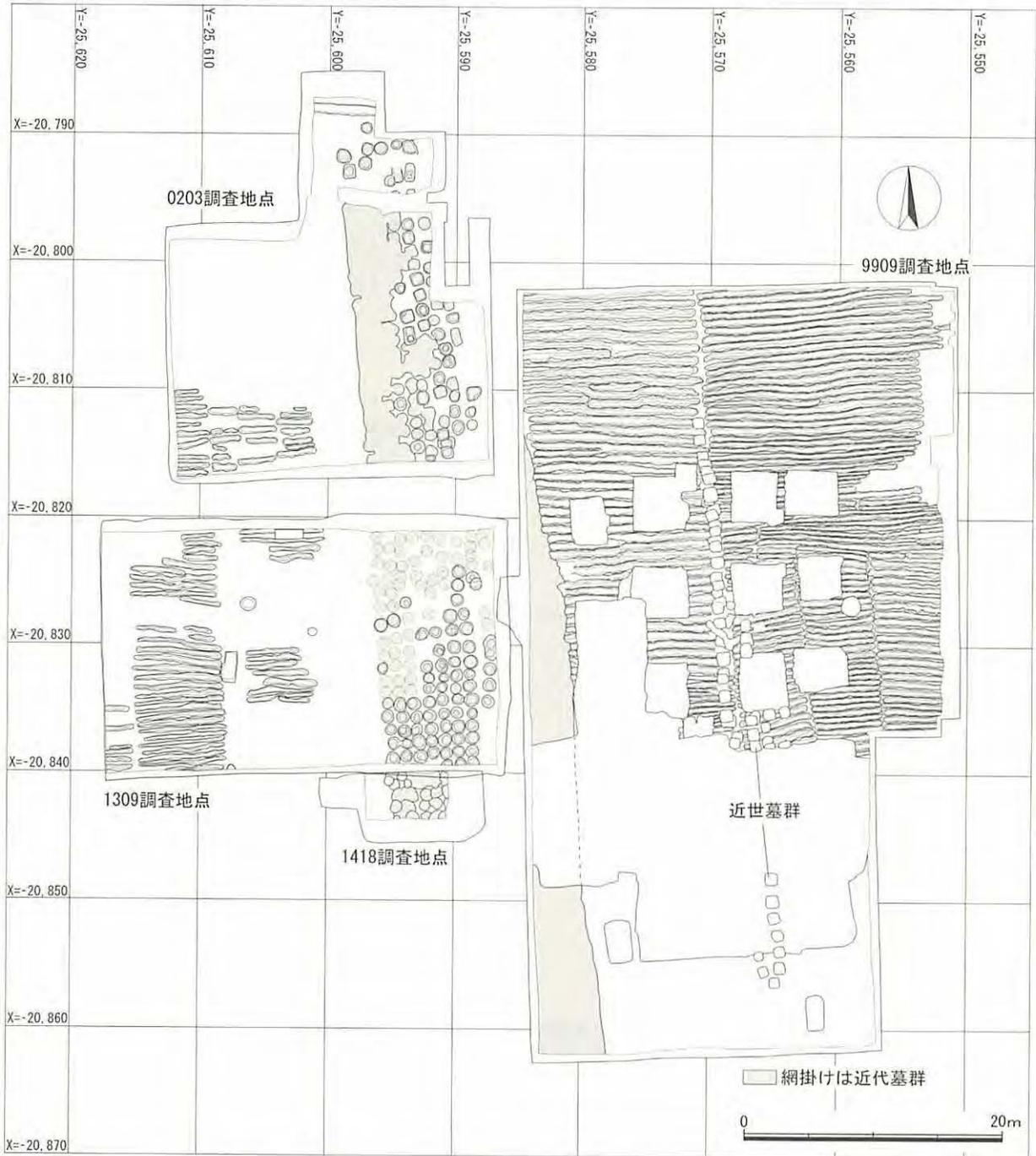


図8 9909・0203・1309・1418調査地点遺構配置合成図 (1/500)

坑墓の半数近くで鉄釘が出土している点から、これを使用した木棺墓に埋納された可能性も考慮しておきたい。

土坑墓内からは陶器の瓶、磁器の杯、ガラス瓶、鉄釘、鉄製容器、環状鉄製品、板状鉄製品、有孔板状青銅製品、天保通宝、大正九年一銭、数珠、プラスチック製釦、貝製釦、ハマグリなどが検出されている。このほかにも、土坑墓埋土中からは近世・近代の陶磁器片や泥面子、瓦片、和釘などが出土している。これらの多くは破片資料であり、土坑が掘りこまれているV層が近世の耕作土であるため、近世の畑周囲の散乱ごみが土坑の掘削または埋葬時に混在したものとみられる。

1. (黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営その他工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

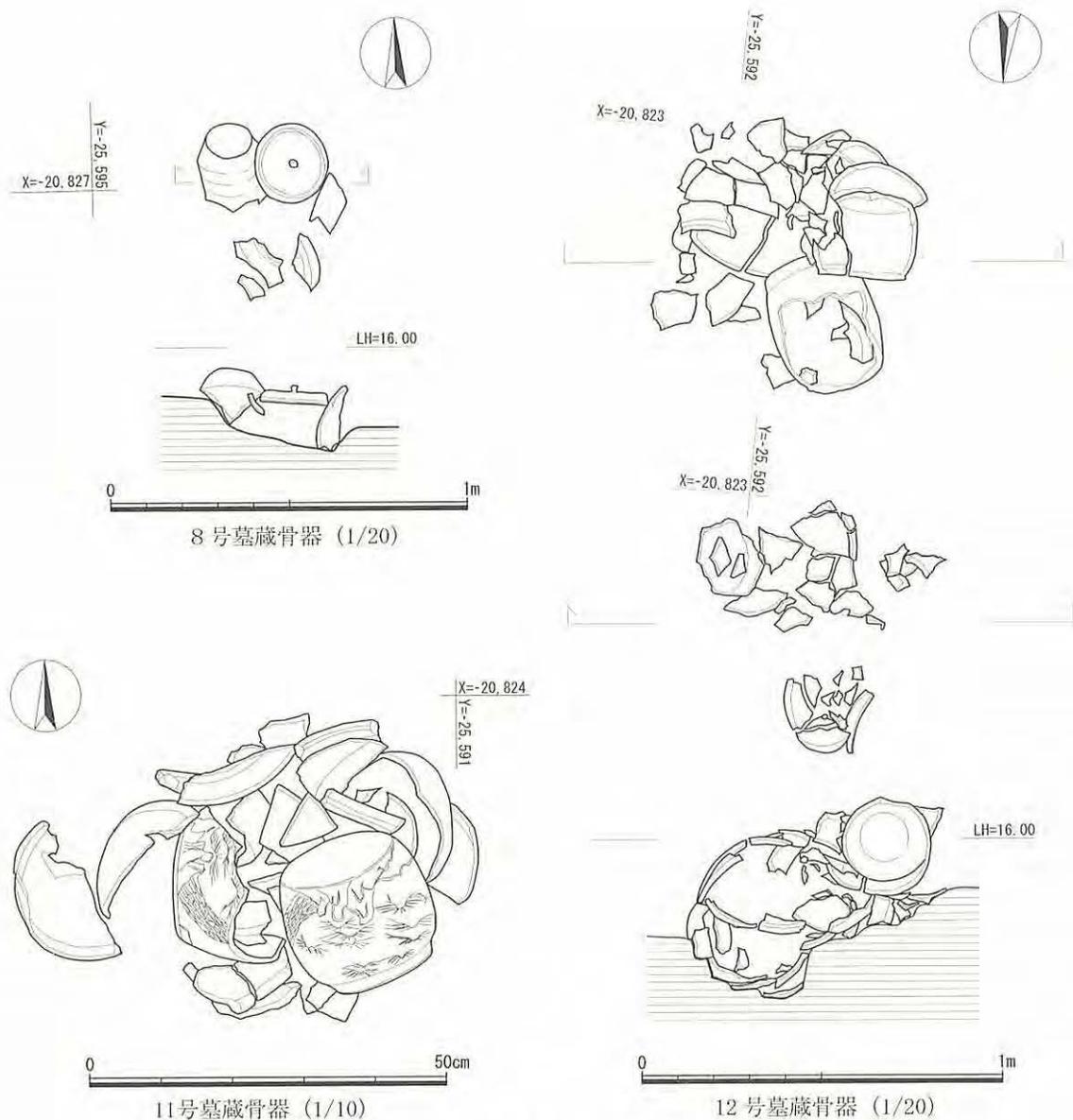


図9 1309調査地点蔵骨器出土状況図 (1/10・1/20)

蔵骨器 (図9)

蔵骨器は13基確認されており、身と蓋のセットで出土する例がある。蔵骨器内に骨が伴ったのは6号墓と7号墓の2例と少なく、その他の蔵骨器内に人骨が納められたものはなかった。よって、正確には全ての蔵骨器が骨壺としての機能を持っていたとは言い難い出土状況であったことを明記しておく。蔵骨器は調査区東側に点在しており、いずれも土坑墓群の上位から出土している。このうち2号墓や3号墓は、直径0.8~1.1m程の土坑内から蓋が外れた状態で検出された。他にもV層上面で蔵骨器に伴うと思われる土坑プランが検出された例もあるが、いずれも土坑墓のプランとの切り合い関係を明確にできていない。出土状況を見ると、蓋と身がセットで出土したものや(4号墓)、身だけのもの(2・9号墓)、3・4個の壺がまとまって出土したものなど(11・12号墓)などがあり多様である。また、1・4・5号墓などは遺構検出面を掘削している最中に重機と接触しているため明確には原位置ではない。全ての蔵骨器が蓋と身が合わさり閉じた状態では出土していない上に、複数の蔵骨器が雑然と廃棄されたような状態で出土していることから、一次埋葬あるいは焼骨行為後の改葬時

の様子を示しているとは考えにくい。出土状況や後述する蔵骨器の年代観から推定すると、蔵骨器は埋納当初の位置からは動いており、土坑墓群の形成の後あるいはほとんど同じタイミングで、二次的に埋納あるいは廃棄された可能性が高いと思われる。

(4) 出土遺物

本調査地点から出土した遺物には、近世畑址から出土した陶磁器類や破片面子、近世末から近代と考えられる土師質の蔵骨器、土坑墓から出土した陶磁器類、ガラス瓶、鉄釘や鉄製容器などの鉄製品や銭、釦、貝類などがある。コンテナボックス11箱ほどの遺物を得られたが、蔵骨器などを除く多くが破片資料であった。本書では遺構中から出土した資料を主として取り上げ、遺跡の年代を決定する上で重要と思われる資料や全体形が復元できる資料を報告する。年代に言及した資料については、『九州陶磁の編年』（九州近世陶磁学会編2000）や『図説江戸時考古学研究辞典』（江戸遺跡研究会編2001）、『近世・近現代考古学の方法』（鈴木公雄ゼミナール編2007）などを参考とした。

蔵骨器（図10～13）

1～29は土坑墓群の上位から出土した蔵骨器であり、1～12号墓として検出した。ただし、遺構の項目で述べたように、実際に火葬骨が内蔵されていた7号墓と、壁から崩落した資料で四肢骨と共伴した6号墓を除くと、器内に人骨は検出されていない。機能ではなく土器形態やセット関係から本資料を見た場合は、炭火を消し、消し炭を作るための道具である「火消壺」として位置づけられる。しかし、内面に炭の付着した痕跡がほぼ認められず、本遺跡においては転用品としてではなく当初から蔵骨器として利用された可能性が高い。いずれも土師質で、身と蓋が見受けられる。身には大きく分けて小型、中型、大型品が存在し、それぞれに特徴を持つ。

11、13、17、19、21は小型の蔵骨器の身である。小型品はいずれも型作り成形の一種である型起こし技法を用いて整形されており、口径16.5～17.3cm、器高が17.1～17.8cmと法量にまとまりがある。器壁は胴部中ほどに最大径を持つ球形で、頸部に蓋を受けるための段を有し、厚みを持った口縁部が内湾する。底部は中心部がやや持ち上がる平底である。外面には型起こしの外型に押し当てたことによる陽刻の松岩文が施される。この施文された2本の各松の幹上には型起こしの外型の接合痕跡が縦位に残っており、外型が2枚に分かれていたことを示す。また、型起こし部分には粉末状に雲母が付着しており、粘土の型離れを容易にするため成形時に塗布されたものと思われる。型起こしのおよばない口縁部周囲はケズリ後ナデによって調整されており、内面は稜ができるほどの強い回転ナデによって最終調整されている。胴部と底部の境はケズリによって面取りされている。底部外面は板あるいは轆轤台などから離れたままの未調整だが、一部に指オサエが見受けられる。図12の11号蔵骨器一括資料をみると、17、19、21の身に対して16、18、20の蓋がセットで利用されていたことが分かる。

1、15、23、26、27は中型品、3、5、7、10、28、29は大型品の蔵骨器の身である。前者は器高が19.0～21.1cmに納まり、後者は26.4～30.1cmに納まる。器壁は胴部が張り、頸部に段を持ち、厚みを持つ口縁部が内湾する点で小型品と類似する。最大径が胴部の中ほどからやや上位に位置し、肩部を持つような形態も見受けられる。また、口縁部形状は、小型品が丸みを帯びているのに対し、7、23、28、29などは台形を呈する。23、26～29は、頸部にヘラ状工具によって溝が設けられており、口縁部と体部との境を明確にしている。1、3、5、7は型起こしの接合痕が確認でき、周囲は縦位のナデによって調整されている。中型品のうち、23、27は胴部表面がケズリによって最終調整されている。大型品は、内外面ともに回転ナデによって調整されているが、28、29はナデの方向が斜位である。底

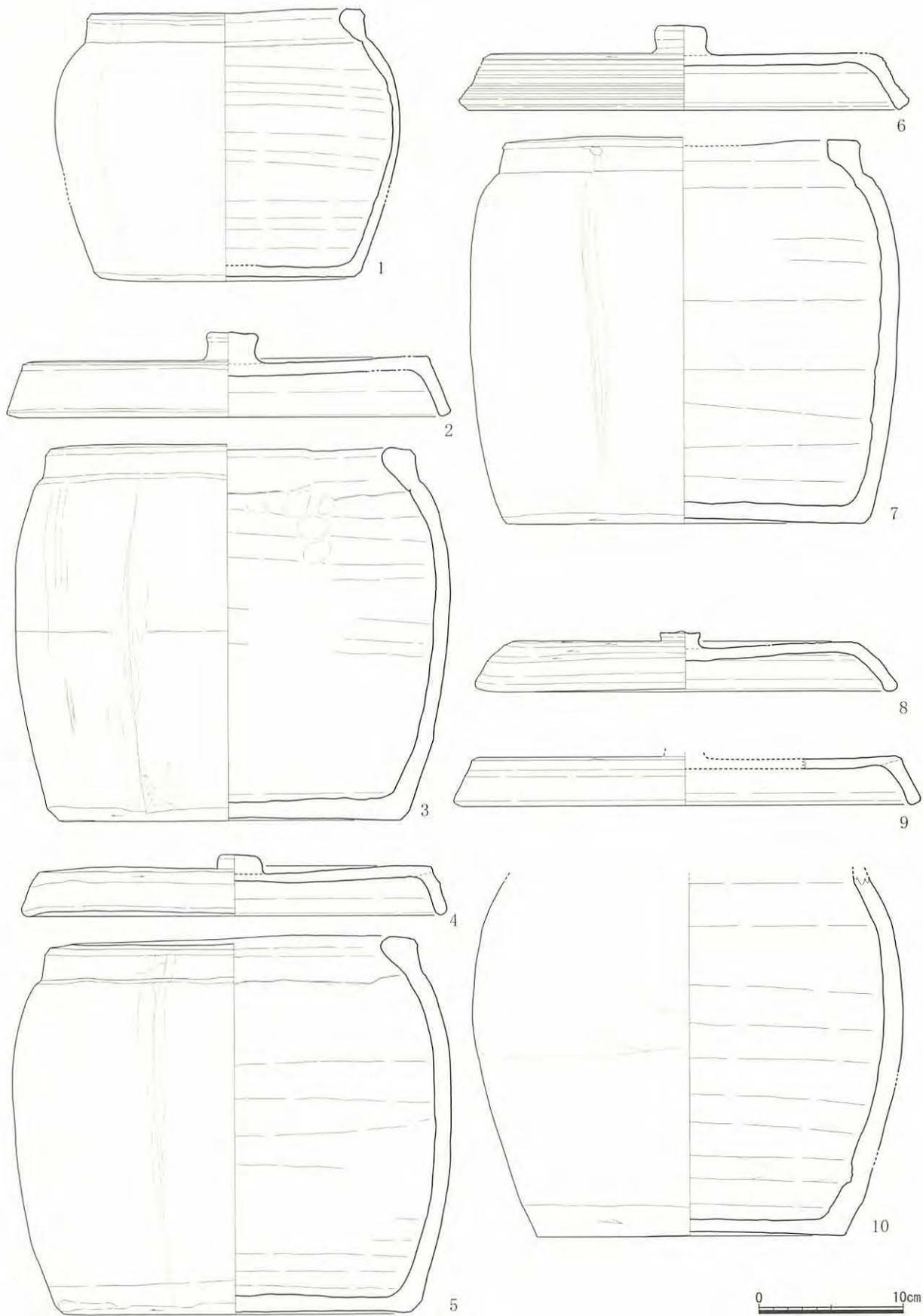


図10 1309調査地点出土遺物実測図1 (1/4)



図11 1309調査地点出土遺物実測図2 (1/4)

部は未調整のものが基本で、23、28、29のように底部に敷物によるスタレ状圧痕が残るものや、15のように底部外周縁4カ所に方形状圧痕が残存するものがある。中・大型品は小型品と異なり、表面に岩松文を持たないが、例外として26は横並びに円文とその上下に直線文が施されている。また、胴部やや上位には四角の枠中に「政」の文字の陰刻がおされている。

12、16、18、20は小型品の身に付随する蓋である。口径が20.8~21.5cm、器高が3.9~4.3cmと法量にまとまりがある。頂部にはつまみが貼り付けられ、中心部がやや下がった天井部と体部の境は角を有しており、口縁部に向けて外傾する。内外面、撮みは回転ナデによって調整されているが、天井部と体部の境はケズリによって面取りされたものがある。天井部外面にはスタレあるいは木目状の圧痕が見受けられ、未調整のままである。

2、4、6、8、9、14、22、24、25は中・大型品の身とセットになる蓋である。身と同じく口径が25cm前後の資料と、口径が28.7~32.4cmに納まる資料の2種に分けることができる。頂部には平坦な撮みが貼り付けられ、天井部は中心部がやや下がるか平坦で、口縁部に向けて外傾する。つまみと口縁部は内外面ともに回転ナデによって調整されるが、天井部中心付近は撮みを取り付ける際の櫛目が残るか、あるいはこれを粗くナデ消している。その周囲にはスタレ状圧痕が残っており、板などから外して未調整のままである。25は天井部の一部に板に刻まれた陰刻の「Λ」の下に「正」の字が逆字となって映し出されている。また、4、6、8、9、25は天井部と体部の境がケズリによって最終調整されている。

陶器壺・瓶 (図14-30~34)

30、31は陶器の壺と蓋である。31は8号墓から出土した資料で、蔵骨器の可能性はあるが人骨は伴

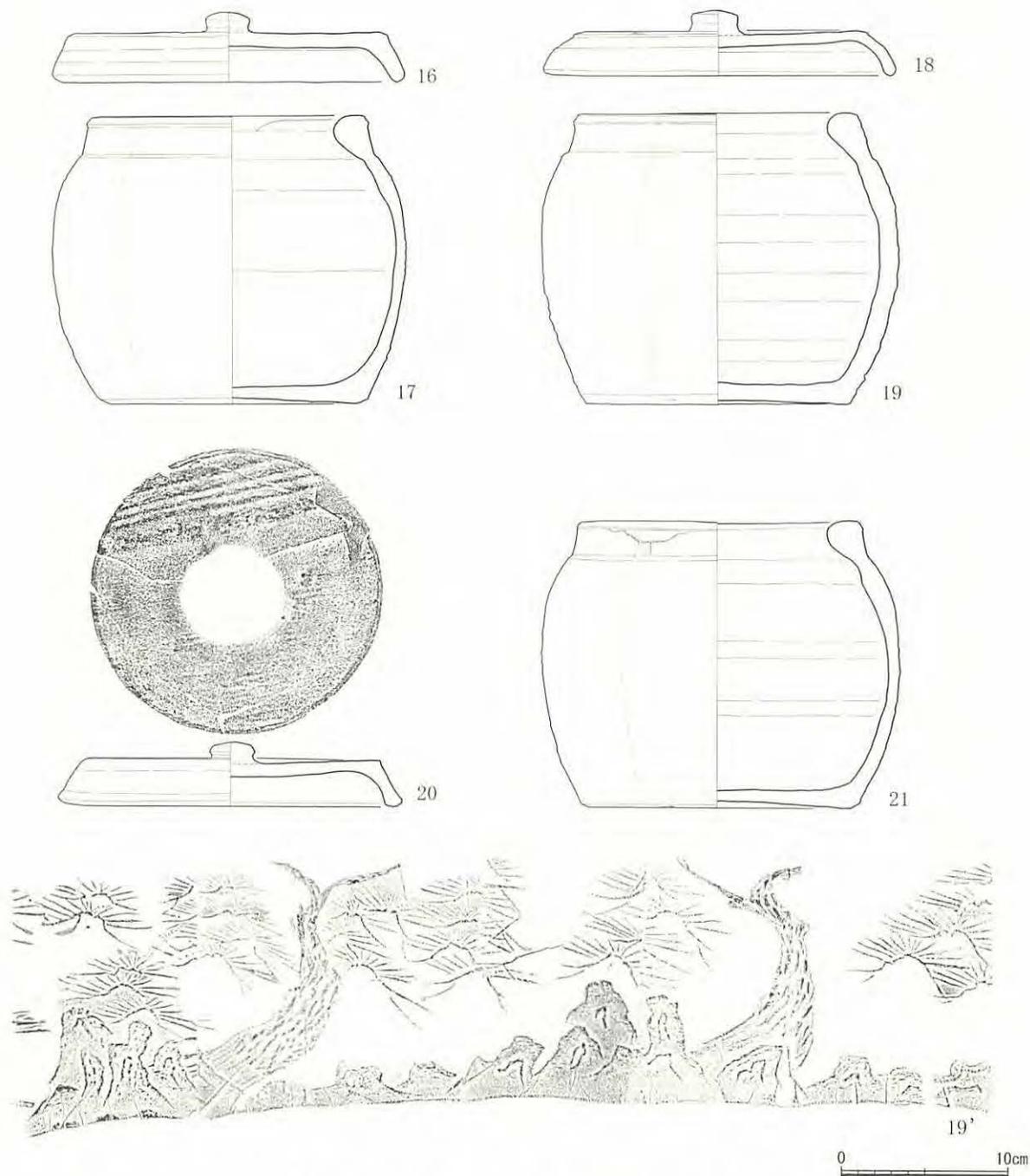


図12 1309調査地点出土遺物実測図3 (1/4)

わなかった。胴部上半に最大径を持つ平底の壺で、ほぼ直立した短い口頸部が付く。表面は白泥化粧土をかけた後に施文され、透明釉がかけられている。白泥掻き取りによる横線文が肩部と底部に近い体部に複数本施され、胴部上半には単位の狭い連続した2条の波文、底部近くには緩やかな波文が巡る。全体は回転ナデによって調整されているが、胴部中央やや上位には斜め方向のタタキ状の調整痕も認められる。底部はわずかにくびれており、中央がやや持ち上がる。底部外面付近には焼成時の目砂が付着しており、底部面には回転糸切の痕跡が残る。30は大きめの撮みを持つ蓋で、廃土からの取り上げだが、31と同質の器体と、同径の受けを持つことからこれに付随するものと考えられる。

32は陶器の壺の底部と考えられる。胴部まで釉が施されるが底部付近は無釉で回転ナデによって仕上げられている。底部は削り出しによる。13号墓からの出土品で、埋土中に接合する土器片がなく、

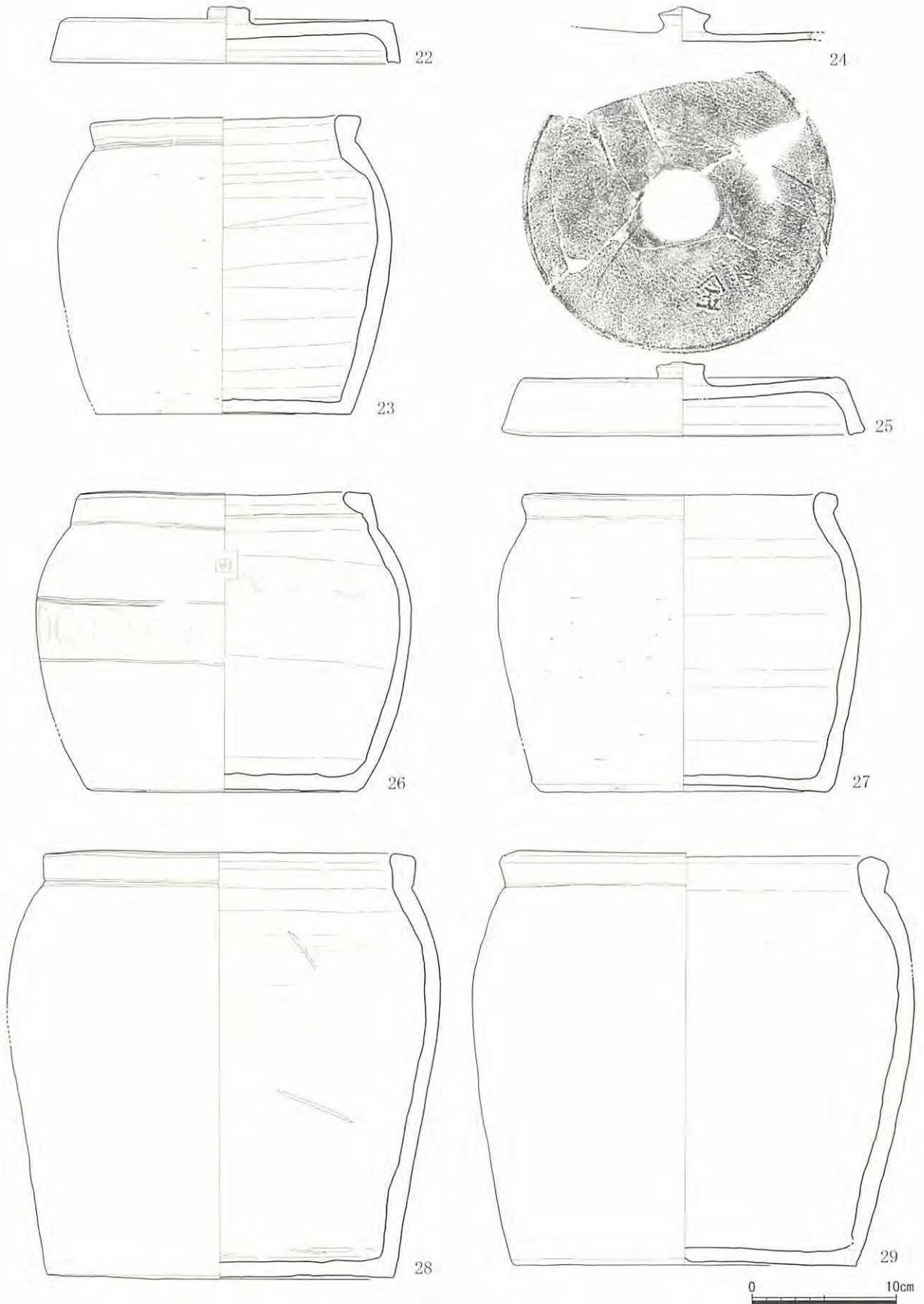


図13 1309調査地点出土遺物実測図4 (1/4)

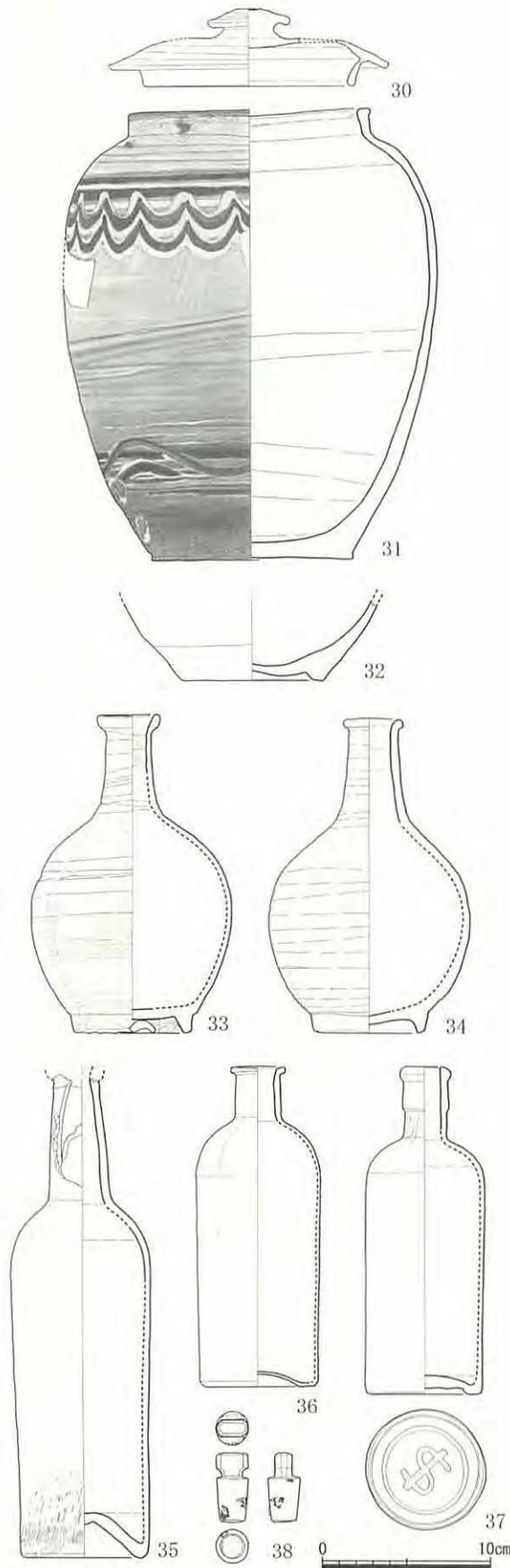


図14 1309調査地点出土遺物実測図5 (1/4)

混ざりこんだ可能性が高い。

33、34は陶器の瓶の完形品である。両資料とも112号墓の埋土中から出土しており、完形品であることから副葬品と考えられる。器形は肩の張らない球形を呈し、やや内傾しながら伸びる長頸を持つ。口縁部はいずれも外反し広がるが、33がより厚みを持つ。両者とも底部に高台を有し、33は底部に目砂が付着する。表面は鉄釉の後、灰色釉を刷毛塗りし、さらに肩部に白泥を流しかけている。器形からは肥前系陶器の18世紀後半～19世紀中頃のものと思われるが、より時期が下る可能性もある。

ガラス瓶・瓶蓋 (図14-35～38)

35～37はガラス瓶でいずれも墓埋土中からの出土である。いずれも明治以降のものと思われる。35はほぼ完形のガラス製ワイン瓶である。42号土坑墓から出土した。色調は半透明の濃い緑色である。口縁部から頸部にかけて破損が認められ、外面には鉄錆らしきものが付着している。やや外傾する直立した胴部にいかり肩を持ち、やや内傾した長頸を付す。底部はキックを有し、中心部が高く持ち上がり中空になっている。ガラスの器壁中には1mm以下の細かい気泡が認められ、表面には胴部から頸部にかけて縦位の傷と、頸部と肩部の境に時計回りに渦巻き状の傷が入る。

36は完形のガラス製薬瓶である。119号墓から出土した。色調は半透明のコバルトブルーである。直立した胴部にいかり肩を持ち、やや内傾した長頸を付す。口縁部は外反し、明確な稜を持つ。底部は中心部が持ち上がった上げ底である。肩部付近に機械製造であることを示す接合痕跡が縦横に走る。ガラスの器壁中には少量の気泡が認められ、胴部表面には縦位の極細の傷が入る。

37は完形のガラス製薬瓶である。143号墓土坑から出土した。色調は半透明の茶色である。直立した胴部にいかり肩を持ち、中央に段差を持つ長頸を付す。口縁部は断面三角形で直立

する。底部は外縁から4mm程持ち上がる上げ底で、中央に「\$」の陽刻がある。頸部下位には縦方向に明瞭な溝が複数本走っており、35と同様に頸部とナデ部の境には時計回りに渦巻き状の傷が入る。

38はガラス製の瓶蓋である。37と同じく143号土坑墓から出土した。色調はコバルトブルーである。横長八角形の撮みが付き、瓶と接する部分は光沢のないすりガラス状となっており、その周囲には鉄片が付着している。

陶磁器類・土師器 (図15)

39～62は陶磁器類および土師器である。土坑墓埋土中から出土したもの、廃土中から取り上げたものがある。土坑墓埋土中から出土したものも多くは破片資料のため、42号墓に伴う42のような完形資料を除き、畑址などにかかわる近世～近代の陶磁器が墓の形成時に埋土中に混ざったものと考えられる。遺跡の年代を考察する上で図化できるものを積極的に取り上げた。

39は磁器の碗の口縁部片である。口縁部がやや外反する筒形で、内外面に染付が施される。19号墓出土だが、破片資料であり副葬品の可能性は低い。40は陶磁器の碗の口縁部片である。形態は朝顔形で広く立ち上がる薄い口縁部を持つ。外面胴部から口唇部にかけては銅板絵付けにより梅花文が描かれている。銅板転写の技法は明治22年以降に隆盛しており、近代以降の資料である。こうした印判手の資料が土坑墓埋土中に混在することは、土坑墓が近代以降に営まれたことを示している。41は紅皿の半欠品である。口径が広く、器高が低い。施釉は上半に限り、1820年代以降のものと考えられる。42は完形品の磁器の杯である。口唇部は赤く縁どられ、外面は白地、内面には山と花文が描かれており、金字で「一□」「天下春」と記されている。42号墓に伴っており、完形品のため副葬品の可能性が高い。43は磁器の碗の半欠品である。外面は色絵により山と花文が描かれている。44は磁器の碗の底部片である。内外面に呉須によって二重網目文を施している。肥前系で18世紀前半に位置づけられる。45はやや大型の磁器碗の底部片である。やや高い高台を持ち、呉須で内底に波文と圏線がほどこされる。46は磁器の碗と思われる。胴部と底面に呉須により染付されている。

47～50は土師器の小皿である。底部中心はやや持ち上がり、底部面には糸切り痕を残す。48は口縁の一部に煤が付着しており灯火具として利用されたとみられる。いずれも土坑墓埋土中からの出土だが、破片資料であり、副葬品でなく混在した可能性が高い。

52～56は陶磁器の碗である。いずれも廃土あるいは攪乱からの採集品である。52は磁器の碗で、口縁部が傾斜をつけて真っすぐ立ち上がる。体部外面に草文が描かれている。一度割れた製品2片が釉薬によって接合されている。53は外面全体に梅花文が描かれている。スクリーン印刷によるもので近代と考えられる。54はいわゆる「子ども茶碗」である。外面に色絵によって零戦と砲台が描かれており、ゴム印版による施文の後、手書きによって着色されている。戦時下である1940年代に生産されたものと考えられる。55は肥前系磁器碗の破片である。56は陶器の碗破片である。

57～59は磁器の皿である。57は口縁の一部が欠損している。内面に上絵によって花文が描かれている。112号墓から出土しており、完形に近く副葬品である可能性も考慮しておきたい。58は肥前系で外面に染付で唐草文が施される。59はやや口縁部が外反するやや広口の皿で、内外面は呉須による染付けである。廃土と攪乱からの取り上げである。

60は陶器の大皿の口縁部片である。内面に白泥象嵌により剣菱文を施す。17世紀中頃～後半とみられる。61は陶器の小皿の破片である。内面に象嵌により桜花文と渦文を施す。19世紀頃とみられる。62はほぼ完形の陶器の火入である。胴部中央に最大形を持ち、口縁部が玉縁となっている。外面三分の二ほどに白色釉がかかる。いずれも廃土からの取り上げである。

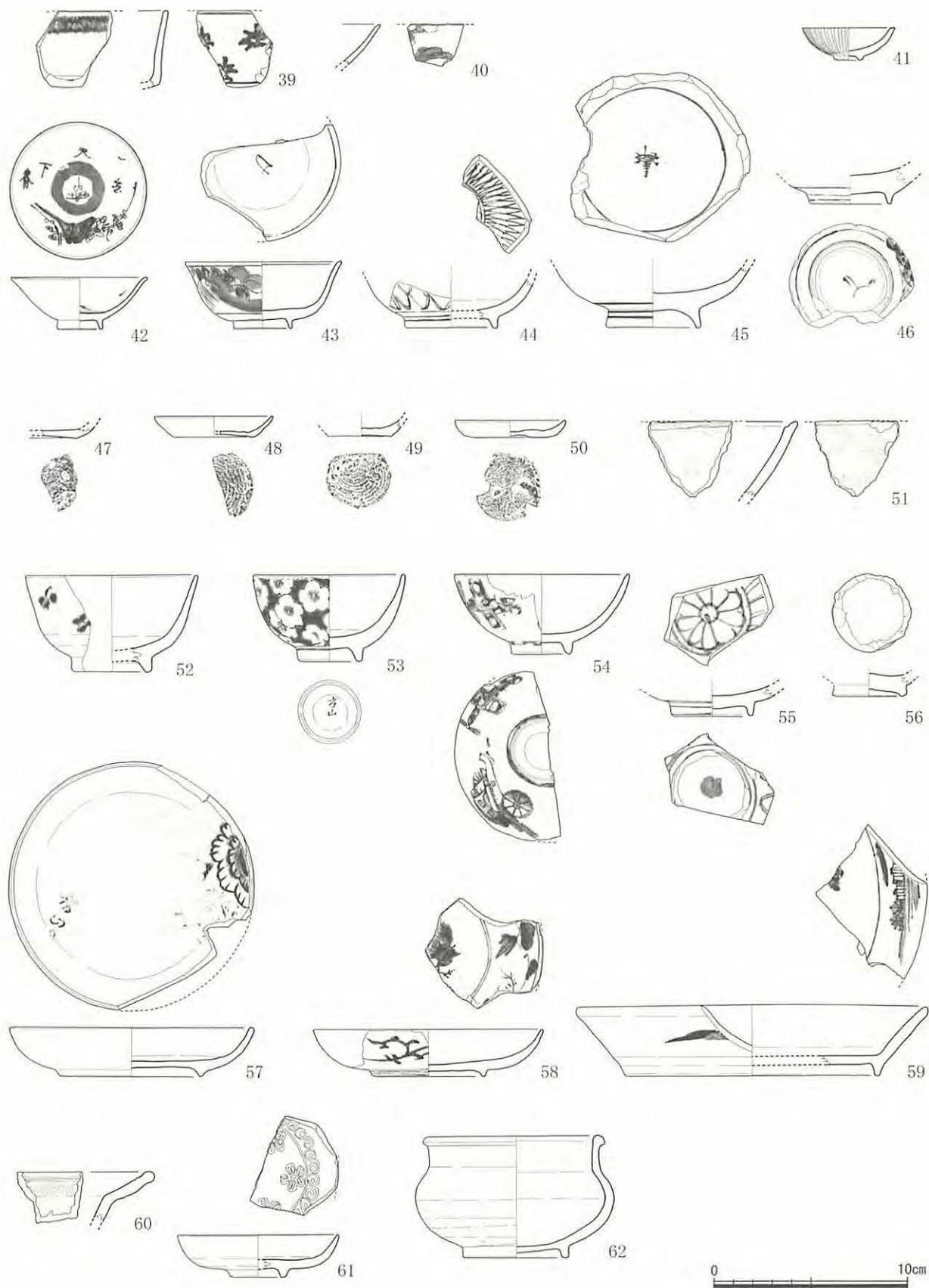


図15 1309調査地点出土遺物実測図6 (1/3)

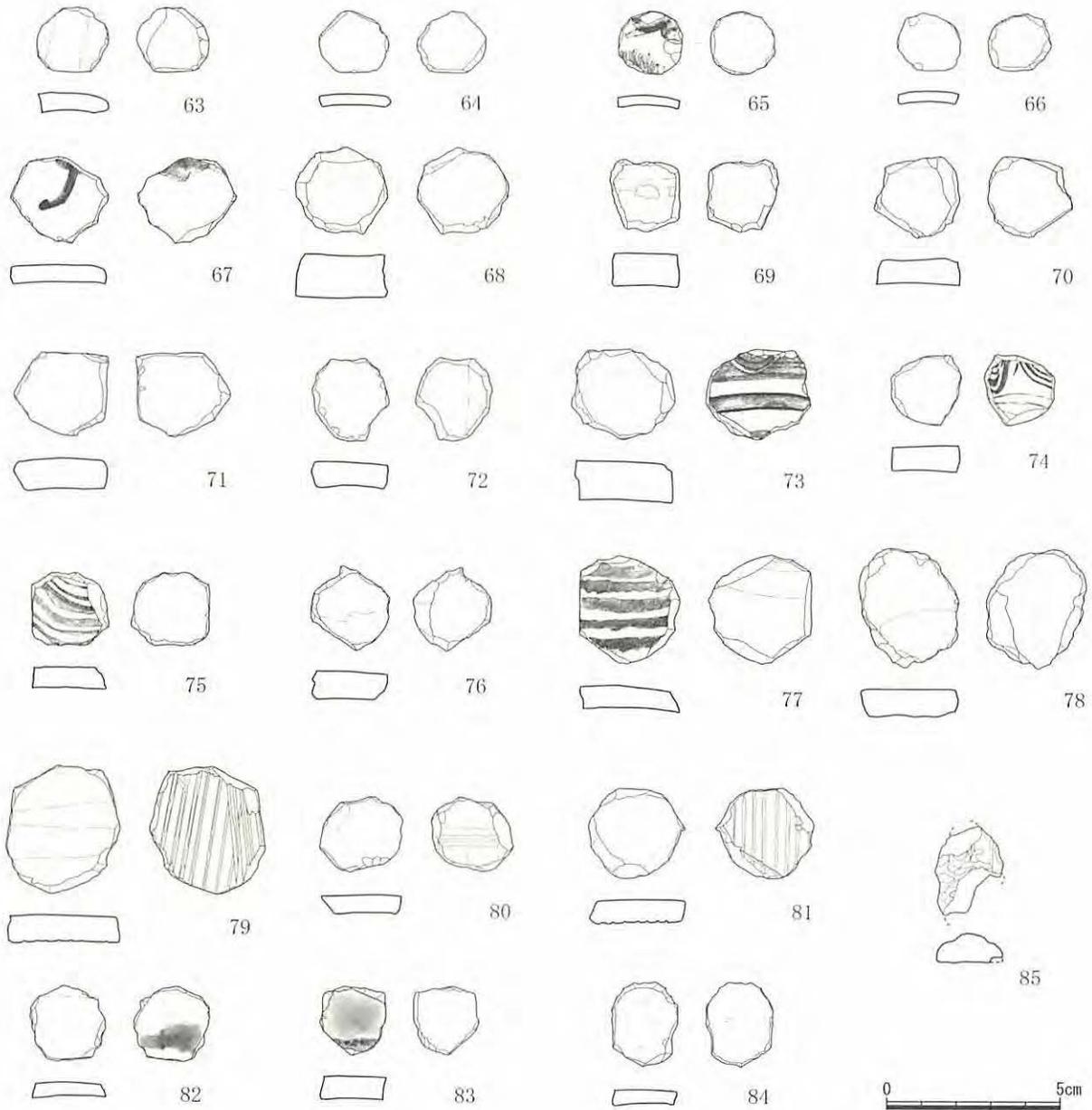


図16 1309調査地点出土遺物実測図7 (1/2)

破片面子・泥面子 (図16-63~84)

63~83は陶磁器を用いた破片面子である。土坑墓埋土中あるいは畑址から出土したものがある。これらが一遺構に大量に埋納されていたわけではないため、出土状況からも墓の形成時に混入したとみられ、埋葬との関連性は低いと思われる。

陶磁器片の周縁を打ち割って略円形に整形したもので、連続的な剥離痕跡が認められるものも数点ある。法量は約2~3.7cm、厚さは約0.3~0.7cmにおさまる。84はガラス製瓶の転用品であるが、整形方法は陶磁器転用品と同様である。85は泥面子である。型打ちによるもので背面は指ナデされている。半欠品のためモチーフは不明である。

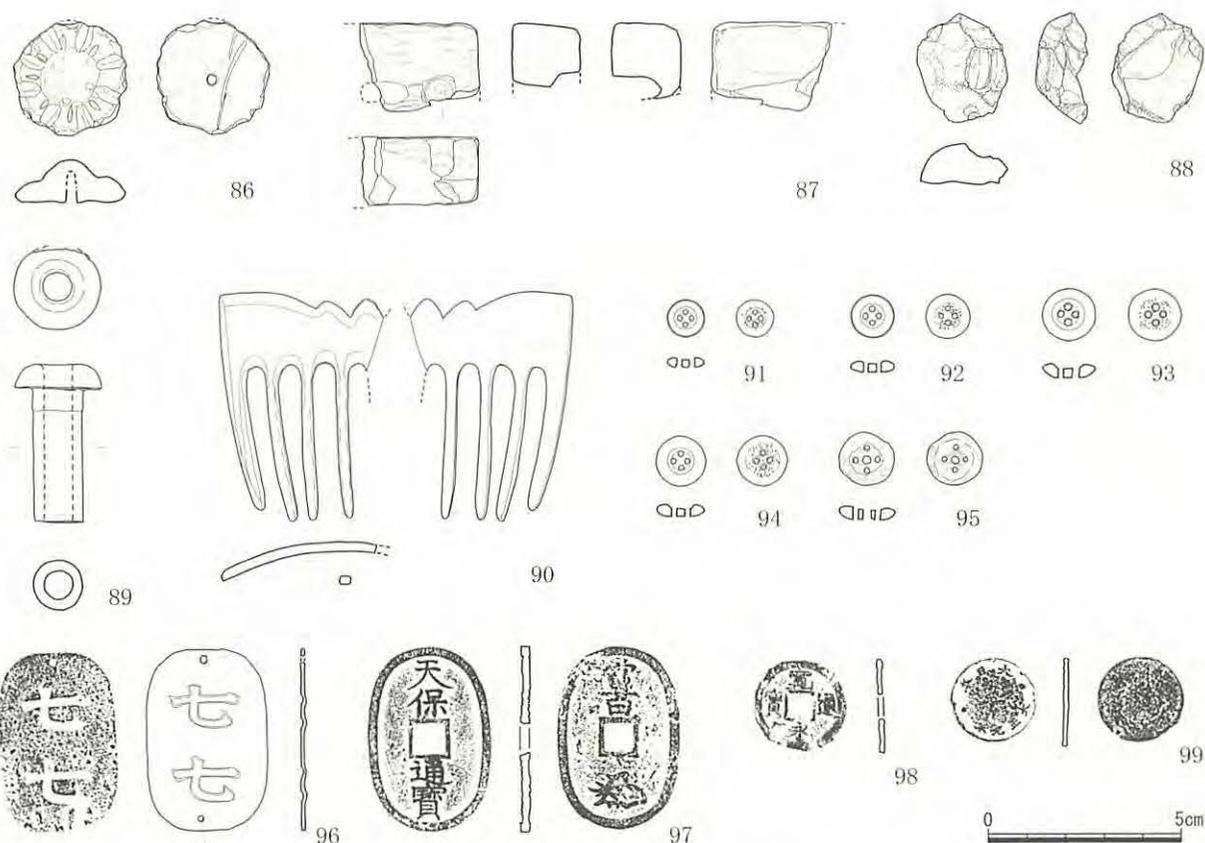


図17 1309調査地点出土遺物実測図8 (1/2)

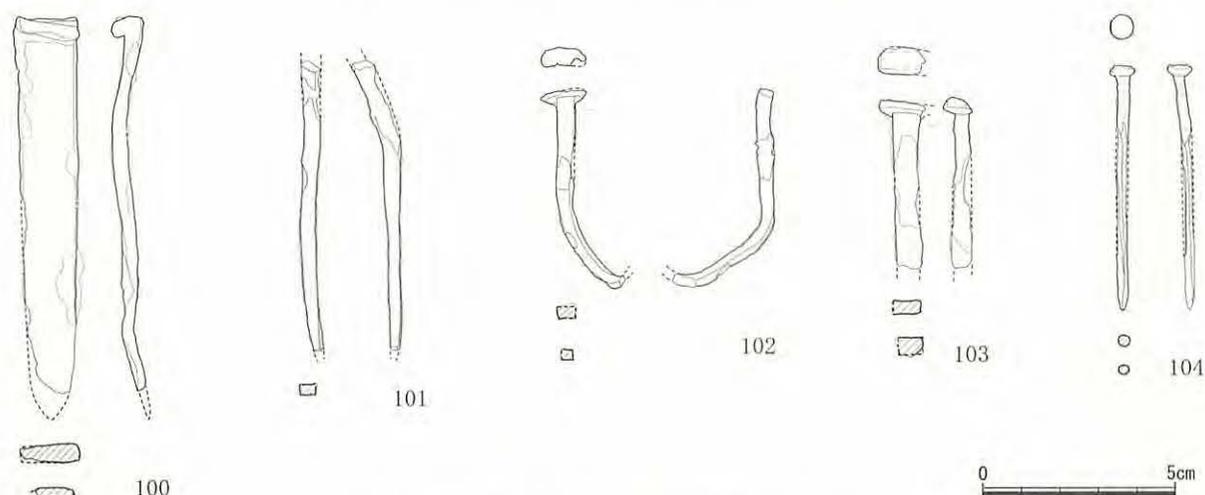


図18 1309調査地点出土遺物実測図9 (1/2)

銭 (図17-97~99)

97は天保通宝である。16号墓からの出土で、その直下には木質が敷かれた状態であり、小箱などに納められて埋納されていた可能性がある。98は寛永通宝である。21号墓からの出土である。裏面は表面が荒れ字体判読不能だが、表面の文字形から新寛永通宝と判断できた。99は「大正九年」製の一銭である。86号墓からの出土である。

本庄北地区1104調査地点では浄土真宗仙崇寺にかかわる近代の墓が300基近く発見されており、そ

の埋土中から銭が出土する例が複数ある。1104調査地点では19号墓に天保通宝が1点伴う例があるほか、52号墓や261号墓でも大正6～12年の1銭、5銭、50銭が出土している。これらは中世末からの埋葬習俗の一つである六道銭に類似するが、俗説ではたばこ銭として渡されたとも考えられている。

銅・鉄製品 (図17-96、図18～図20)

96は銅製の板状製品である。表面にはスタンプによる陰刻で「七七」と縦書きされている。また上下に小孔が設けられており、何かに固定して使用されていたと想定できる。

100～104は鉄釘である。鉄釘は土坑群の中から数多く出土しており、和釘と洋釘の両タイプが認められる。全ての遺物を精査することができなかつたため、代表的な例のみ報告する。100は船釘である。先端は欠け、軸が緩く湾曲している。101は断面形態が四角形の和釘である。102は頭部形態から頭巻釘と思われる。103は方形の頭部形態から平頭釘と考えられる。104は頭部形態と胴部が丸く、首部に数本の溝が走ることから、洋釘と考えられる。

105～117は鉄製品であり、このうち110～117は全て109号墓に伴っていた。鉄製品として報告するが、近代以降のスチール製品も含む。105は棒状製品である。片方の端部には繊維が付着しており、その裏側には木質が付着していた。断面が円形で、同一墓から出土した106の円形缶の持ち手の可能性が考えられる。106は平面形態が円形をした缶である。口縁端部が折り曲げられて厚みを持つ。表面には繊維と木質が付着している。107は平面形態が隅丸方形をした缶である。底部と側面部は別々の金属板であり、側面部となる板を湾曲させ、底部となる板を端部に巻き込むことで箱型を呈する。108は平面形態が円形をした小型の缶である。内容物が固形化した状態で残存しており、ペンキではないかと考えられる。底部には解読不明のアルファベットが刻印されている。109は環状製品である。1本の棒を折り曲げて成形されており、楕円形の形状から鎖などの一部の可能性が高い。110は円形のかしめ缶が略五角形に折りたたまれた状態のものと考えられる。側面となる部位の一部に人工的な窪みが設けられている。111～117は幅2cm程の板を用いた製品で延板状のものと環状に折り曲げられたものが認められる。いずれも表面の狭い範囲に繊維状の痕跡が認められる。111～113は幅2cm程の板が環状に折り曲げられたものである。このうち113は鉄板を折り曲げて二重にし、環状に整え、その屈曲した端部に別の鉄板を差し込み折り曲げることで閉じている。114・115・117はいずれも2枚の鉄板の端部を接合した状態が認められ、部分的に屈折させ稜を作る。板の幅や屈折部などからこれらの鉄製品は同一の機能を持つと考えられるが、用途については不明である。

その他の遺物 (図17-86～95、図版19)

51は縄文土器の口縁部片である。器壁内外面がミガキによって最終調整されている。縄文時代晩期の資料とみられる。

86は土製の用途不明品である。型起こしによって整形された花形で、裏面には指頭圧痕が残る。裏面中央には孔が設けられており、機能に関連すると思われる。87は石製の用途不明品の破片である。直方体を呈し、片側長辺に近い部位に回転穿孔による孔が2カ所設けられている。88は黒曜石の薄片である。片面は自然面を残す。89は磁器製の錨付の磚管である。90はプラスチック製の櫛である。

91～94はプラスチック製の釦である。全て墓坑埋土中から出土しており、19号墓からは同形状のものが3点得られた。いずれも4つの孔が設けられている。95は貝製釦である。71号墓から出土した。中心に1つの孔とその周囲に4つの孔が設けられている。全体が風化しており貝種は不明である。

118はガラス製の数珠玉である。19号墓から出土した。白玉8点以上と黒玉97点に分けられる。119

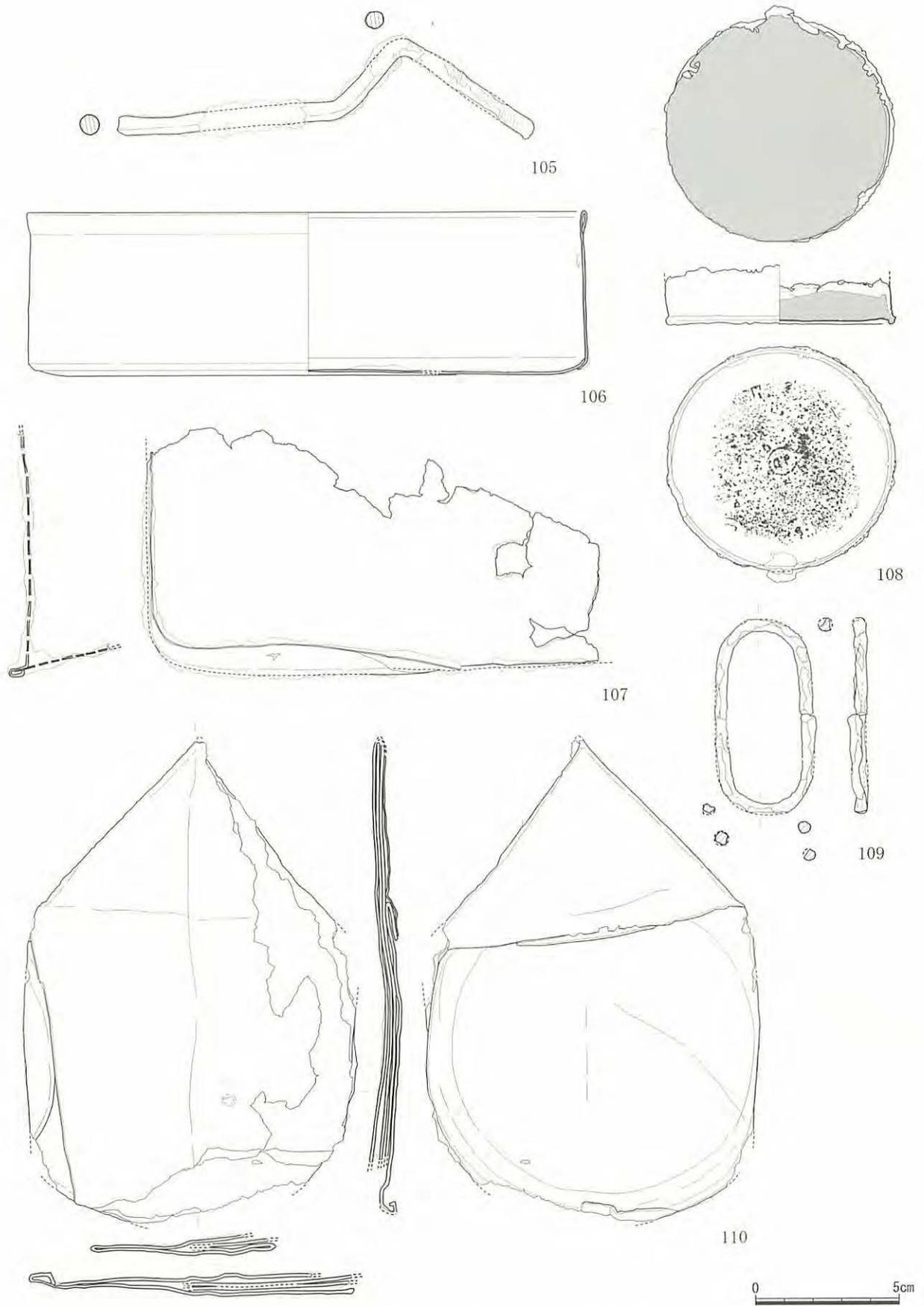


図19 1309調査地点出土遺物実測図10 (1/2)

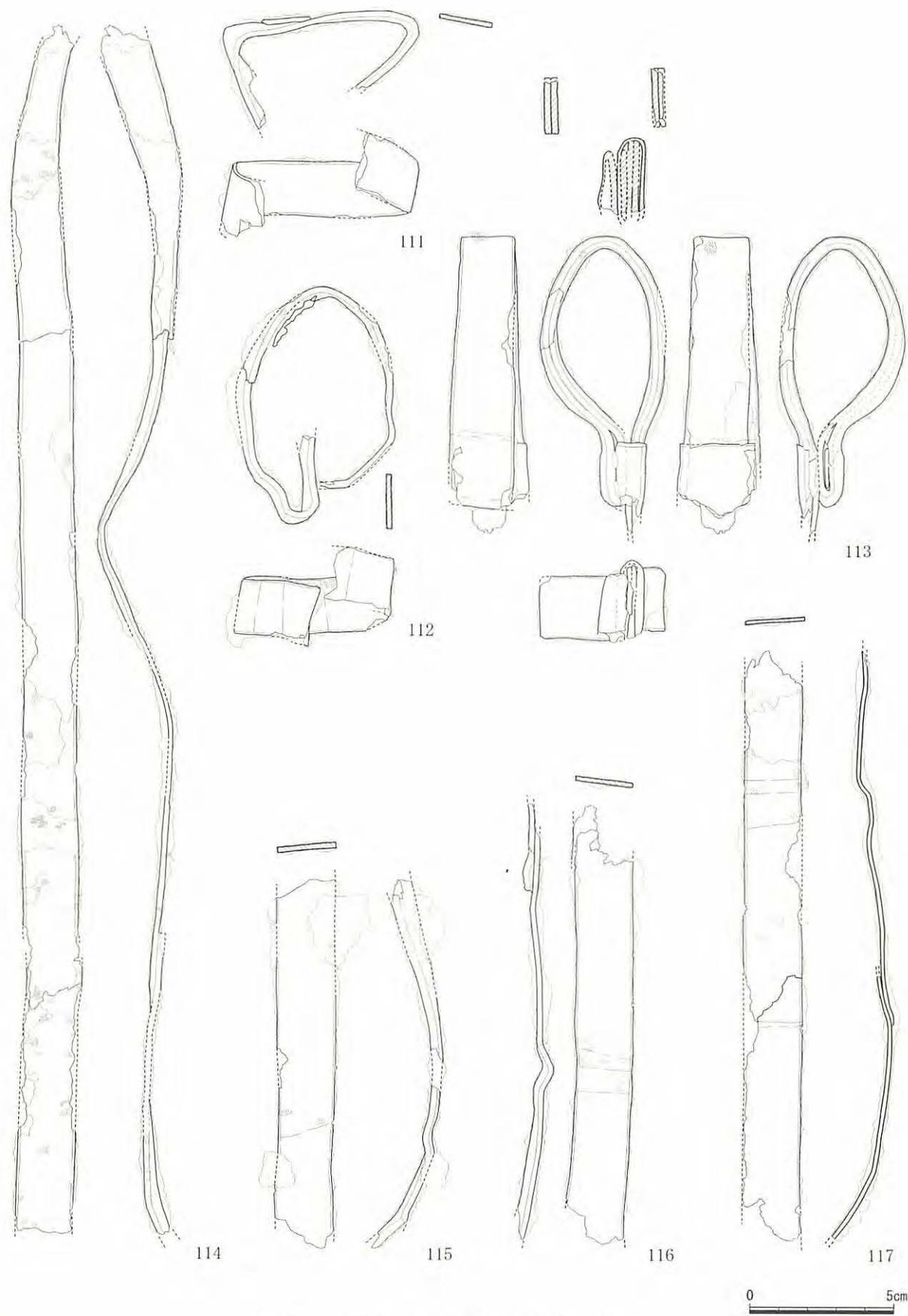


図20 1309調査地点出土遺物実測図11 (1/2)

は112号墓に伴ったハマグリである。風化し部分的に剥離している。120は石製の玉である。

小結—蔵骨器に関する一考察

本調査地点の東半で検出された土坑墓群は熊本監獄・刑務所の墓と考えられる。蔵骨器はこれらの上位から検出されたため、当初、近代に火葬が隆盛した時期以降の蔵骨器と捉えていた。しかし、類例を調べたところより時期が上る可能性が出てきた。

熊本大学構内遺跡の本荘北地区0411調査地点では、近世末以降とされる溝内のピットから口径27.5 cmの撮みのついた土師質の蓋が出土している (松田・大坪編2017)。また、同地区1104調査地点では近代とされる墓坑中から形態と調整の類似した土師質の蓋と壺身が別遺構から出土している (大坪編2013)。また、古町遺跡 I の B - 3 区の156号土坑からは土師器の蓋が出土している。こちらも口径25.7cmと大きく、天井部が未調整で内面が回転ナデによるなどの特徴が本遺跡出土品と類似する。同一土坑内からは瓦質土器の壺身も出土しており、球形の胴部を呈し、頸部に蓋を受けるための段を有するという器形状の特徴や法量が本遺跡出土の蔵骨器の身と類似している。この156号から出土した陶磁器類は18世紀から19世紀中頃にはほぼおさまり、近代の資料を含まない (原田・美濃口編2004)。

本資料は近世中期から後期にかけて江戸遺跡などで出土する「火消壺」と形態や壁面調整が類似している。火消壺は、通常竈や炉の脇に置き、火付きのよい消し炭を作るのに用いる蓋つきの壺である (江戸遺跡研究会編2001)。この火消壺は、火葬骨や改葬、飼い犬や幼児の埋葬において蔵骨器の代用品として用いられることがあり、本遺跡出土資料も人骨を内蔵する例があることから蔵骨器として使用されていることがわかる。本来火消壺は、内部に入れた炭などが底を通して熱を伝えぬように三足を有していることが多い。しかし、本遺跡出土品にはこの三足が認められず、火消壺としての機能を損なうように思える。

このような三足を持たない火消壺とされる資料が埋葬に用いられた例がある。京都市埋蔵文化財研究所による西岸寺玉日姫御廟所^{註2}の調査では、江戸時代後期の火消壺と焼骨が出土している (吉崎伸2013)。本来蔵骨器の代用品として用いられていた火消壺が、蔵骨器として機能を持つにいたって、不要となった三足が消失した可能性も考えられる。また、民俗例などから近代にも火消壺は使用されていることは分かるが、現時点では明治以降の編年は組まれていない。以上の見解から、本遺跡出土の蔵骨器は、江戸時代後期～近代初期の埋葬に伴う蔵骨器代用品である火消壺の可能性が高く、熊本監獄・刑務所の墓が黒髪に設置される前後に存在した墓が、何らかの理由で近代以降に破壊された際に、蔵骨器と一部の人骨が改めて埋納されたものと考えておきたい。

(5) 植物遺体

畑地の畝から栽培種の調査を目的とした土壌サンプリングを実施した。サンプリングの量は各地点で土嚢袋1袋分ほどである。種子の同定は山野がおこない、熊本大学文学部の小畑弘己教授のご教示を受けた。

185号畝、190畝において土壌サンプルを実施した。ウォーターフローテーションを用いて、2mm、1mmのメッシュで資料を取り上げた。顕微鏡を用いて小石や根、不要な繊維などをピンセットで取り除き、種子のみを選別した。種子の観察はUSB マイクロスコープ Dino-Lite Edge を使用し、パソコンに連結して簡易写真を記録している。

採取してきた資料にはカヤツリグサ科やタデ科、スベリヒエ科など、1mmに満たない小型の種子が多く認められた。雑草類の種子であるが、いずれも炭化しておらず、今回の資料はコンタミネーション

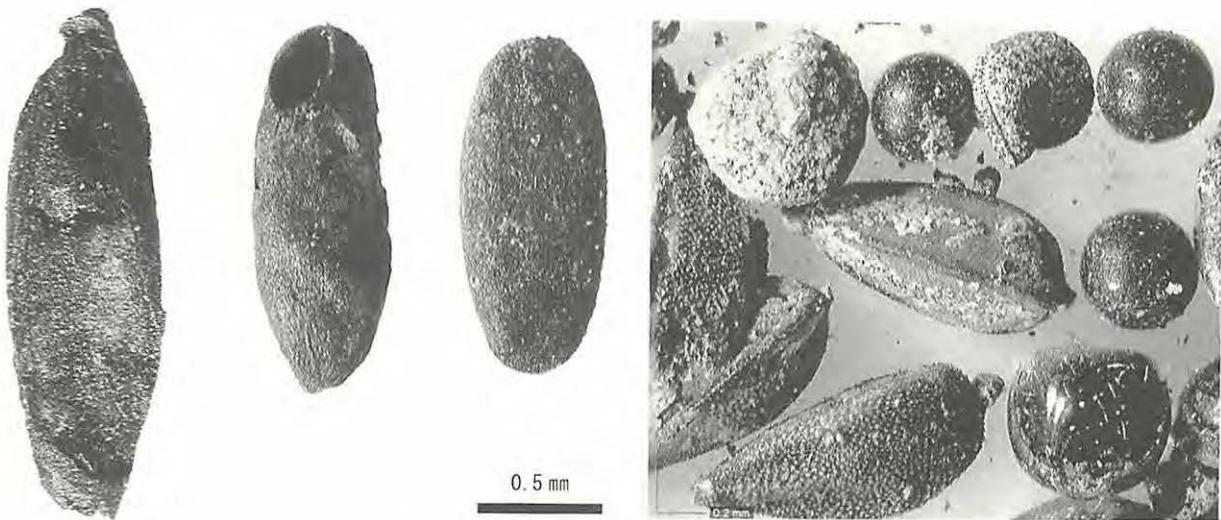


図21 1309調査地点出土植物遺体

を受けていると判断した。この他、炭化していると思われる種子が185号から1点、190号畝から2点得られた。当該資料は上記の未炭化物と混在しており、コンタミネーションの可能性はあるが念のために写真を掲載しておく。イネ科に似た資料で長さ2mm程の個体も認められるが、いずれも種を同定することができなかった。

(6) 本調査地点の土地利用に関する考察

a. 近世の畑について

調査によって本調査地点周辺では、近世中期の畑→近世墓群・近世後期の畑→近代土坑墓群の順に遺構が形成されていった様子が見て取れた。それでは文献や地図から当該地点の土地利用について調べていく。

本調査地点は、立田山の南西裾と白川右岸に挟まれた舌状に広がる平野部に位置している。この一帯は藩時代の飽田郡黒髪村に含まれる。文化2年(1805)の『熊本之図』をみると、調査地点周辺にあたる白川右岸一帯は「上河原」と記されており、周辺が畑に利用されていた状況が確認できる(新熊本市史編纂委員会編1991、大坪編2010)。また、天保3年(1832)、鹿子木維善が藩命で著した『藤公遺業記』には「立田口白川筋上河原に大成洲あり河原開の畑あり或は墓所あり・・・」との記載がある(武藤他1909:p149)。このことから少なくとも19世紀前半には「上河原」の地がすでに畑あるいは墓域として利用されていたことがわかる。このことを裏付けるように9909調査地点では近世墓が53余基検出されており、0203調査地点では文化(1804~1818年)・文政(1818~1830)年の年号を持つ石碑が見ついている。また、調査地点の南側、大学敷地に隣接する熊本刑務所之廟には熊本監獄・刑務所に関連する石碑が祀られており、この中に寛政11年(1799)、文化6年(1809)、天保4年(1833)の銘を確認できる¹⁵³。いずれも調査地点一帯が18世紀末から19世紀前半頃まで墓地として利用されてきたことを示している。他方、9909調査地点から検出された畑址からは1690年代~1739年以降の近世遺物が出土し、1309調査地点の調査では畑址から18世紀前半~19世紀初頭の陶磁器片が出土している。切り合い関係からも当該地域では近世墓よりやや先行、あるいは一時期重複して畑が営まれていたと推測でき、文献や古地図との整合性が取れる。

1. (黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営その他工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

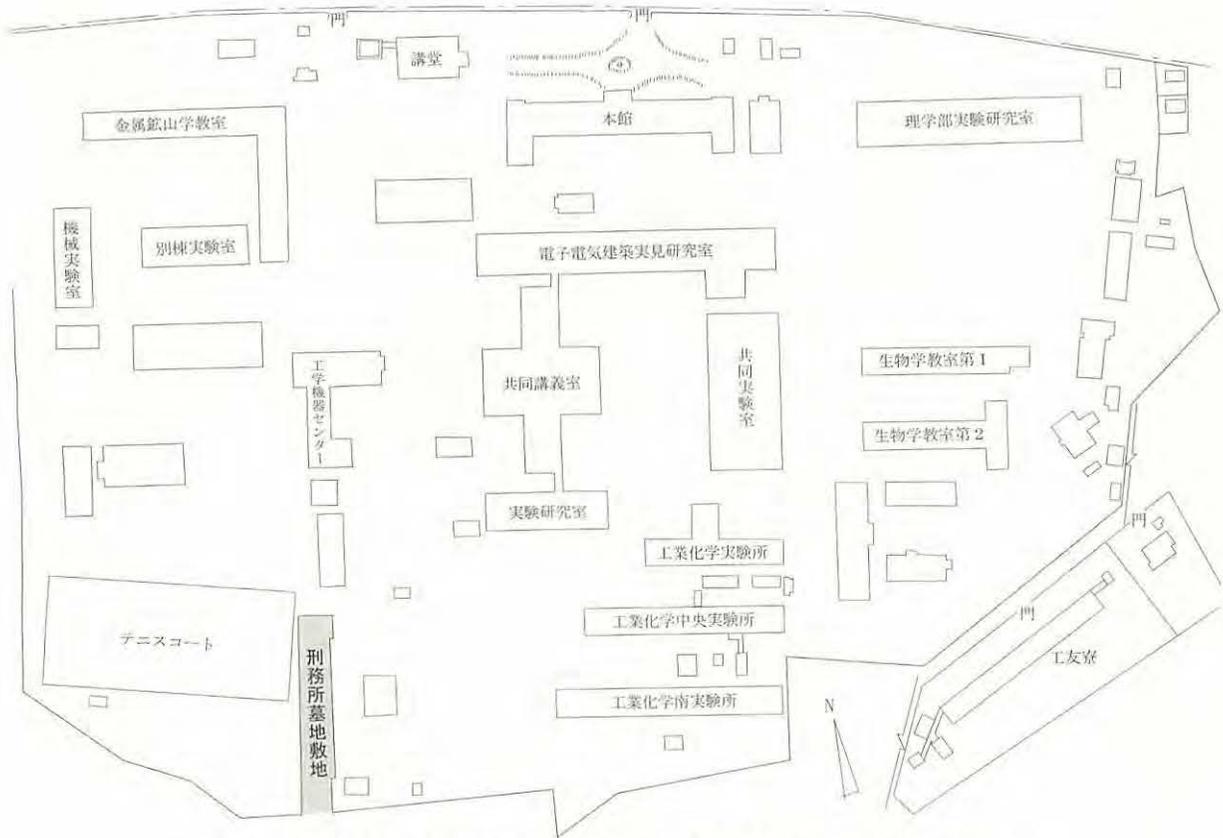


図22 昭和47年頃の熊本大学黒髪南地区における熊本刑務所墓地の位置
※所管関係級内の刑務所墓地敷地地図をトレース・一部改変

b. 熊本監獄・刑務所の墓地について

次に、当該調査区における熊本監獄・刑務所の墓地としての利用開始と経緯についてまとめた。熊本監獄は、明治5年(1872)に現在の熊本市中央区手取本町に所在した熊本藩厩跡に創設された。明治10年(1877)の西南戦争によって被害を受け、それ以前の記録は残っていないという。明治13年(1878)には熊本県に手取本町の土地が引き継がれ、以後、監獄本署、監獄署、熊本監獄、熊本監獄署などと名称を変えながら、敷地を拡張、建物を増設し、明治33年(1900)に司法省の所管に移り、明治36年(1903)4月には熊本監獄と改称された。その後、熊本市街地の発展に伴い、大正4年(1915)には現在の熊本市中央区大江渡鹿に移転し、大正11年(1922)には熊本刑務所と改められた(熊本刑務所編1932)。

熊本監獄の埋葬墓地については、少量ながら文献や地図による記録が残されている。熊本県立図書館所蔵資料である「熊本県資料2-169」の中に『熊本縣監獄署官有財産目録』があり、「その他の敷地」中に「飽田郡黒髪村の埋葬地(明治18年)」の記載がある(伊藤他2009)。このことから、明治18年(1885)には本地に熊本監獄の墓地が存在していたことがわかる。また熊本刑務所之廟には、明治14年(1881)建立の石碑や、明治15年(1882)から明治18年(1885)の埋葬者609名を埋葬した明治38年(1905)熊本監獄建立の石碑が認められるため、熊本監獄が本格的に機能し始めたという明治13年(1880)頃には、調査区周辺が監獄墓地として利用されていた可能性が高い。

さて、1309調査地点および既存の調査で確認された近代土坑墓群の由来は、熊本大学の施設部財産管理課が保管している『昭和四十三年度～四十七年度 熊本大学敷地(南地区)と熊本刑務所墓地敷

地所管換関係級』内の資料によって、熊本監獄・刑務所の墓地であることが明白となっている。本資料によれば、熊本大学工学部の前身である熊本高等工業学校（1906年創立）が敷地を拡張していく過程で、従来から学校の南西にあった熊本刑務所の墓地を囲む形になったとされている（図22）。そして昭和30年代以降になると、熊本大学では敷地利用において支障があり、熊本刑務所では墓の管理において不便となったため、両者間で墓地の移設と敷地の所管換について協議が行われたという経緯が記されている。紆余曲折を経て、昭和47年度に現在の熊本刑務所之廟の敷地を残し、刑務所墓地の大部分が熊本大学の敷地へ所管換となった。図8と図22を比較するとわかるとおり、この際大学に組み込まれた刑務所墓地の一部が1309他調査地点の土坑墓群の分布と対応するのである。

資料には昭和47年当時、墓地埋葬遺体35名の改葬と旧石碑の移動を大学が実施したことも記載されている。現存の熊本刑務所之廟には『自昭和20年7月至昭和47年4月埋葬者35名 昭和47年5月熊本刑務所建立』の石碑があり、これが敷地所管換時に設置されたものとわかる。また、廟内には上述したとおり藩時代や明治期の旧石碑の移設と、石碑新設が確認できる。ここで問題となるのが、発掘調査で見つかった近代墓の埋葬者の存在である。熊本刑務所墓地の範囲内に残されたこれら200体以上の埋葬人骨は、昭和47年度の改葬の際に計上されておらず、認知されていなかったことが分かる。同時に本遺跡の埋葬者が、少なくとも熊本監獄墓地の開始期である明治10年代以降から、墓が認識されていた昭和20年より前に熊本監獄・刑務所で死亡した囚人であることもわかる。以下、熊本刑務所之廟に現存する石碑と、当時の監獄法などの法律の内容を基に、埋葬時期をさらに検討していく。

監獄における死亡者の埋葬については、明治初期から法律で規定が定まっている。明治22年（1889）の『監獄則』中の『監獄則施行細目』には、監獄における死亡者又は刑死者の埋葬までの手順が詳細に規定されている。このうち特記すべき事項を列挙すると以下の通りである（白江編1889）。

- ・第七十七條「死亡者又ハ刑死者アルトキハ其年月日時ヲ記シ典獄ヨリ親屬ニ通知スヘシ」
- ・第七十九條「死者ノ親屬若クハ故舊ニ其遺骸ノ下付ヲ許シタルトキハ其者ヲシテ簿冊ニ署名捺印セシムヘシ 監署ニ於テ遺骸ヲ假葬スルトキハ棺ニ入テ之ヲ埋メ其上ニ面三寸長三尺五寸ニ過キサル氏名標ヲ建ツヘシ」
- ・第八十條「在監人ノ遺骸ハ假葬シタル後ト雖下付ヲ請フ者アルトキハ之ヲ許ス」
- ・第八十二條「假葬シタル死亡者刑死者ノ遺骸ニシテ満三箇年ニ至ルモ引取人ナキトキハ更ニ合葬スルコトヲ得但合葬シタルトキハ其墓標ニ石ヲ用ユヘシ」

上記を要約すると、①監獄で死亡者あるいは刑死者が出たときは、その年月日時を記録し、典獄より親族へ通知すること、②死者の親族もしくは親しい知人にその遺骸の下付を許可するときは、その人に署名と捺印をもらうこと、③監獄において遺骸を仮葬するときは、棺に入れて埋め、その上に名前を入れた墓標を建てること、④囚人の遺骸は仮葬した後も下付を請う人がいるときは許すこと、⑤仮葬した死亡者や刑死者の遺骸について満3年経っても引き取り人がいないときは（遺骸を）合葬すること、ただし合葬したときはその墓標には石を用いること、が記載されている。ここでいう「仮葬」とは、後に親族あるいは親しい知人が遺体を引き取る可能性を考慮して設定されたもので、棺桶などに入れて「土葬」することを指している。これに対して「合葬」が「本葬」にあたり、監獄法に注釈を入れた『監獄法講義』では「合葬トハ死者墳墓ノ地ヲ永久ニ保存スルノ儀式ト謂フノ義ナリ」と説明されている（小河1912：p645）。一方、明治22年の改定『監獄則』に先行して明治14年に発布された『監獄則』には「仮葬」はあるものの「合葬」の記載がみあたらない（和田1881）。後にこの条文が追加されたのは、『監獄則』に基づき囚人埋葬を実施する際、囚人の増加により全国各監獄で墓地の敷地上の問題があり、その改善のためと考えられる。

その後、明治41年(1908年)に公布・制定された『監獄法』および『監獄法施工規則』には、囚人死亡時の対応について『監獄則』を一部踏襲しながらもより具体的な内容が組み込まれ、期限の追加変更もみられる。以下に埋葬にかかわる特記すべき条文を列挙する(小河1912、辻1928)。

- ・第七十三條「在監者死亡シタルトキハ之を假葬ス 死體ハ必要ト認ムルトキハ之ヲ火葬スルコトヲ得 死體又ハ遺骨ハ假葬後二年ヲ経テ之ヲ合葬スルコトヲ得」
- ・第七十四條「死亡者ノ親族故舊ニシテ死體又ハ遺骨ヲ請フ者アルトキハ何時ニテモ之ヲ交付スルコトヲ得但合葬後ハ此限ニ在ラス」
- ・第八十一條「死亡後二十四時間ヲ経テ死體ノ交付ヲ請フ者ナキトキハ第七十九條(解剖に関する項目)ノ場合ヲ除ク外之ヲ監獄ノ墓地ニ假葬ス可シ 火葬ニ付シタル場合ニ於テハ其遺骨ニ付キ亦同シ 假葬ノ場所ニハ死亡者ノ氏名及ヒ死亡ノ年月日ヲ記シタル木票ヲ立ツ可シ」
- ・第八十二條「死體又ハ遺骨ヲ合葬シタルトキハ合葬者ノ氏名及ヒ死亡ノ年月日ヲ合葬簿ニ記載シ合葬ノ場所ニハ墓標ヲ立ツ可シ 墓標ニハ石ヲ用ウ可シ」

上記によれば、明治22年の『監獄則』と異なる点として、①必要なときは遺骸を火葬することができること、②遺骸あるいは遺骨は仮葬後2年を経過したら合葬することができること、③仮葬の墓標は木製、合葬の墓標は石を用いること、などが読み取れる。仮葬から合葬までの期間が3年から2年に変更となったのは、墓地の敷地不足によるものと考えられる。また火葬についての条文追加は、敷地不足だけが理由ではなく、伝染病死者による土壌汚染など衛生法からの影響も強い(廣中1901)。では、熊本監獄・刑務所において合葬はどのように実施されているか、石碑から読み解いていく。

現在熊本刑務所之廟には、近代以降の銘が刻まれた石碑として「明治14年2月2日建立」、「自明治15年11月至明治18年7月埋葬者609名 明治38年12月建立熊本監獄」、「自明治18年至明治35年12月埋葬者481名 明治38年建立熊本監獄」、「自明治36年3月至明治38年11月埋葬者□十六名 明治□十二年11月建立熊本監獄」、「自明治38年12月至昭和6年12月埋葬者60名 昭和9年3月熊本刑務所」、「自昭和20年7月昭和47年4月埋葬者35名 昭和47年5月熊本刑務所建立」を確認できる。石碑から、手取本町に熊本監獄が設置されて以降、明治14年頃から昭和47年まで合葬の石碑が祀られたことがわかる。このうち明治15年～明治18年の死亡者の合葬碑は明治38年に建立されている。建立された年代が埋葬者の死亡した年から20年以上も経過している理由は定かではないが、続く明治18年～35年までの死亡者の合葬碑が同じく明治38年に建立されていることから、当初の石碑が損壊あるいは紛失したために改めて石碑が製作されたと想定できる。少なくとも当初、熊本監獄では監獄法に基づき2年あるいは3年経過した仮葬遺骨について、合葬をおこなっていた様子がうかがえる。しかし、明治38年12月～昭和6年12月までの死亡者の合葬碑の「埋葬者60名」については疑問が残る。明治から昭和までの熊本県下の統計を記した『熊本縣治一斑』、『熊本縣統計書』から囚人の死亡数を算出したところ、明治39年1月から昭和6年12月の間に309名が死亡していることが分かった(表3)。当時、囚人の家族や知己が遺体あるいは遺骨の交付を望むことは少なかったため(吉野1910:p376)、石碑の埋葬者数と記録に200名以上の誤差があることは看過できない。そして昭和9年建立の合葬碑の後には、昭和47年に熊本大学により用意された昭和20年から47年の埋葬者35名の合葬碑しか確認できない。上述した通り、1309他調査地点における墓地に残された近代墓の存在は、ある時期から仮葬した埋葬者を全て把握できていなかったことを示している。

以上、石碑や文献などから、本調査地点で出土した熊本監獄の近代墓の年代は、明治39年～昭和20年(1906～1945)前後までと推定しておきたい。

表3 明治13年から昭和15年における熊本監獄・刑務所の死亡人数一覧表

和暦	西暦	男性				女性				総数	女性の割合 (%)	備考
		病死	変死	刑死	計	病死	変死	刑死	計			
明治13年	1880	12	0	10	22	2	0	0	2	24	8.3	
明治14年	1881	17	0	4	21	3	0	0	3	24	12.5	
明治15年	1882	18	1	0	19	0	0	0	0	19	0.0	
明治16年	1883	138	17	0	155	1	0	0	1	156	0.6	
明治17年	1884	236	4	3	243	2	0	0	2	245	0.8	
明治18年	1885	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	明治18～22年の熊本縣統計書を得られず
明治19年	1886	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
明治20年	1887	114	9	2	125	1	0	0	1	126	0.8	
明治21年	1888	84	5	4	93	0	0	0	0	93	0.0	
明治22年	1889	51	3	6	60	1	0	0	1	61	1.6	
明治23年	1890	51	0	3	54	0	0	0	0	54	0.0	
明治24年	1891	36	0	0	36	1	0	0	1	37	2.7	
明治25年	1892	63	0	1	64	2	1	0	3	67	4.5	
明治26年	1893	18	4	2	24	3	0	0	3	27	11.1	
明治27年	1894	19	0	2	21	2	0	0	2	23	8.7	
明治28年	1895	75	4	2	81	2	0	0	2	83	2.4	
明治29年	1896	73	0	0	73	2	0	0	2	75	2.7	
明治30年	1897	62	8	1	71	1	0	0	1	72	1.4	
明治31年	1898	89	6	0	95	2	0	0	2	97	2.1	この年から「刑死」なくなる
明治32年	1899	28	2	0	30	3	0	0	3	33	9.1	
明治33年	1900	30	4	0	34	0	0	0	0	34	0.0	
明治34年	1901	22	2	0	24	4	0	0	4	28	14.3	
明治35年	1902	36	0	0	36	0	0	0	0	36	0.0	
明治36年	1903	31	0	0	31	2	0	0	2	33	6.1	
明治37年	1904	42	1	0	43	1	0	0	1	44	2.3	
明治38年	1905	46	1	0	47	1	0	0	1	48	2.1	
明治39年	1906	42	0	0	42	1	0	0	1	43	2.3	
明治40年	1907	20	1	0	21	1	0	0	1	22	4.5	
明治41年	1908	9	0	0	9	1	0	0	1	10	10.0	
明治42年	1909	22	0	0	22	0	0	0	0	22	0.0	
明治43年	1910	21	0	0	21	2	0	0	2	23	8.7	
明治44年	1911	29	2	0	31	1	0	0	1	32	3.1	
大正元年	1912	11	0	0	11	0	0	0	0	11	0.0	この年から女性の死者なくなる
大正2年	1913	12	0	0	12	0	0	0	0	12	0.0	
大正3年	1914	13	1	0	14	0	0	0	0	14	0.0	
大正4年	1915	12	1	0	13	0	0	0	0	13	0.0	
大正5年	1916	8	1	0	9	0	0	0	0	9	0.0	
大正6年	1917	8	1	0	9	0	0	0	0	9	0.0	
大正7年	1918	10	1	0	11	0	0	0	0	11	0.0	
大正8年	1919	8	0	0	8	0	0	0	0	8	0.0	
大正9年	1920	5	0	0	5	0	0	0	0	5	0.0	
大正10年	1921	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0.0	
大正11年	1922	6	1	0	7	0	0	0	0	7	0.0	
大正12年	1923	5	2	0	7	0	0	0	0	7	0.0	
大正13年	1924	8	1	0	9	0	0	0	0	9	0.0	
大正14年	1925	6	1	0	7	0	0	0	0	7	0.0	
大正15年	1926	7	1	0	8	0	0	0	0	8	0.0	
昭和元年	1927	4	0	0	4	0	0	0	0	4	0.0	
昭和2年	1928	7	0	0	7	0	0	0	0	7	0.0	
昭和3年	1929	3	0	0	3	0	0	0	0	3	0.0	
昭和4年	1930	4	1	0	5	0	0	0	0	5	0.0	
昭和5年	1931	6	1	0	7	0	0	0	0	7	0.0	
昭和6年	1932	7	1	0	8	0	0	0	0	8	0.0	
昭和7年	1933	2	0	2	4	0	0	0	0	4	0.0	
昭和8年	1934	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	統計書得られず
昭和9年	1935	6	0	0	6	0	0	0	0	6	0.0	
昭和10年	1936	15	0	0	15	0	0	0	0	15	0.0	
昭和11年	1937	7	0	0	7	0	0	0	0	7	0.0	
昭和12年	1938	5	0	0	5	0	0	0	0	5	0.0	
昭和13年	1939	7	1	0	8	0	0	0	0	8	0.0	
昭和14年	1940	8	0	0	8	0	0	0	0	8	0.0	昭和16～23年の熊本県統計書存在せず

※本表は1881～1940年の「熊本縣統計表」と1891～1898年の「熊本縣治一斑」を用いて作成した。表中の「-」は情報を得ることができなかったもの。

c. 発掘調査成果との比較検証

以上の見解を念頭におき、文献と発掘調査成果との比較検証をおこなっていく。本調査地点のⅡ層は熊本大学黒髪南地区の白川に近い調査地点で頻繁にみられる砂層である。従前の調査から昭和28年6月26日に発生した白川大洪水による堆積砂とみて間違いない。よってそれよりも下位から検出された近代土坑墓群が、昭和28年以前であることは明白である。また近代墓の一つである86号墓からは大正9年(1920年)の1銭が出土した点についても碑文や記録との関係上、整合性がある。このほか、土坑墓内から出土した銅板転写の磁器碗片、プラスチック製釦やガラス瓶、碍管などはいずれも明治20年代以降のものともみられる。遺跡の状況から、明治後半から昭和28年以前が近代墓の年代とみることが可能である。

調査地点に200体以上の近代墓が仮葬のまま合葬されずに残った理由は不明である。しかし、本地は白川右岸に位置し、南側に突出した土地にあるため、白川の洪水あるいは冠水被害を頻繁に受けていた。昭和28年の水害時には、工学部の広い範囲が水没したことが記録に残っている(熊本大学60年史編纂委員会編2014)。昭和28年の洪水以前にも明治33年や大正12年に白川で大洪水が起きており、熊本高等工業学校の一部も冠水している。こうした水害被害により熊本監獄・刑務所の墓地も一時水没するなどし、墓の位置が不明確となり、仮葬された遺骨を合葬することができなくなったのではないだろうか。近代墓の直上に堆積するⅣ層は、砂質で遺物がほとんど含まれない。大正9年の1銭がⅣ層にパックされた土坑墓埋土中より出土することからも、Ⅳ層は大正9年以降の堆積層と判断できる。また、近代の整地土層のⅢ層はこうした水害により運ばれてきた堆積土を撤去、造成した際の土と推定される。

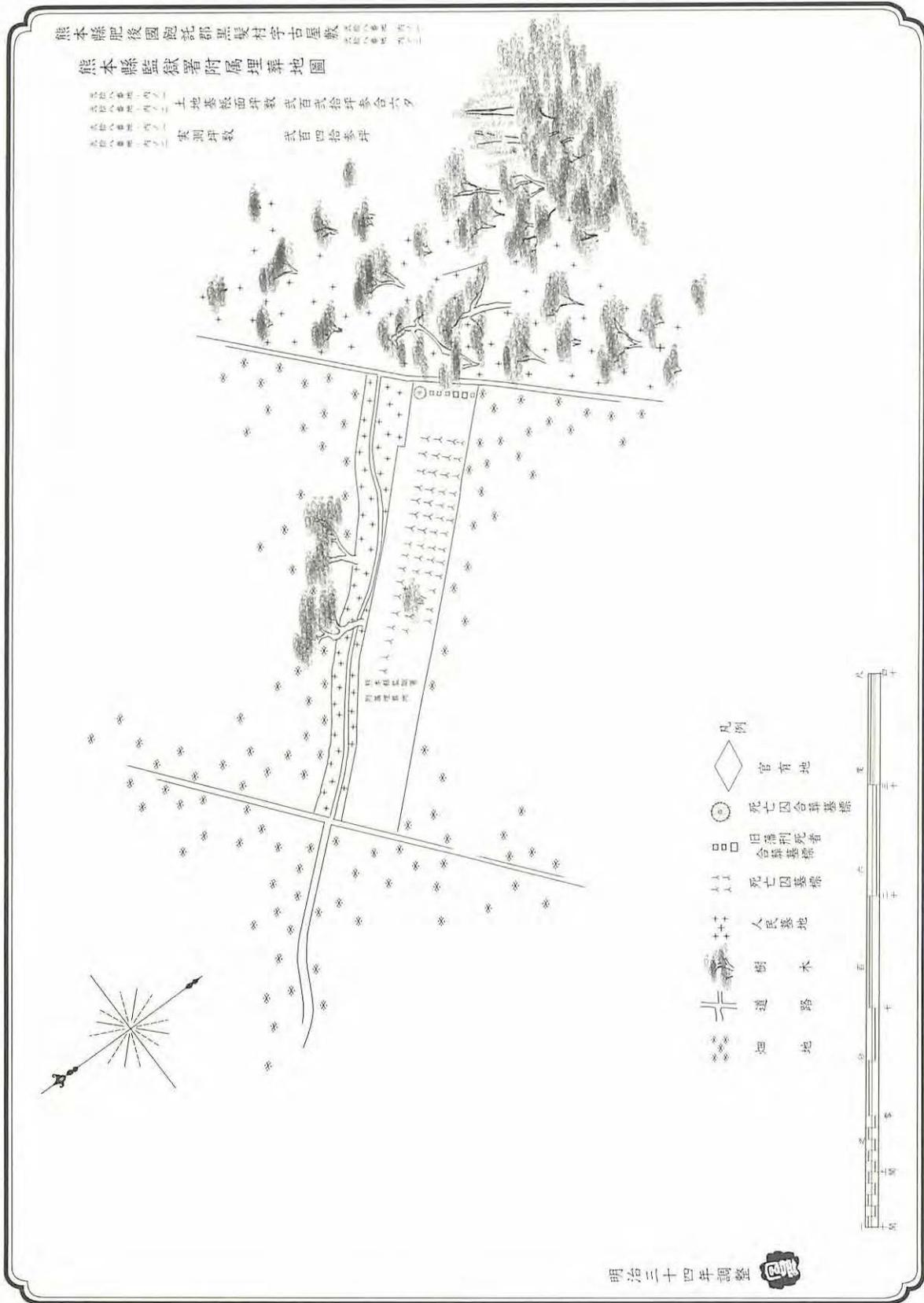
以上、遺跡の調査成果と文献、地図、熊本刑務所之廟の石碑を総合的に検討した結果、近代墓の多くが、明治後半から大正頃の熊本監獄・刑務所の囚人の墓であったと推測した。

d. 近代土坑墓について

次に、埋葬施設である土坑墓の形態や人骨、副葬品について、遺跡の状況と文献から実態をみていく。本調査地点で検出された土坑墓は、直径1m程の円形プランを呈し、底がすばまった円柱状の掘方を持つ。残りのよい土坑墓の掘方の統計をとると、検出面からの深さは1.8m程が多いことがわかった。人骨は坐葬の状態で見られ、周囲からは木や布の繊維が検出されている。そのため、遺体を木製の桶あるいは布などに入れて埋葬したことがうかがえる。また、内部から釘が出土している例も多く、木棺墓に納められていたものも一定量あったとみられる。一方で97号墓や106号墓など土坑内に人骨がほとんど残っていないものや、53・57号墓など人骨が検出されない例もあった。

明治期以降、囚人は埋葬についても法律により一般人との差別化が図られていた。例えば、明治17年の『墓地及埋葬取締規則施行方法細則標準』では、第3条に「但死刑ニ處セラレタル者ハ墓地ノ一隅ヲ区画シテ其内ニ埋葬スルモノトス」とあり、一般の人々とは敷地を分けて埋葬することが義務付けられている(熊本県警察部1895)。実際に明治34年(1901年)に調製された『熊本縣肥後國飽託郡黒髪村字古屋敷』の『熊本監獄署附属埋葬地圖』¹⁴⁾をみると、「畑地」と「人民墓地」に取り囲まれた「死亡囚墓標」が確認でき、南側には「旧藩刑死者合葬墓標」も別に区画されている(図23)。

明治18年に布達された『墓地及埋葬取締細則』には、墓地や火葬場の設置や管理、埋葬の規則や方法などの項目が並んでいる(熊本県警察部編1911)。この中で第九条には「墓地ノ深サハ六尺以上タルヘシ若シ土地ニヨリ六尺ニ至リ難キモノ及ヒ火葬ノ遺骨ヲ埋蔵スルモノハ格別トス」とある。墓地の深さを六尺、約1.8mと規定したのは、明治34年(1901)の『衛生法』に、「大ニ屍体ノ分解ヲ速ニ



シ且ツ臭気ノ離散ヲ助クルノ効益アルガ故」と記載があり、衛生上の理由とされている(廣中1901:167)。本調査地点の土坑墓の深さが約1.8mと深いこともこれに起因すると思われる。また、人骨の所見によるとわずか女性の割合はわずか6%程度であることも、当時の囚人の割合と整合性がとれている(表3)。

そもそも、日本では幕末期以降の神道の思想に影響し、明治6年太政官布告において、「火葬ノ儀自今禁止候此旨布告候事」というように一般の火葬を禁じている。しかし、公衆衛生や敷地の問題から、たった2年後の明治8年太政官布告において火葬の禁止を解いているのである。熊本では明治22年の県令第四十二号において「飽田郡黒髪村字上河原伝染病者死屍埋葬場ハ衛生上危害アリト認ムルニヨリ自今埋葬ヲ禁止ス」と通達が出されており、当該調査地周辺における土壌汚染があったことを生々しく伝えている(熊本縣警察部1911:p179)。明治政府は埋葬方法として火葬を奨励していたのだが、火葬場の不足や火葬のための資金支払いなどの問題もあり、大正14年(1925)にいたっても全国の火葬率は43.2%で、基本的に土葬が多かった(勝田編2012)。熊本監獄・刑務所の墓における埋葬方法はほぼ土葬に限られるが、蔵骨器の7号墓や、96号墓、105号墓などに一部焼骨が認められる。本調査地点の成果は、近代の埋葬方法の変容過程の実情を知る上でも重要と思われる。

(7) まとめ

本調査地点一帯は緑地として活用されており、これまでに大型構造物が造られたこともないため、遺跡の保存状況は極めて良好であった。遺構面は地表下約2.5mである。調査区西側で近世後期と思われる畑址が、調査区東側では熊本監獄・刑務所の土坑墓が確認された。また、土坑墓の上位からは蔵骨器が検出された。

本調査区周辺では9909調査地点、0203調査地点、1418調査地点がこれまでに調査されている。各地点の土層を精査したところ、I～V層について対応がとれた。ただし、9909・0203調査地点で発見された畑址は出土品から近世中期と報告されており、本調査地点の畑址は出土品によればやや時期が下るとと思われる。各地点で確認された畝は同軸方向で営まれており、各遺構の距離からも同時期に畑が使用されていた可能性が高い。本調査地点の畑址からは陶磁器片や破片面子などが出土したが、年代を決定づける資料が出土していないため、他地点の土層との対応関係も含めて今後の課題の一つといえる。また、栽培植物の復元を目的とした土壌サンプリングとフローテーションを実施したが、現代の種子が混入しており、まとまった炭化物など明確な成果は得られなかった。

調査区東側の近代土坑墓群の上位から出土した資料として蔵骨器が複数得られている。これまで熊本県下でも数例の報告が認められるが、本調査地点からはまとまった良好な資料が得られた。2例については焼骨が伴っており、蔵骨器としての機能を有していたと思われるが、出土状況からは、その多くが一度取り上げられた後、廃棄されたものとみられる。その形態から、火消壺の転用品あるいは火消壺から変容した骨壺と思われ、江戸時代後期末から近代の資料と考えられる。

調査区東側一帯からは近代土坑墓群が100基以上検出された。本埋葬は、発掘調査の成果だけでなく大学の所管関係資料や地図、文献などから明治後半から大正頃の熊本監獄・刑務所の囚人の墓であることが判明した。土坑墓はほぼ全てが円形プランを呈しており、深さが約1.8mである。木材や繊維が残存している例もあり、鉄釘も埋土中から出土することから早桶や木棺墓が埋葬施設に用いられたと想定できる。埋葬に伴う遺物として、陶器瓶、磁器杯、ガラス瓶、銭、釦、鉄製品、数珠、貝殻などがあげられる。近代墓の例には、隣接する0203調査地点ではガラス瓶が、また、熊本大学構内遺跡本荘北地区の1104調査地点では杯や開元通宝、天保通宝、1銭などの銭、二枚貝が出土するな

どの共通点が認められる。人骨資料は134体得られている。埋葬姿勢は坐葬で焼骨を含む例がある。また、人骨が一部抜き取られた例やわずかな骨片しか出土しない例が少数みられたが、これらは本埋葬が監獄・刑務所における仮葬であり、後に合葬されたかあるいは人骨の引き取り手があったものと考えられる。人骨のうち9割近くが男性で女性はわずか8体であり、こうした男女比も囚人の墓としての特徴を示す。

熊本県のみならず、全国的に近代の墓の調査は類例が少ない。それが監獄・刑務所の墓地であるならば尚更である。本調査においても遺跡の年代や調査期間の短さから十分な調査を実施することはできなかった。しかし、発掘調査の成果と文献や古地図との比較検証により、少なからず本調査地点周辺における近世から近代にかけての土地利用と熊本監獄・刑務所の囚人墓地について復元し、その実体に迫ることができたと思われる。あまり知られていないが熊本大学と熊本監獄・刑務所は歴史的に関係性が深い。近年の調査によって、熊本大学の前身である第五高等学校（後の第五高等学校）の赤煉瓦建築に使用された煉瓦は、その製造に熊本監獄の囚人が関わっていたことが確実となっている（松田・大坪編2017）。監獄は明治維新以降、近代化の波の中で、冤罪も含めて罪を犯した人々の更生の場でもあり、煉瓦建築を代表とする近代建築の発展に深く関わっているのである。今後、近代の遺跡の発掘調査と研究は、明治以降の近代化を促進した熊本の地域史の復元をおこなう上で重要な分野となりえる。

注

1. 大坪編2003の図3の調査区西壁土層断面図のLHは「20.00m」と記されているが、他の調査区との整合性が取れなかった。原図を確認したところ「19.00m」の記載ミスであったことが判明したため、本書で訂正しておきたい。
2. 玉日姫とは鎌倉時代の公卿九条兼実の娘であり、親鸞の妻と伝えられている。嘉永5年（1852）に改葬された記録があり、発掘調査では年代的確証は得られていないものの、火消壺の年代観とは整合性がとれている。
3. 熊本刑務所廟の調査においては熊本刑務所用度課の許可を得た。
4. 本資料は熊本大学施設部財産管理課が保管している『昭和四十三年度～四十七年度 熊本大学敷地（南地区）と熊本刑務所墓地敷地所管換関係綴』内に所収されていた。

引用・参考文献

- 浅川範之 2007「飯茶碗の考古学」『近世・近現代考古学入門』 pp.49-69 慶應義塾大学出版会
- 浅香勝輔・八木澤壯一 1983「三 近代化のなかでの火葬の受容」『火葬場』 大明堂
- 伊藤重剛・末藤武志・磯田桂史 2009「明治の熊本監獄の建築に関する研究（1）」『日本建築学会九州支部研究報告』第48号 pp.697-700 日本建築学会
- 江戸遺跡研究会編 2001『図説江戸考古学研究事典』 柏書房
- 大坪志子編 2003『熊本大学埋蔵文化財調査室年報』9 熊本大学埋蔵文化財調査室
- 大坪志子編 2010『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』VI 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第6集 熊本大学埋蔵文化財調査室
- 大坪志子編 2013『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』IX 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第9集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 小河滋次郎 1912『監獄法講義』 巖松堂書店

- 勝田至編 2012『日本葬制史』 吉川弘文館
- 九州近世陶磁学会事務局編 2000『九州陶磁の編年』 九州近世陶磁学会
- 熊本刑務所編1932『刑務一覧表』 熊本刑務所
- 熊本縣警察部編 1895『現行衛生彙法全』 熊本縣
- 熊本縣警察部編 1911「第十章 墓地及埋火葬」『熊本縣警察類典』 pp.171-180 熊本縣
- 熊本大学60年史編纂委員会編 2014「第2節「6・26水害」とその被害」『熊本大学60年史 通史編』 pp.175-187 国立大学法人熊本大学
- 白江廷太郎編 1889「監獄則施行細則」『改正監獄則』 pp.18-48 岡島宝文館
- 新熊本市史編纂委員会編1991『新熊本市史 別編第1巻 絵図・地図』上 熊本市
- 辻敬助 1928『監獄法提要』 清水書店
- 長佐古真也2007「続・お茶碗考-近代・現代の中形碗に飯碗を探る」『考古学が語る日本の近現代』 同成社
- 原田範昭・美濃口雅朗 2004『古町遺跡 第1次調査区 発掘調査報告書』 熊本市教育委員会編
- 廣中佐兵衛 1901「第五章 墓地及埋葬ノ制度」『衛生法』 pp.141-191 東京博文館
- 松田光太郎・大坪志子編 2017『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』XII 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第12集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 武藤巖男・宇野東風・古城貞吉編1909「藤公遺業記」『肥後文献叢書』 pp.136-165 東京隆文館
- 山野ケン陽次郎編 2016『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報』21 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 吉崎伸 2013「西岸寺玉日姫御廟所調査」『第243回京都市考古資料館文化財講座』資料 p10 京都市埋蔵文化財研究所
- 吉野徳一 1910「第十三章 死亡」『袖珍監獄実務洋解：法令通牒対照』 pp.373-383 明倫館
- 和田篤太郎 1881『改定監獄則』 春陽堂

熊本市中央区黒髪町遺跡群1309調査地点出土の近代人骨

松下真実*・松下孝幸**

【キーワード】：熊本県、近代人骨、坐葬

熊本市中央区黒髪2丁目39番1号に所在する黒髪町遺跡群1309調査地点の発掘調査が国際革新技術研究拠点施設の建設工事に伴って、2013（平成25）年におこなわれた。この地点は、明治5年に設置された熊本監獄の埋葬地として使用された場所である。熊本監獄はその後、渡鹿に移動し熊本刑務所と名称を変えたが、熊本大学の構内に取り込まれるまでその墓地は使用されてきた。

明治5年に熊本監獄が手取本町に建設され、そのときから熊本監獄の墓地として使用され始め、熊本大学の敷地となった昭和47年まで使われたようである。今回検出された人骨は熊本監獄と熊本刑務所に収監中に亡くなった人たちの人骨である。被葬者は比較的若いものが多いので、生年は明治が大部分と思われる。

熊本県では大江遺跡群第68次調査区（松下、2002）と出水国府跡（松下真実・他、2008）から出土した近代人骨の報告があり、本庄遺跡1104調査地点からも多数の近代人骨が出土しているが、近代の遺構そのものの調査例がかなり少ないので、近代人骨の研究は進んでいない。

大江遺跡群第68次調査区からは92体の近代人骨が出土している。男性の頭型は長頭型であるが、女性は短頭型である。男性の顔面は高・狭顔であるが、女性は低・広顔で、歯槽性突顎は男女ともに認められない。四肢骨は細く、男性は低身長で、女性は高身長であった。

出水国府跡からは甕棺1基から1体の男性骨が出土した。頭型は過長頭型で、広顔傾向を示し、鼻根部は扁平ではなく、四肢骨は長く、太く、高身長であった。

上記2遺跡の近代人骨は甕棺から出土した人骨であることから、被葬者は旧士族ではないかと筆者らは推測している。男性の頭型はいずれも長頭型であることが共通しており、熊本市域の近代人男性は長頭型と考えてもよさそうであるが、顔面や四肢骨の特徴と推定身長値などが両方で異なっており、さらに検討が必要で、このような意味からも本調査地点出土人骨の特徴が注目される。

本調査地点で検出された埋葬遺構の平面プランはおおむね円形で、墓坑は大きく、深い。埋葬姿勢は坐位である。墓穴は整然と並んで検出された。検出された人骨は表4に示すとおり134体である。成人骨は133体で、そのうち男性骨は116体、女性骨は8体、性別不明9体で、未成人骨が1体である。各人骨の性別・年齢などは表6に示した。また、年齢区分は表5のとおりである。現在、人骨の整理、復元、保存処理をおこなっており、一連の作業が終了した時点では体数などに若干の修正が生じる可能性がある。

近代墓地や近代人骨の研究調査に恵まれることはきわめて稀なことである。本人骨は受刑者という特別な環境下にあった人々の骨とはいえ、近代という歴史を生き延びた人たちの骨であり、日本人の形質の時代変化を探る上では貴重な資料となるものである。

表4 資料数 (Table1. Number of materials)

成人			未成人	合計
男性	女性	不明		
116	8	9	1	134

表5 年齢区分 (Table2. Division of age)

	年齢区分	年齢
未成人	乳児	1歳未満
	幼児	1歳～5歳 (第一大臼歯萌出直前まで)
	小児	6歳～15歳 (第一大臼歯萌出から第二大臼歯根完成まで)
	成年	16歳～20歳 (蝶後頭軟骨結合癒合まで)
成人	壮年	21歳～39歳 (40歳未満)
	熟年	40歳～59歳 (60歳未満)
	老年	60歳以上

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(1996)を参照されたい。

＜参考文献＞

1. 熊本大学埋蔵文化財調査室、2008：熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅳ（熊本大学埋蔵文化財調査報告書第4集）
2. 松下孝幸、2002：熊本市大江遺跡群第68次調査区出土の近代人骨。大江遺跡群Ⅳ－大江遺跡群第68次調査区発掘調査報告書－：62-97.
3. 松下孝幸、2006：長崎県近・現代人頭蓋計測値。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第1号：21-24.
4. 松下孝幸・他、2013：熊本市本庄1104調査地点出土の近代人骨。熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅸ（熊本大学埋蔵文化財調査報告書第9集）：116-122.
5. 松下真実・他、2008：熊本県熊本市出水国府跡出土の近代人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第3号：1-17.

*Masami MATSUSHITA、**Takayuki MATSUSHITA

The Organization of Anthropological Research [NPO 法人・人類学研究機構]

表6 1309調査地点出土人骨・埋葬遺構一覧表

遺構番号	取上番号	遺構	性別	年齢	埋葬姿勢	顔の向き	人骨備考	鉄製品		備考
								内容	重量(g)	
1	M52	蔵骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身が上下逆転した状態で検出 下位より24号墓検出
2	M31	蔵骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身蓋を検出
3	M9	蔵骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身蓋を検出
4	M68	蔵骨器	-	-	-	-	骨片あり	-	-	身蓋を検出 下位より71号墓検出
5	M38	蔵骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身蓋を検出
6	M53	蔵骨器	不明	不明	不明	不明	四肢骨	釘, 環状製品	14.5	蓋片のみ検出 壁から崩落
7	M39	蔵骨器	男性	不明	不明	不明	火葬骨	釘	1.6	身下半分を検出 下位より97号墓検出
8	M146	蔵骨器	-	-	-	-	人骨なし	釘	1.7	蓋と陶器壺を検出 下位より102号墓検出
9	M18	蔵骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身のみ検出 下位より103号墓検出
10	M55	蔵骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身と蓋を検出 下位より113号墓検出
11	M56	蔵骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身蓋を各3点を検出 下位より118号墓検出
12	M66・69・70	蔵骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身5点, 蓋3点を検出 下位より132号墓検出
13	M71	蔵骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	陶器壺底部片を検出
14	M85	土坑墓	男性	熟年	坐位	北東		-	-	
15	M82	土坑墓	男性	壮年	不明	不明		釘	6.8	
16	M78	土坑墓	男性	熟年	不明	不明		-	-	天保通宝1点, 直下に木質検出
17	M94	土坑墓	男性	不明	坐位	南		船釘	48.8	
18	M92	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		釘	61.3	
19	M90	土坑墓	男性	不明	坐位	北西	頭蓋なし, 下肢は寛骨から分離	-	-	数珠 プラスチック製釘3点
20	M145	土坑墓	男性	熟年	坐位	東		釘	8.2	
21	M87	土坑墓	男性	熟年	坐位	西	左下肢骨攪乱	釘	20.2	寛永通宝1点
22	M84	土坑墓	男性	壮年	坐位	西?		釘	2.3	
23	M81	土坑墓	男性	壮年	坐位	不明		釘	1.9	
24	M60	土坑墓	男性	熟年	坐位	北東(東)		釘, 板状製品	20.6	繊維検出 上位より1号墓検出
25	M93	土坑墓	男性	不明	坐位	西		釘	2.0	
26	M91	土坑墓	男性	壮年	坐位	東		釘	16.2	
27	M89	土坑墓	男性	不明		不明		-	1.5	
28	M86	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		釘	6.0	
29	M83	土坑墓	男性	壮年	坐位	東		釘	15.4	
30	M80	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		-	-	木片
31	M76	土坑墓	-	未成人	坐位	西	未成人, 骨端分離	釘	3.5	
32	M125	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		釘	3.3	
33	M36	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		釘	2.5	
34	M88	土坑墓	男性	壮年	坐位	西	入歯	釘	4.7	
35	M15	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		釘	5.0	
36	M14	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		釘	2.6	
37	M79	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		釘	0.7	
38	M75	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		釘	1.0	木片
39	M7	土坑墓	男性	壮年	不明	不明		釘	1.1	
40	M23	土坑墓	男性	熟年	不明	不明		-	-	
41	M30	土坑墓	男性	不明	不明	不明		-	-	
42	M16	土坑墓	男性	壮年	不明	不明		釘	1.8	ワイン瓶1点 杯1点
43	M22	土坑墓	男性	不明	坐位	東		釘	7.7	下位より44号墓検出
44	M131	土坑墓	男性	壮年	坐位	西	3体分	釘	0.4	下位より43号墓検出 男性不明、男性壮年
45	M57	土坑墓	男性	壮年	不明	不明		-	-	下位より46号墓検出
46	M144	土坑墓	男性	不明	不明	不明		釘	9.2	上位より45号墓検出 木製繊維
47	M13	土坑墓	女性	不明	不明	不明		-	-	
48	M8	土坑墓	男性	壮年	不明	不明		-	-	
49	M10	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		-	-	プラスチック製釘1点
50	M28	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		-	-	

遺構 番号	取上 番号	遺構	性別	年齢	埋葬姿勢	顔の向き	人骨備考	鉄製品		備考
								内容	重量 (g)	
51	M44	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		釘	3.6	
52	M12	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		-	-	
53	M59	土坑墓	-	-	-	-	人骨なし	-	-	
54	M139	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		釘	1.4	
55	M138	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		釘	2.3	
56	M137	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		釘	8.4	
57	M48	土坑墓	-	-	-	-	人骨なし	-	-	
58	M46	土坑墓	男性	壮年	不明	不明		釘	9.2	
59	M43	土坑墓	男性	不明	坐位	西		釘	0.8	土坑下場記録なし
60	M41	土坑墓	男性	不明	坐位	北		釘	3.3	
61	M11	土坑墓	男性	壮年	不明	不明		釘	1.7	炭化物
62	M123	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		釘	1.8	
63	M116	土坑墓	男性	壮年	坐位	南西		釘	6.0	
64	M105	土坑墓	男性	壮年	坐位	南西		-	-	
65	M47	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		-	-	
66	M45	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		-	-	
67	M42	土坑墓	男性	熟年	坐位	南西		釘	4.3	木製繊維 炭化物
68	M40	土坑墓	男性	成年	坐位	西	骨端分離	釘	1.6	
69	M121	土坑墓	男性	壮年	不明	不明		釘	6.7	
70	M49	土坑墓	女性	壮年	坐位	東		釘	2.3	
71	M117	土坑墓	女性	不明	坐位	北西		釘	7.5	上位より4号墓検出
72	M106	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		釘	3.1	
73	M33	土坑墓	男性	不明	不明	不明		釘	16.8	
74	M24	土坑墓	男性	壮年	坐位	北		-	-	
75	M6	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		釘	8.0	
76	M25	土坑墓	男性	壮年	不明	不明		-	-	
77	M130	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		-	-	
78	M119	土坑墓	男性	壮年	坐位	北		-	-	
79	M107	土坑墓	男性	壮年	坐位	南		-	-	
80	M37	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		釘	1.4	
81	M32	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		釘	8.7	
82	M21	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		釘	10.4	
83	M50	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		-	-	人骨下部より木質の繊維検出
84	M51	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		-	-	人骨下部より木質の繊維検出
85	M136	土坑墓	男性	熟年	不明	不明		釘	3.1	
86	M110	土坑墓	女性	壮年	坐位	南東		-	-	「大正九年」一銭
87	M114	土坑墓	男性	熟年	坐位	南西		釘	2.7	
88	M34	土坑墓	男性	不明	坐位	西		-	-	
89	M4	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		釘	4.8	
90	M3	土坑墓	男性	壮年	坐位	北西		釘	0.7	鉄袋の中に人骨
91	M27	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		釘	2.8	
92	M63	土坑墓	男性	壮年	坐位	南西		-	-	プラスチック製釘1点, 木片
93	M29	土坑墓	男性	不明	不明	不明		-	-	
94	M5	土坑墓	男性	不明	不明	不明		釘	1.4	鉄袋の中に人骨
95	M122	土坑墓	男性	不明	不明	不明		釘	2.6	
96	M109	土坑墓	不明	不明	不明	不明	骨片, 焼骨あり	-	-	改葬か
97	M108	土坑墓	男性	不明	不明	不明	骨片のみ	-	-	改葬か 上位より7号墓検出
98	M35	土坑墓	女性	熟年	坐位	南東		-	-	
99	M20	土坑墓	男性	壮年	不明	不明		-	-	
100	M64	土坑墓	女性	不明	坐位	南		釘	0.9	プラスチック製釘1点, 木片
101	M150	土坑墓	男性	不明	不明	不明		-	-	
102	M140	土坑墓	男性	壮年	坐位	北		板状製品	150.0	上位より8号墓検出
103	M142	土坑墓	男性	不明	不明	不明		-	-	上位より9号墓検出
104	M19	土坑墓	男性	不明	坐位	東		-	-	
105	M148	土坑墓	不明	不明	不明	不明	骨片, 火葬骨のみ	-	-	改葬か
106	M149	土坑墓	不明	不明	不明	不明	歯, 骨片のみ	-	-	改葬か
107	M104	土坑墓	男性	熟年	坐位	東		-	-	
108	M147	土坑墓	男性	不明	不明	不明		釘	85.5	
109	M141	土坑墓	男性	不明	不明	不明		釘, 板状製品	675.0	土坑埋土上層より板状鉄製品など

遺構番号	取上番号	遺構	性別	年齢	埋葬姿勢	顔の向き	人骨備考	鉄製品		備考
								内容	重量(g)	
110	M98	土坑墓	不明	不明	不明	不明	大腿骨・尺骨・骨片のみ	板状製品	27.4	改葬か
111	M17	土坑墓	男性	熟年	坐位	北東		釘	2.3	炭化物
112	M1	土坑墓	男性	壮年	坐位	南		釘, 缶	344.0	陶器瓶2点 ハマグリ5点 缶1点 120号墓を切る
113	M127	土坑墓	男性	熟年	坐位	北		釘	72.5	上位より10号墓検出
114	M135	土坑墓	男性	不明	不明	不明		-	-	
115	M129	土坑墓	男性	熟年	坐位	東		釘	18.6	板状銅製品
116	M133	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		-	-	
117	M156	土坑墓	男性	不明	不明	不明		-	-	
118	M155	土坑墓	不明	不明	不明	不明	歯, 骨片のみ	-	-	改葬か
119	M26	土坑墓	男性	熟年	坐位	東		釘	3.2	ガラス製薬瓶1点
120	M65	土坑墓	男性	熟年	坐位	東		釘, 板状製品	48.8	112号墓に切られる
121	M126	土坑墓	男性	熟年	坐位	東		-	-	
122	M132	土坑墓	男性	壮年	坐位	南		-	-	人骨歯
123	M128	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		釘	26.6	泥面子 炭化物
124	M124	土坑墓	男性	不明	坐位	南		-	-	
125	M97	土坑墓	男性	不明	不明	不明		-	-	
126	M99	土坑墓	男性	不明	坐位	北東		-	-	
127	M95	土坑墓	男性	壮年	坐位	東		板状製品	6.7	
128	M74	土坑墓	男性	壮年	坐位	西		-	-	
129	M152	土坑墓	男性	壮年	坐位	北西		-	-	
130	M118	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		-	-	
131	M120	土坑墓	男性	不明	坐位	北		-	-	
132	M154	土坑墓	不明	不明	不明	不明	尺骨, 骨片のみ	-	-	改葬か 上位より12号墓検出
133	M96	土坑墓	女性	熟年	不明	不明		釘	1.2	
134	M112	土坑墓	女性	不明	不明	不明		-	-	
135	M111	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		-	-	
136	M103	土坑墓	男性	不明	不明	不明		-	-	
137	M113	土坑墓	不明	不明	不明	不明	骨片のみ	-	-	改葬か
138	M100	土坑墓	男性	不明	不明	不明		-	-	
139	M102	土坑墓	男性	不明	坐位	東		-	-	
140	M72	土坑墓	男性	不明	坐位	東		-	-	
141	M69-A	土坑墓	男性	不明	坐位	北		釘, 板状製品	2.3	
142	M62	土坑墓	男性	壮年	坐位	南西		-	-	
143	M54	遺物集中区	-	-	-	-	人骨なし	釘, 缶	342.0	ガラス製品2点 下位より13号墓検出
144	M67	攪乱土	男性	不明	-	-		-	-	遺構位置記録なし
145	M101	土坑墓	男性	不明	坐位	東	頭蓋と下肢骨なし	-	-	遺構位置記録なし
146	M151	攪乱土	不明	不明	不明	不明	骨片のみ	-	-	遺構位置記録なし

※表中の「取上番号」は現場での人骨の取り上げ番号である。保管されている人骨の整理番号や遺物の注記番号はこちらに対応している。「遺構番号」は整理作業後に付した番号である。報告書にはこちらの番号で記載している。

※表の人骨の所見は松下孝幸・松下真実による。鉄製品と備考は山野、柴田による。

表7 1309調査地点出土遺物一覧表

区	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
10	1	土師器	壺(身)	口径 19.5 底径 17.8 器高 19.0	一部欠損	内:回転ナデ 外:型づくり, ケズリ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR8/4	1号墓	型づくり部分に雲母の粉付着 外面に型づくりの繋ぎ目が残る
	2	土師器	壺(蓋)	口径 31.3 天井径28.1 器高 5.9	一部欠損	内:回転ナデ 外:回転ナデ 天井部未調整	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR6/6	2号墓	掘み貼り付け 天井部外面にスタレ状圧痕あり
	3	土師器	壺(身)	口径 26.0 底径 24.0 器高 26.4	完形	内:回転ナデ, 指オサエ, ナデ 外:型づくり, ケズリ後 ナデ, 底部未調整	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 10YR6/4	2号墓	型づくり部分に雲母の粉付着 内外面に型づくりの繋ぎ目が残る 外面に板状工具痕
	4	土師器	壺(蓋)	口径 29.9 天井径27.5 器高 4.3	ほぼ完形	内:回転ナデ 外:回転ナデ, ケズリ, 天井部未調整	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	3号墓	掘み貼り付け
	5	土師器	壺(身)	口径 26.2 底径 24.4 器高 26.5	完形	内:回転ナデ 外:型づくり, 回転ナデ, ケズリ, 底部未調整	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	3号墓	型づくり部分に雲母の粉付着 外面の一部に粘土の繋ぎ目と型づく りの繋ぎ目が残る
	6	土師器	壺(蓋)	口径 30.0 天井径26.8 器高 6.0	半欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ, ケズリ, ハケ目, 櫛目, 天井 部未調整	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR6/4	4号墓, 5号墓 腐土一括	櫛目後掘み貼り付け
	7	土師器	壺(身)	口径 24.5 底径 24.9 器高 27.1	一部欠損	内:回転ナデ 外:型づくり, 回転ナデ, ヘラ状工具痕, 横ナ デ	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR7/4	4号墓	内部底に鉄釘が付着 外面に型づくりの繋ぎ目が残る
	8	土師器	壺(蓋)	口径 28.7 天井径24.5 器高 4.3	半欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ, ケズリ, 櫛目, 天井部未調整	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 10YR7/4	5号墓	櫛目後掘み貼り付け
	9	土師器	壺(蓋)	口径 32.4 天井径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ, ケズリ, 天井部未調整	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	6号墓, 腐土一 括	
	10	土師器	壺(身)	口径 21.4 底径 器高	半欠	内:回転ナデ, ナデ, 工 具痕 外:ナデ, ケズリ, 底部 未調整, 棒状工具痕	内: Hue 10YR8/3 外: Hue 2.5Y7/4	5号墓	底部に棒状工具痕跡残る 内面下部に工具痕跡残る
11	11	土師器	壺(身)	口径 15.7 底径 器高	半欠	内:回転ナデ 外:型づくり, ケズリ後 ナデ, 底部指オサエ, 未調整, ナデ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR7/4	7号墓	松岩波文様 型づくり部分に雲母の粉付着 底部に繊維痕・方形圧痕あり 外面に型づくりの繋ぎ目が残る
	12	土師器	壺(蓋)	口径 20.8 天井径17.8 器高 4.0	完形	内:回転ナデ 外:回転ナデ, ケズリ, 天井部未調整	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	8号墓 No2	掘み貼り付け 天井部外面にスタレ状圧痕あり
	13	土師器	壺(身)	口径 16.5 底径 15.8 器高 17.8	ほぼ完形	内:回転ナデ, ナデ 外:型づくり, 回転ナデ, ケズリ, ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	9号墓	松岩波文様 型づくり部分に雲母の粉付着 外面の一部に粘土の繋ぎ目と型づく りの繋ぎ目が残る
	14	土師器	壺(蓋)	口径 17.7 天井径 器高	天井部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 櫛目, 天 井部未調整	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	10号墓	櫛目後掘み貼り付け
	15	土師器	壺(身)	口径 19.1 底径 器高	半欠	内:回転ナデ, 底部中央ナデ 外:ケズリ後回転ナデ	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR5/4	10号墓	底部外面にケズリ残る 底部外面に4ヶ所方形圧痕あり
12	16	土師器	壺(蓋)	口径 21.5 天井径 器高 4.3	ほぼ完形	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 天井部 未調整	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	11号墓 No11・ 12	櫛目後掘み貼り付け 天井部外面にスタレ状圧痕あり
	17	土師器	壺(身)	口径 17.2 底径 15.1 器高 17.5	ほぼ完形	内:回転ナデ 外:型づくり, 回転ナデ, ケズリ, 底部未調整 一部指オサエ	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/4	11号墓 No2・4・ 6・8・10・14・ 19・22~25・一 括	松岩波文様 型づくり部分に雲母の粉付着 外面に型づくりの繋ぎ目が残る
	18	土師器	壺(蓋)	口径 21.3 天井径17.7 器高 4.0	完形	内:回転ナデ 外:回転ナデ, ケズリ 天井部未調整	内: Hue 7.5YR5/4 外: Hue 7.5YR5/4	11号墓	掘み貼り付け 天井部外面にスタレ状圧痕あり
	19	土師器	壺(身)	口径 16.9 底径 15.9 器高 17.2	ほぼ完形	内:回転ナデ 外:型づくり, 回転ナデ, ケズリ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/3	11号墓 No3・ 17・18・一括	松岩波文様 型づくり部分に雲母の粉付着 外面に型づくりの繋ぎ目が残る
	20	土師器	壺(蓋)	口径 21.0 天井径17.9 器高 3.9	ほぼ完形	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 天井部 未調整	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 7.5YR7/4	11号墓 No21	掘み貼り付け 天井部外面にスタレ状圧痕あり
	21	土師器	壺(身)	口径 17.3 底径 15.8 器高 17.3	完形	内:回転ナデ 外:型づくり, ケズリ, 指オサエ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 10YR5/4	11号墓 No15	松岩波文様 型づくり部分に雲母の粉付着 外面口縁部付近に型づくりの繋ぎ 目が残る
13	22	土師器	壺(蓋)	口径 24.4 天井径22.3 器高 4.0	一部欠損	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 櫛目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	12号墓	櫛目後掘み貼り付け
	23	土師器	壺(身)	口径 18.9 底径 18.0 器高 20.7	一部欠損	内:回転ナデ, 底部指オ サエ 外:回転ナデ, ヘラ状工 具痕, ケズリ後粗い ナデ, 底部未調整	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR5/6	12号墓	底部外面にスタレ状圧痕あり
	24	土師器	壺(蓋)	口径 21.4 天井径 器高	天井部片	内:回転ナデ, ナデ 外:回転ナデ, 天井部 未調整	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR6/3	12号墓	掘み貼り付け
	25	土師器	壺(蓋)	口径 25.2 天井径21.4 器高 15.2	一部欠損	内:回転ナデ 外:回転ナデ, ケズリ, 櫛目, 天井部未調整	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR6/4	12号墓	櫛目後掘み貼り付け 天井部外面にスタレ状圧痕あり 隣刻:「八」の上に「正」の逆字

熊本市中央区黒髪町遺跡群1309調査地点出土の近代人骨

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
13	26	土師器	壺(身)	口径 20.7 底径 18.6 器高 20.9	ほぼ完形	内:回転ナデ, 工具痕 外:回転ナデ, ケズリ, ヘラ状工具痕, 底部 中央未調整	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/6	12号墓	内面に工具痕残る 円線文, 陰刻:「政」
	27	土師器	壺(身)	口径 21.7 底径 20.2 器高 21.1	一部欠損	内:回転ナデ 外:回転ナデ, ケズリ, ヘラ状工具, 底部未 調整	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	12号墓	
	28	土師器	壺(身)	口径 24.6 底径 23.8 器高 28.9	ほぼ完形	内:回転ナデ, 斜位のナデ 工具痕 外:回転ナデ, ヘラ状工 具痕	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	12号墓	側面底部は接合痕あり 底部外面にスタレ状圧痕あり
	29	土師器	壺(身)	口径 26.0 底径 24.2 器高 30.1	ほぼ完形	内:回転ナデ, 斜位のナデ ナデ, ヘラ状工具痕 外:回転ナデ, ヘラ状工 具痕, 底部未調整	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 10YR6/4	12号墓	底部外面にスタレ状圧痕あり
14	30	陶器	壺(蓋)	口径 12.5 底径 器高	半欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5YR4/1 外: Hue 5Y4/1 Hue 5Y8/2	廃土一括	撮み部と縁部の2片が同一個体 外面に白泥をハケ塗り(回転)
	31	陶器	壺(身)	口径 14.3 底径 12.0 器高 26.5	一部欠損	内:回転ナデ, カキ目, 施軸 外:回転ナデ, タタキ? 施軸 底部:回転糸切り離し	内: Hue 7.5YR3/2 外: Hue 5YR5/2 Hue 2.5YR3/2	8号墓, 95号墓 上層, 廃土一括	横線文(白泥かき取り), 波文(白 泥と白泥かき取り) 底部外面と口縁部に砂目付着
	32	陶器	壺(身)	口径 8.2 底径 器高 (4.7)	底部片	内:回転ナデ, 施軸 外:回転ナデ, ケズリ出し 施軸	内: Hue 2.5Y7/4 外: Hue 2.5Y7/4	13号墓	
	33	陶器	瓶	口径 3.7 底径 7.0 器高 18.75	完形	内:回転ナデ 外:回転ナデ, タタキ状痕 高台ケズリ出し	内: Hue 7.5YR3/3 外: Hue 7.5YR3/3 Hue 2.5Y6/2	112号墓	鉄軸の後灰色釉をハケ塗りし, 肩 部に白泥の流し掛け 高台に2カ所半月上の挟りあり 底部に砂目付着
	34	陶器	瓶	口径 3.5 底径 6.6 器高 18.5	完形	内:回転ナデ 外:回転ヘラケズリ, 施軸 底部ケズリ出し	内: Hue 7.5YR3/2 外: Hue 2.5GY6/1	112号墓	施軸 底部に砂目付着
	35	ガラス製品	ワイン瓶	口径 6.2 底径 器高	ほぼ完形	内: 外:	内: Hue 7.5Y4/3 外: Hue 7.5Y4/3	42号墓	宙吹き技法(気泡が入る) 頸部に鉄錆のような痕跡あり 内面に内容物の痕跡あり
	36	ガラス製品	薬瓶	口径 3.2 底径 7.0 器高 18.8	ほぼ完形	内: 外:	内: ブルー 外: ブルー	119号墓	機械製瓶(若干の気泡あり) 肩部付近に合わせ目あり 底部付近に接着剤の痕跡あり
	37	ガラス製品	薬瓶	口径 3.0 底径 10.15 器高 14.3	完形	内: 外:	内: Hue 7.5YR5/8 外: Hue 7.5YR5/8	143号墓	全体に多く気泡を含む 頸部時計回りに渦巻き状スジ 底部に陽刻:「S」
38	ガラス製品	瓶蓋	長さ 4.10 幅 1.85 厚さ 1.05	完形	内: 外:	内: Hue 10G1.7/1 外: Hue 10G1.7/1	143号墓	鉄付着	
15	39	磁器	碗	口径 器高 (4.05)	口縁部片	内:施軸 外:施軸	内: Hue 5GY8/1 外: Hue 5GY8/1	19号墓	肥前系, 染付け 内面:帯文 外面:圏線・楓文?
	40	磁器	碗	口径 器高	口縁部片	内:施軸 外:施軸	内: Hue 10Y8/1 外: Hue 10Y8/1	99号墓	銅板刷り, 袖下彩(桃色) 外面:梅花文
	41	陶器	缸皿	口径 4.7 底径 1.4 器高 1.7	半欠	内:型起こし? 外:型起こし	内: Hue 10Y8/1 外: Hue 2.5Y8/3 Hue 10Y8/1	164号皿	内面から外面上半に施軸(白釉) 貫入あり
	42	磁器 色絵	杯	口径 7.1 底径 2.4 器高 2.7	完形	内:施軸, 絵付け 外:施軸, 高台底に一部 青色部あり	内: Hue 10Y9/1 外: Hue 10Y9/1	42号墓	色絵(金・青・黒・赤) 内面:山と花文, 文字「天下春」 「一〇」
	43	磁器 色絵	小碗	口径 (8.15) 底径 3.05 器高 3.5	半欠	内:施軸, 絵付け 外:施軸, 絵付け	内: Hue N8/0 外: Hue N8/0	43号墓	色絵(赤・青・緑) 外面:草文 内面:不明
	44	磁器	碗	口径 4.8 底径 器高	底部片	内:施軸 外:施軸	内: Hue 5GY8/1 外: Hue 5GY8/1	67号墓	染付け 内面:一重網目文 外面:二重網目文
	45	磁器	碗	口径 4.9 底径 器高 (3.1)	底部片	内:施軸 外:施軸	内: Hue 5GY8/1 外: Hue 5GY8/1	84号墓	染付け 内面:圏線, 波文 外面:圏線
	46	磁器	碗?	口径 2.2 底径 器高	底部片	内:施軸 外:施軸	内: Hue 5GY8/1 外: Hue 5GY8/1	167号皿	染付け 外面:圏線, 草文
	47	土師器	小皿	口径 器高	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 回転糸切 り離し	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	20号墓	
	48	土師器	小皿	口径 6.1 底径 4.0 器高 1.1	口縁部~ 底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 回転糸切 り離し	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	27号墓	口縁の一部にスス付着
	49	土師器	小皿	口径 3.3 底径 器高 (1.3)	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 回転糸切 り離し	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	39号墓 1層	内面中心部に重ね焼きの粘土痕あり
	50	土師器	小皿	口径 5.8 底径 3.7 器高 0.9	半欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 回転糸切 り離し	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	75号墓	
	51	縄文土器	鉢?	口径 器高 (4.0)	口縁部片	内:ミガキ 外:ミガキ	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR7/3	94号墓	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
15	52	磁器	碗	口径 9.0 底径 4.2 器高 5.1	半 欠	内：施釉 外：施釉	内：Hue 5GY8/1 外：Hue 5GY8/1	廃土一括	染付け 外面：草文 接合痕跡あり
	53	磁器	碗	口径 8.0 底径 3.4 器高 4.6	完 形	内：施釉 外：施釉	内：白色 外：白色	廃土一括	スクリーン印刷 (コバルト) 外面：梅花文、文字「孝山」
	54	磁器	碗	口径 9.2 底径 3.2 器高 4.2	半 欠	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	攪乱	1940年代子ども用茶碗 外面：ゼロ戦と大砲、圏線
	55	磁器	碗	口径 4.2 底径 器高	底部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue 25GY8/1 外：Hue 25GY8/1	清掃一括	肥前系 内面：菊花文、二重線、圏線 外面：二重割目文、コシニヤク文
	56	陶器	碗?	口径 3.85 底径 器高	底部片	内： 外：回転ナデ、ケズリ	内：Hue 10YR5/6 外：Hue 10YR7/4	廃土一括	
	57	磁器	皿	口径 12.9 底径 7.5 器高 2.6	ほぼ完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	112号墓、攪乱	色絵(緑、青、白、赤、黒) 内面：草花文、文字「秀口」
	58	磁器	皿	口径 (12.0) 底径 (6.0) 器高 3.0	口縁部 - 底部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue 5GY8/1 外：Hue 5GY8/1	廃土一括	肥前系、染付け 内面：圏線、草花文 外面：唐草文
	59	磁器	皿	口径 18.2 底径 13.1 器高 3.5	口縁部 - 底部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue 白色 外：Hue 白色	攪乱	肥前系、染付け 内面：雲文 外面：圏線、草花文、波文
	60	陶器	大皿	口径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y5/1	廃土一括	肥前系、二鳥手 口縁部内面白泥象嵌 内面：刺菱文
	61	陶器	小皿	口径 8.4 底径 3.0 器高 2.25	口縁部 - 底部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue 7.5Y4/3 外：Hue 7.5Y4/3	廃土一括	肥前系か熊本、白土象嵌 内面：桜花文と渦文
	62	陶器	火入	口径 5.6 底径 6.3 器高	ほぼ完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ、ケズリ	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR8/4	廃土一括	外面2/3程に白色釉
	16	63	土製品 (磁器転用)	破片面子	長さ 1.9 幅 2.05 厚さ 0.55	胴部片	内： 外：	内：Hue 10Y8/1 外：Hue 10Y8/1	35号墓
64		土製品 (磁器転用)	破片面子	長さ 1.8 幅 2.0 厚さ 0.3	口縁部片	内： 外：	内：Hue 10Y8/1 外：Hue 10Y8/1	68号墓	重量 1.8g
65		土製品 (磁器転用)	破片面子	長さ 1.85 幅 1.85 厚さ 0.28	胴部片	内： 外：	内：Hue 10Y8/1 外：Hue 10Y8/1	廃土一括	重量 1.6g
66		土製品 (磁器転用)	破片面子	長さ 1.65 幅 1.75 厚さ 0.3	胴部片	内： 外：	内：Hue 10Y8/1 外：Hue 10Y8/1	清掃一括	重量 1.3g
67		土製品 (磁器転用)	破片面子	長さ 2.45 幅 2.85 厚さ 0.5	胴部片	内： 外：	内：Hue 10Y8/1 外：Hue 10Y8/1	36号墓	重量 4.9g
68		土製品 (陶器転用)	破片面子	長さ 2.45 幅 2.65 厚さ 1.25	胴部片	内： 外：	内：Hue 10YR3/3 外：Hue 10YR3/4	40号墓	重量 12.2g
69		土製品 (陶器転用)	破片面子	長さ 2.1 幅 1.9 厚さ 0.9	胴部片	内： 外：	内：Hue 10YR6/3 外：Hue 5Y8/2	42号墓	重量 6.2g
70		土製品 (須恵質土器転用)	破片面子	長さ 2.25 幅 2.45 厚さ 0.65	胴部片	内： 外：	内：Hue 2.5Y6/2 外：Hue 2.5Y6/3	43号墓	重量 5.3g
71		土製品 (陶器転用)	破片面子	長さ 2.35 幅 2.75 厚さ 0.95	胴部片	内： 外：	内：Hue 5B3/1 外：Hue 5Y6/2	75号墓	重量 8.2g
72		土製品 (陶器転用)	破片面子	長さ 2.4 幅 2.15 厚さ 0.75	胴部片	内： 外：	内：Hue 10YR2/1 外：Hue 10YR2/2	85号墓	重量 5.3g
73		土製品 (陶器転用)	破片面子	長さ 2.55 幅 2.85 厚さ 1.25	胴部片	内： 外：	内：Hue 7.5YR5/2 外：Hue 7.5YR8/1	112号墓	重量 13.6g
74		土製品 (陶器転用)	破片面子	長さ 1.95 幅 1.95 厚さ 0.75	胴部片	内： 外：	内：Hue 2.5Y7/2 外：Hue 2.5Y7/2	158号墓	重量 3.9g
75		土製品 (陶器転用)	破片面子	長さ 2.05 幅 2.2 厚さ 0.6	胴部片	内： 外：	内：Hue 10YR5/3 外：Hue 10YR5/3	166号墓	重量 4.9g
76		土製品 (陶器転用)	破片面子	長さ 2.3 幅 2.25 厚さ 0.85	胴部片	内： 外：	内：Hue 7.5YR2/1 外：Hue 10YR3/3	171号墓	重量 5.5g
77		土製品 (陶器転用)	破片面子	長さ 3.1 幅 2.9 厚さ 0.65	胴部片	内： 外：	内：Hue 2.5Y6/2 外：Hue 10YR3/3	172号墓	重量 8.9g
78		土製品 (陶器転用)	破片面子	長さ 3.4 幅 2.8 厚さ 0.75	胴部片	内： 外：	内：Hue 2.5Y5/3 外：Hue 5YR5/2	廃土一括	重量 10.2g
79		土製品 (播鉢転用)	破片面子	長さ 3.7 幅 3.25 厚さ 0.75	胴部片	内： 外：	内：Hue 7.5YR2/1 外：Hue 7.5YR2/2	22号墓	重量 12.6g

熊本市中央区黒髪町遺跡群1309調査地点出土の近代人骨

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
16	80	土製品 (摺鉢転用)	破片面子	長さ 2.05 幅 2.4 厚さ 0.5	胴部片	内: 外:	内: Hue 7.5YR5/2 外: Hue 5YR5/2	75号墓	重量 4g
	81	土製品 (摺鉢転用)	破片面子	長さ 2.6 幅 2.8 厚さ 0.7	胴部片	内: 外:	内: Hue 5YR5/2 外: Hue 2.5YR5/3	69号墓	重量 6.2g
	82	土製品 (陶器転用)	破片面子	長さ 2.15 幅 2.15 厚さ 0.45	胴部片	内: 外:	内: Hue 2.5Y7/2 外: Hue 2.5Y7/2	清掃一括	重量 2.9g
	83	土製品 (陶器転用)	破片面子	長さ 1.95 幅 1.9 厚さ 0.65	胴部片	内: 外:	内: Hue 10YR3/3 外: Hue 10YR7/1	清掃一括	重量 3.8g
	84	ガラス製品	破片面子	長さ 2.45 幅 1.9 厚さ 0.45	胴部片	内: 外:	内: Hue 7.5Y4/3 外: Hue 7.5Y4/3	192号款	重量 4g
	85	土製品	泥面子	長さ 2.0 幅 2.0 厚さ 0.8	半欠	背面: 指ナデ 表面: 型打ち	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 7.5YR7/4	123号墓	重量 3g
17	86	土師質	用途不明品	長さ 3.0 幅 2.95 厚さ 1.15	完形	内: 裏面中心部に孔 外: 工具による成形	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	廃土一括	花模様 裏面に孔, 指頭圧痕と爪跡あり
	87	石製品	用途不明品	長さ (2.3) 幅 (3.1) 厚さ (1.8)	破片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	112号墓	重量 23g 2ヶ所穿孔が見られる 欠損の為用途不明
	88	黒曜石	剥片	長さ 2.9 幅 2.3 厚さ 1.3	不明	内: 外:	内: Hue 外: Hue	172号款	重量 8.1g
	89	磁器	磚管	長さ 4.2 幅 2.3 厚さ 0.3	完形	内: 外:	内: Hue N8/0 外: Hue N8/0	99号墓	重量 9.9g
	90	プラスチック製品	櫛	長さ 6.05 幅 2.3 厚さ 0.25	半欠	内: 外:	内: Hue 10YR5/6 外: Hue 10YR5/6	廃土一括	重量 4g
	91	プラスチック製品	釦	長さ 1.0 幅 1.0 厚さ 0.25	完形	内: 外:	内: Hue N8/0 外: Hue N8/0	19号墓	重量 0.5g 同形状が他2点
	92	プラスチック製品	釦	長さ 1.15 幅 1.15 厚さ 0.3	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	49号墓	重量 0.4g
	93	プラスチック製品	釦	長さ 1.38 幅 1.38 厚さ 0.35	完形	内: 外:	内: Hue N8/0 外: Hue N8/0	92号墓	重量 0.9g
	94	プラスチック製品	釦	長さ 1.35 幅 1.35 厚さ 0.3	完形	内: 外:	内: Hue N8/0 外: Hue N8/0	100号墓	重量 0.8g
	95	貝製品	釦	長さ 1.45 幅 1.45 厚さ 0.35	ほぼ完形	内: 外:	表: Hue 10YR8/4 裏: Hue 10YR8/2	71号墓	重量 0.5g
	96	銅製品	板状製品	長さ 4.8 幅 3.2 厚さ 0.1	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	115号墓	重量 6.8g 陰刻「七七」 上下2ヶ所に孔
	97	青銅製品	銭	長さ 4.9 幅 3.3 厚さ 0.25	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	16号墓	重量 19.6g 「天保通寶」
	98	青銅製品	銭	長さ 2.4 幅 2.4 厚さ 0.1	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	21号墓	重量 2.8g 「寛永通寶」
	99	青銅製品	銭	長さ 2.3 幅 2.3 厚さ 0.1	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	86号墓	重量 3.6g 「大日本」「大正九年」「一銭」
18	100	鉄製品	和釘 (舟釘)	長さ 9.9 幅 1.7 厚さ 0.3	ほぼ完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	17号墓	重量 24g
	101	鉄製品	和釘	長さ 7.65 幅 0.45 厚さ 0.35	一部欠損	内: 外:	内: Hue 外: Hue	15号墓	重量 4.9g
	102	鉄製品	和釘 (頭巻釘)	長さ 5.25 幅 0.5 厚さ 0.4	一部欠損	内: 外:	内: Hue 外: Hue	24号墓	重量 4.1g
	103	鉄製品	和釘 (平頭釘)	長さ 4.35 幅 1.25 厚さ 0.45	半欠	内: 外:	内: Hue 外: Hue	164号款	重量 4.6g
	104	鉄製品	洋釘	長さ 6.4 幅 0.55 厚さ 0.55	ほぼ完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	113号墓	重量 1.9g
19	105	鉄製品	棒状製品	長さ 12.2 幅 0.6 厚さ 0.6	完形 (変形)	内: 外:	内: Hue 外: Hue	112号墓	縦縫付着, 裏側に木質付着 重量 23.0g
	106	鉄製品	缶	口径 19.8 底径 19.7 器高 5.8	半欠	内: 外:	内: Hue 外: Hue	112号墓	縦縫付着, 木質付着 重量 145g
	107	鉄製品	缶	口径 19.8 底径 19.7 器高 5.8	半欠	内: 外:	内: Hue 外: Hue	143号墓	重量 98.0g

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
19	108	鉄製品	缶	口径 底径 8.0 器高	底部片	内: 外:	内:Hue 外:Hue	143号墓	重量 99.0 g
	109	鉄製品	鎖?	長さ 6.8 幅 3.5 厚さ 0.5	ほぼ完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	6号墓	重量 10.4 g
	110	鉄製品	缶	長さ 17.0 幅 11.7 厚さ 0.8	不明	内: 外:	内:Hue 外:Hue	109号墓上層	重量 115.0 g
20	111	鉄製品	板状製品	長さ 1.9 幅 0.15	不明	内: 外:	内:Hue 外:Hue	109号墓上層	一部に別の鉄片が付着、繊維付着あり(残りは悪い) 重量 19.8 g
	112	鉄製品	板状製品	長さ 1.9 幅 0.2	不明	内: 外:	内:Hue 外:Hue	109号墓上層	内外に繊維付着、内側に別の鉄片付着 重量 36.4 g
	113	鉄製品	環状製品	長さ 10.5 幅 4.4 厚さ 2.9	ほぼ完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	109号墓上層	繊維付着 重量 78.5 g
	114	鉄製品	板状製品	長さ 42.5 幅 2.0 厚さ 0.2	不明	内: 外:	内:Hue 外:Hue	109号墓上層	全体を繊維製品で覆っている 重量 57.0 g
	115	鉄製品	板状製品	長さ 13.0 幅 2.1 厚さ 0.2	不明	内: 外:	内:Hue 外:Hue	109号墓上層	繊維付着 重量 33.4 g
	116	鉄製品	板状製品	長さ 2.0 幅 0.15	不明	内: 外:	内:Hue 外:Hue	109号墓上層	全体的に繊維付着 重量 23.2 g
	117	鉄製品	板状製品	長さ 20.8 幅 2.0 厚さ 0.13	不明	内: 外:	内:Hue 外:Hue	109号墓上層	全体的に繊維付着がみられる 重量 27.2 g
	118	ガラス製品	数珠玉	長さ 幅 厚さ	一部欠損	内: 外:	内:Hue 外:Hue	19号墓	黒玉97点、白玉8点以上(一部プラスチック製か) 重量 17.2 g
	119	具	ハマグリ		一部欠損	内: 外:	内:Hue 外:Hue	112号墓	5点(破片除く)、風化 重量 13.1 g
	120	石製品	玉		完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	155号畝	重量 4.4 g

Summary

In 1985, Kumamoto University planned a reconstruction of campus. But it was known that some of campus are designated as buried cultural assets zone. In the fiscal year 1994, Kumamoto University formed the Archaeological investigation committee and the Research Center for buried Cultural Properties in haste, and has been excavating the campus sites when the superannuated school buildings were rebuilt.

We have two main campus sites at other areas. The one is the Kurokami area where is constituted of faculty of Science and faculty of Engineering (south area) , faculty of Education, faculty of Law, and faculty of Letters (north area) ,and locates in Kurokamimachi site. The site is located at the foot of Mt.Tatuta on a low terrace formed by the Shirakawa River. The site is regarded as an ancient posting-station "Kokai". The other one is the Honjo area where is constituted of School of Medicine, Kumamoto University hospital and institutes (north and middle area), school of Health Science (south area), and belong to Honjo site. The site located on a low terrace formed by Shirakawa River, similar to Kurokamimachi site. It is 2km from Kurokamimachi site to Honjo site in a straight line.

In the circumstance of Honjo site, there are large ancient settlement sites like Oe site and Shinyashiki site. School of Pharmacy and Oe athletic field (Toroku area) belong to Oe site. Kyomachi area where is constituted Elementary School and Junior High School Attached to faculty of Education is belong to Kyomachidai site. The site is located on the Kyomachi plateau, and is famous for as the site of Yayoi period.

The result of the No.1309 in Kurokami South area where was investigated in the fiscal year 2013 is published in this report. No.1309 is located the edge of southwest in Kurokami South area. The investigated area is surrounded by the building of faculty of Engineering, such us Venture Laboratory, Shock Wave and Condensed Matter Research Building and Incubation Center. In a previous survey, we discovered the field and graves in Edo period and modern graves. So we expected that there will be remains what is good condition in this investigation too.

By the result of this survey, we discovered the field remains in Late Edo period in west of investigation area on about 2.5m under the ground. And, we found over 100 burial pits what is The Kumamoto Prison from middle Meiji period to about Taisho period in east of investigation area on the same level. The depth of burial pits is about 1.8m and was formed cylindrical shape, almost human bones was buried sitting down. The burial facility was not survived, but we could think there were troughs or wooden coffins because of the modern literature and discovered iron nails in some graves. More than 90% of the human bones were males, and females were less than 10%. We got some burial goods in the grave with human bone, for example, bottles made by glazed stoneware and the sake cup and glass bottles, coins, iron implements, shellfish, string of beads. These situations indicated that feature of graves of prisoner in modern. In Kurokami area, the grave of Kumamoto Prison had been operated from 1881 to 1972. While the area of Kumamoto University is expanding, the area of the grave was incorporated in 1972. Now, there is the temple of Kumamoto Prison what human bones were gathered at the south of the investigation area.

概 要

1985年，熊本大学曾计划过现在校园的重建开发项目。然而得知校园内几个地区是被指定的地下文物的埋藏地。1994年，熊本大学作为考古研究机构迅速成立了文物保护研究所，在重建老朽化建筑物时，对校园地下进行挖掘调查。

大学有两个主要的校区。第一个是属于黑发町遗迹群的黑发校区。黑发校区由教育学部、法学部、文学部（北地区）、工学部和理学部（南地区）组成。遗迹位于立田山的山脚下，在白川形成的低阶地位置，推断古代的车站「蚕养」站就是在这。

另一个是属于本庄遗迹群的本庄校区。本庄校区由熊本大学附属病院（北地区）、熊本大学医学部（中地区）、保健学科（南地区）组成。遗迹位于白川的低位阶地上，与黑发町遗迹群类似。黑发町遗迹群和本庄遗迹直线距离相隔2公里。本庄遗迹的周围有大江遗迹群和新屋敷遗迹，都是巨大的古代村落遗迹。熊本大学的药学部和运动场（渡鹿地区）都属于大江遗迹群。教育学部附属小学校和中学校所在地京町地区属于京町台遗迹群。遗迹是位于京町台地上，作为弥生时代的遗迹非常有名。

本报告书是记载了2013年度被调查的1309调查地点的挖掘调查成果。1309调查地点位于黑发南地区的南西端，是白川河堤自然堤防最突出的位置。调查地点周围是被冲击实验楼和工学部的设施等。在以往的调查中，从周边发现了江户时代的田地、墓穴和近代墓地。预计在这次的调查中，遗迹会保留的很好。

调查结果发现在离地表大约2.5米，在调查区西侧发现了被认为是近代后期的田地遗迹。另外在调查区东侧同一水平位置，发现了明治中期至大正时期的作为熊本监狱和监狱所墓地的100多座土坑墓地。土坑墓，深度约1.8米的圆柱状，大部分的人骨都是以已坐着状态被埋葬的。被发现的人骨90%以上都是男性，女性不到10%。发现墓地的随葬品有陶器瓶、瓷器杯、玻璃瓶、钱币、铁制品、念珠、贝壳等。从以上情况可以看出近代囚犯墓地的特征。熊本监狱、监狱所墓地的运营是从明治14年到昭和47年。在熊本大学不断扩大的过程中，昭和47年墓地占地被熊本大学收进。现在合葬墓也集聚在庙里，位于调查地点的南边。

写 真 图 版



写真1 近代土坑墓群検出状況（北より）



写真2 近世畑址検出状況（北より）



写真3 調査区南壁土層断面1 (北より)



写真4 調査区南壁土層断面2 (北より)



写真5 調査区南壁土層断面3 (北より)



写真6 松下孝幸先生指導風景



写真7 松下孝幸先生人骨取り上げ風景



写真8 1号墓藏骨器出土状况 (方位不明)



写真9 2号墓藏骨器出土状况 (方位不明)



写真10 3号墓藏骨器出土状况 (方位不明)



写真11 4号墓藏骨器出土状况 (方位不明)



写真12 5号墓藏骨器出土状况 (方位不明)



写真13 7号墓藏骨器出土状况 (方位不明)



写真14 9号墓藏骨器出土状况 (方位不明)



写真15 10号墓藏骨器出土状况 (方位不明)



写真16 11号墓蔵骨器出土状況（南より）



写真17 12号墓蔵骨器出土状況（北より）



写真18 13号墓蔵骨器出土状況（方位不明）



写真19 14号墓人骨出土状況（方位不明）



写真20 16号墓人骨出土状況（方位不明）



写真21 16号墓錢出土狀況 (方位不明)



写真22 17号墓人骨出土狀況 (方位不明)



写真23 18号墓人骨出土狀況 (方位不明)



写真24 19号墓人骨出土狀況 (方位不明)



写真25 20号墓人骨出土狀況 (方位不明)



写真26 21号墓人骨出土狀況 (方位不明)



写真27 22号墓人骨出土狀況 (方位不明)



写真28 24号墓人骨出土狀況 (方位不明)

图版6 1309调查地点



写真29 26号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真30 29号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真31 30号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真32 32号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真33 33号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真34 34号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真35 35号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真36 36号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真37 37号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真38 41号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真39 42号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真40 45号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真41 46号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真42 48号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真43 51号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真44 56号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真45 58号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真46 60号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真47 61号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真48 62号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真49 63号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真50 64号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真51 65号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真52 66号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真53 67号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真54 68号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真55 72号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真56 73号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真57 74号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真58 75号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真59 76号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真60 80号墓人骨出土状况 (方位不明)



写真61 81号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真62 82号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真63 83号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真64 83号墓繊維検出状況 (方位不明)



写真65 84号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真66 84号墓繊維検出状況 (方位不明)



写真67 85号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真68 96号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真69 109号墓鉄製品出土状況 (方位不明)



写真70 111号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真71 112号墓遺物出土状況 (方位不明)



写真72 115号墓青銅製品出土状況 (方位不明)



写真73 120号墓人骨出土状況 (方位不明)

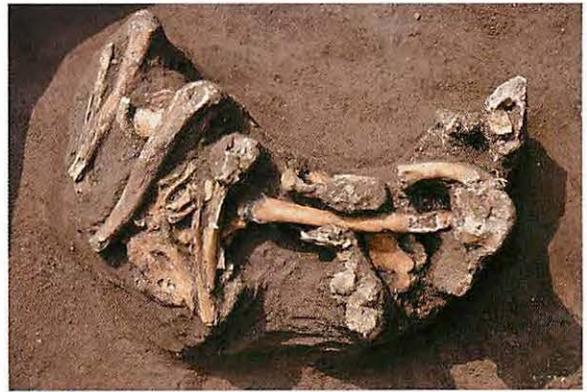


写真74 136号墓人骨出土状況 (方位不明)



写真75 142号墓人骨出土状況 (方位不明)



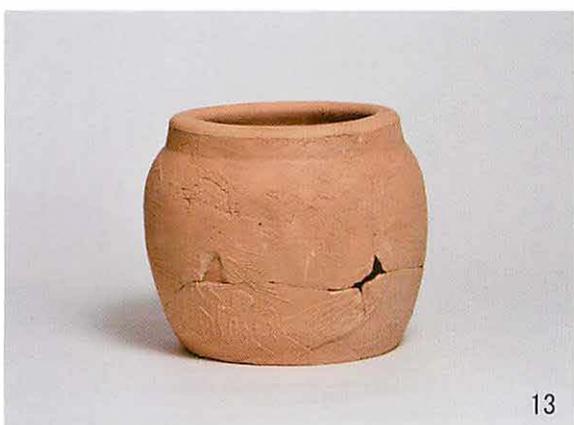
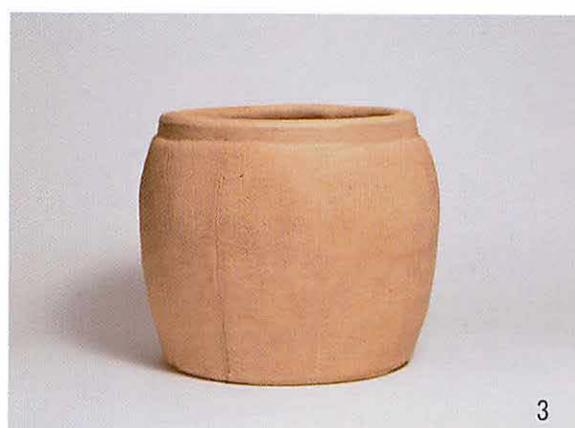
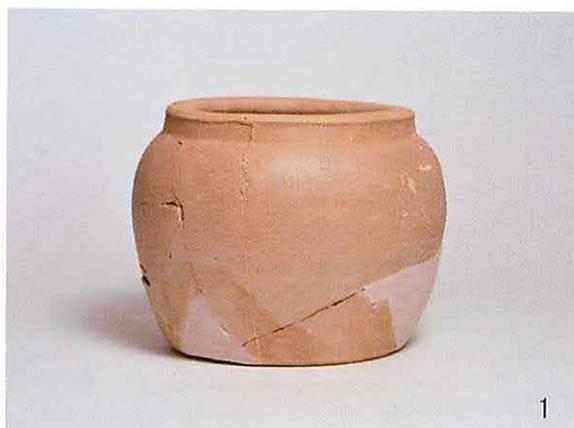
写真76 143号墓鉄製品出土状況 (方位不明)



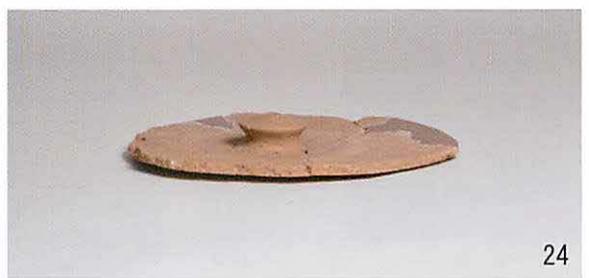
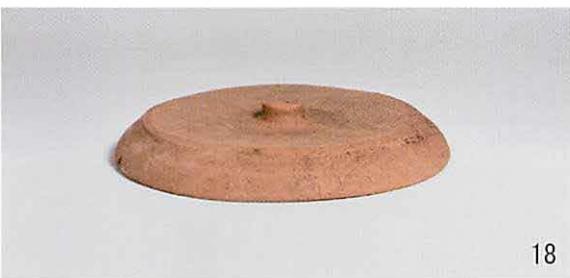
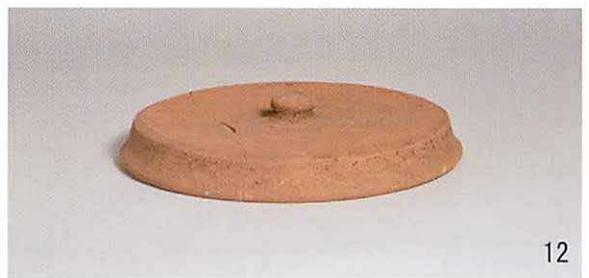
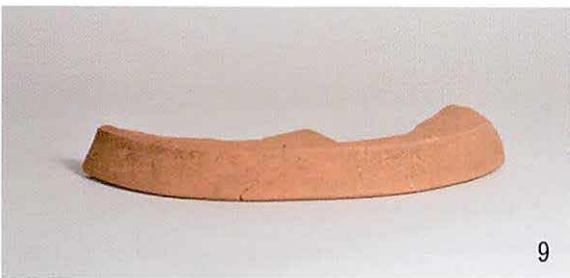
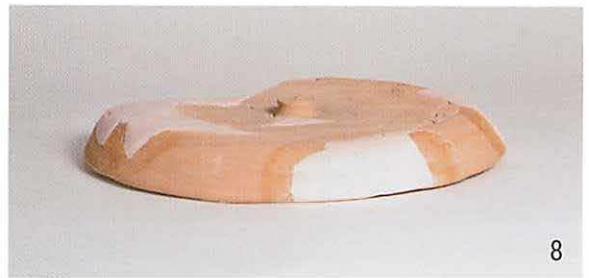
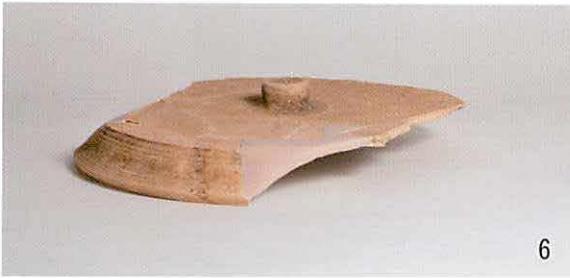
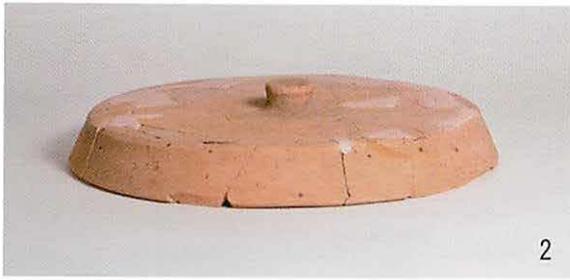
写真77 近代土坑墓検出状況（南より）



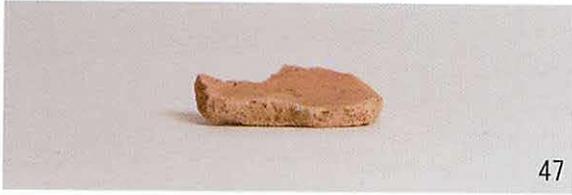
写真78 調査区南壁土層断面（北より）











47



48



49



50



39

40

41

42

44

45

56

51

43

46

52

53

54

55

57

58

59

61

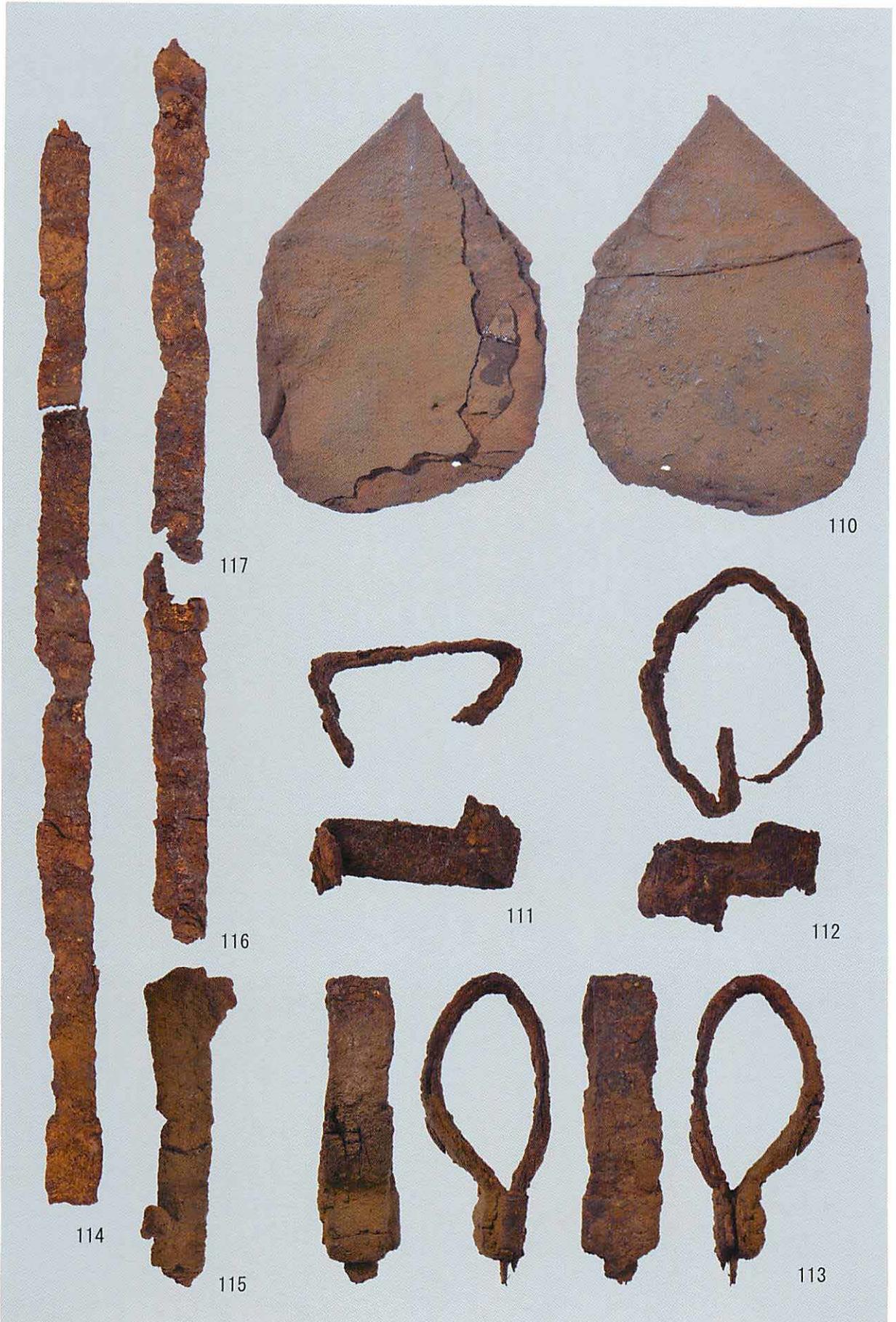
60

62









報告書抄録

ふりがな	くまもとだいがくこうないいせきはつかつちょうさほうこくXII							
書名	熊本大学構内遺跡発掘調査報告書XII							
副書名								
巻次								
シリーズ名	熊本大学埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ号	13							
編著者名	山野ケン陽次郎・柴田亮							
編集機関	熊本大学埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1 TEL. 096-342-3832 FAX. 096-342-3832							
発行年月日	2018年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
黒髪町遺跡群 (1309地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48' 43"	130° 43' 36"	20130808 ～ 20131004	640㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
黒髪町遺跡群 (1309地点)	集落址	近世・近代	畑址・墓	蔵骨器・陶磁器・ガラス瓶・面子・銭・鉄製品・数珠			熊本監獄・刑務所の墓	

熊本大学埋蔵文化財調査報告書 第13集
熊本大学構内遺跡発掘調査報告XIII
(2013年度：1309調査地点)

平成30年3月26日 印刷

平成30年3月31日 発行

編集・発行 熊本大学埋蔵文化財調査センター

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39-1

TEL 096(342)3832 FAX 096(342)3832

印刷 シモダ印刷株式会社

